

統計からみたやまなし

—平成20年度—



山 梨 県

山梨県のシンボル

県の鳥(うぐいす)



春を告げる鳥として親しみ愛される鳥で、他の鳥のひなを育てるという習性を持っているため「明朗と慈愛」を表しています。昭和39年6月制定

県の木(かえで)



その葉は、秋、霜をうけて紅葉します。その様は「山々の男ぶり見よ甲斐の秋」(虚子)などとよまれています。昭和41年9月制定

県の花(ふじざくら)



きびしい富士の雪風に耐えて、つつましやかに咲く花は「和と忍耐」を表しています。昭和29年制定

県の獣(かもしか)



高山のきびしい自然に耐えて生きているところが「忍耐・努力」を表しています。昭和39年6月制定

目次

山梨の1日の暮らし	2
-----------------	---

グラフでみるやまなし

自然・気象	3
人口	4
経済	6
事業所	7
工業	8
商業	10
農業	11
労働	12
物価	13
家計	14
福祉	15
医療	16
社会生活	17
教育	18
交通・通信	19
エネルギー	20
国際交流	21
観光	22
居住環境	23
災害	25
事故	26

指標からみるやまなし

自然と人口	27
産業と労働	29
教育と文化	30
家計と住環境	31
福祉と医療	32
災害と安全	34
財政	34
市町村別	35

統計グラフコンクール入賞作品集	37
-----------------------	----

山梨の1日の暮らし

平成19年（※は年度、他県からの転入・転出、交通事故発生件数は平成20年、ごみ排出量、水道給水量は平成18年度）



■出生
19.1人



■死亡
22.9人



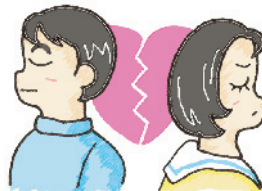
■他県からの転入
46.2人



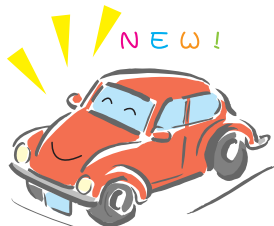
■他県への転出
56.2人



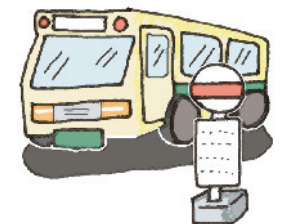
■結婚
12.2組



■離婚
4.7組



■自動車新規登録台数
※83.1台



■バス乗車人員(乗合)
※26.8千人



■郵便差出数(普通)
※23.7万通



■電灯・電力使用量
※1858.1万kWh



■水道給水量
※41.2万m³



■ガソリン販売量
※1267.2kℓ



■着工新設住宅
※15.5戸



■ビール販売量(大瓶)
※7.9万本



■ごみ排出量
※956.2t



■海外渡航者数
243.1人



■火災発生件数
1.1件



■救急出場件数
92.6件

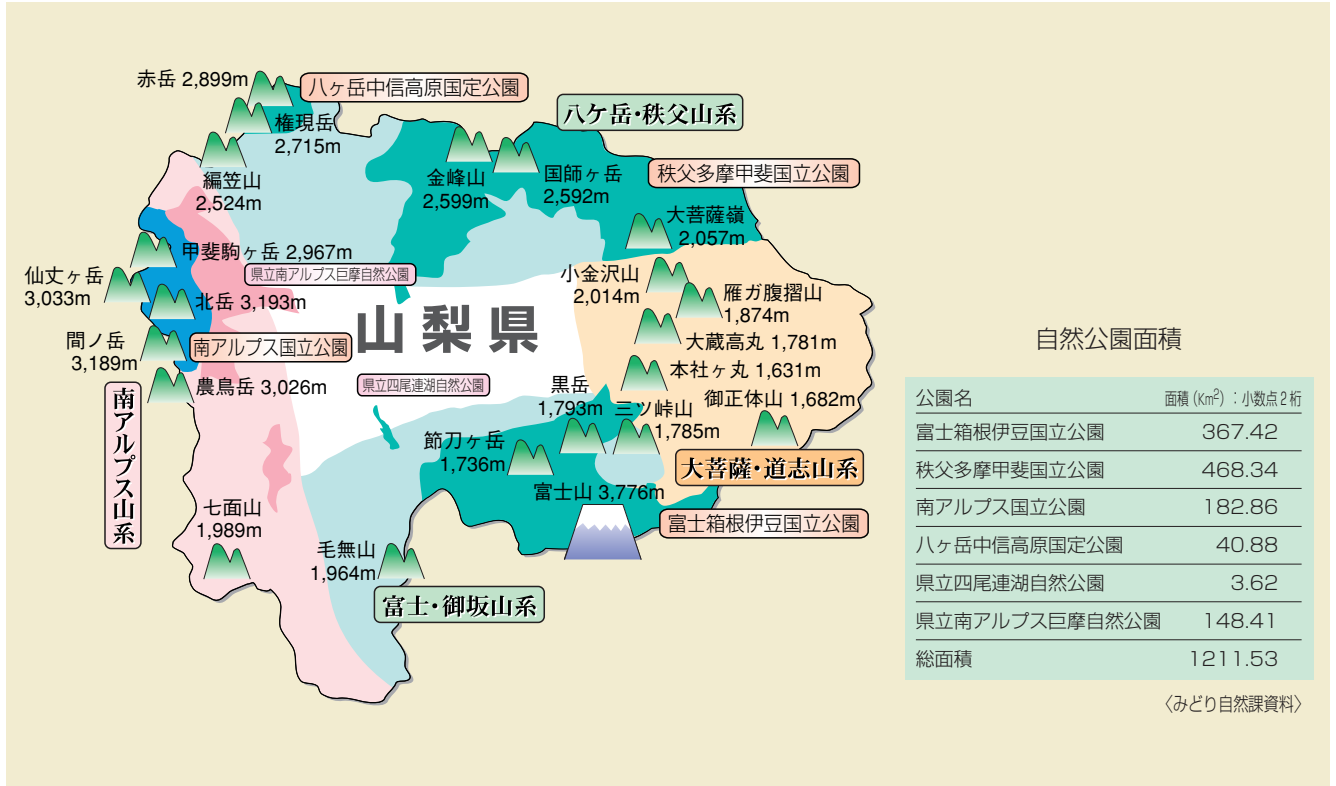


■交通事故発生件数
17.7件

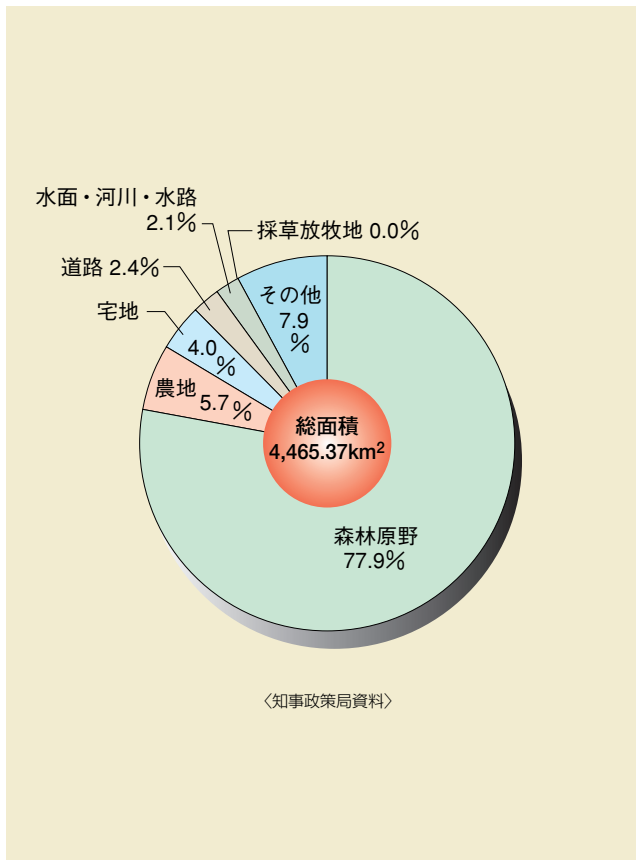


■刑法犯認知件数
23.1件

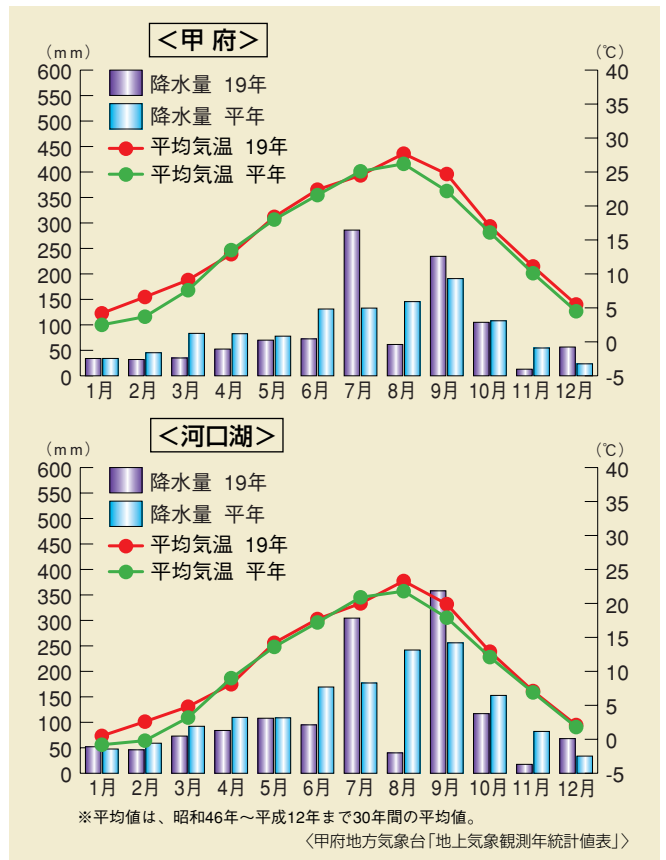
主な山梨百名山



山梨県土地利用状況 (平成19年10月1日)

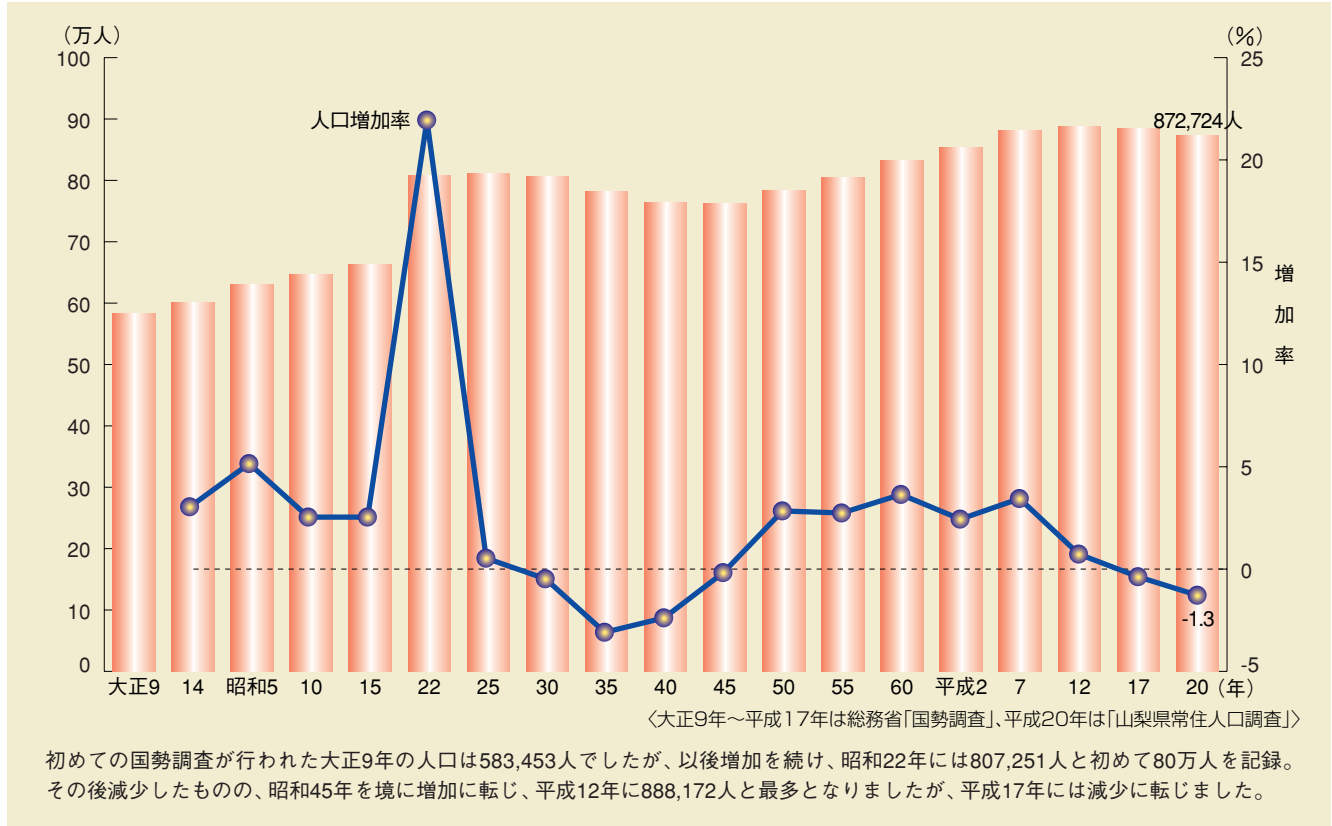


月別平均気温と降水量 (平成19年)

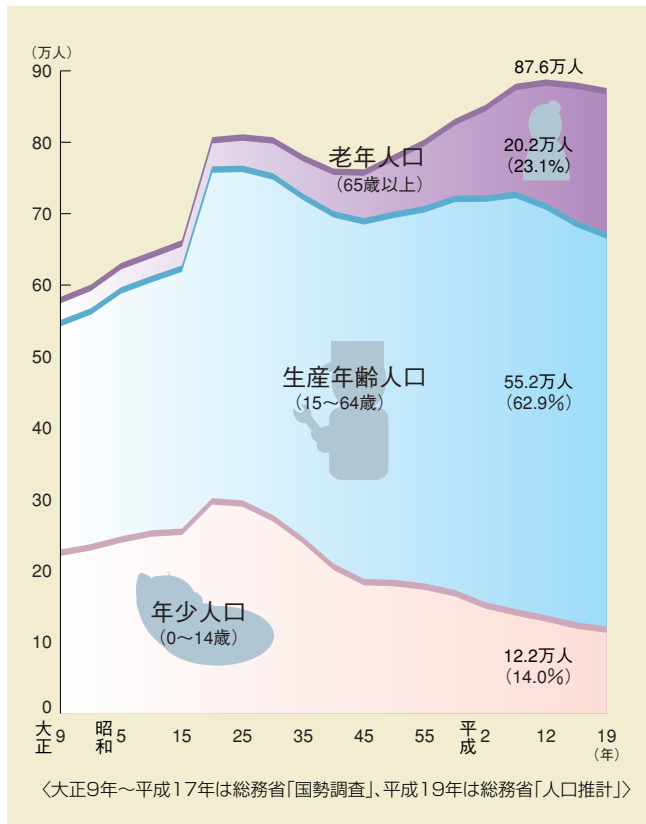


本県は、富士山をはじめ南アルプス・八ヶ岳・奥秩父などを擁する日本でも有数の山岳県ですが、これらの山々の中からハイキングの楽しめる身近な山から本格的な登山向きの山まで多種多様な山を選び「山梨百名山」として紹介しています。また、8月8日をやまなし「山の日」と定め、ふるさとの山や森を見つめ直し、その恩恵に感謝する日としています。

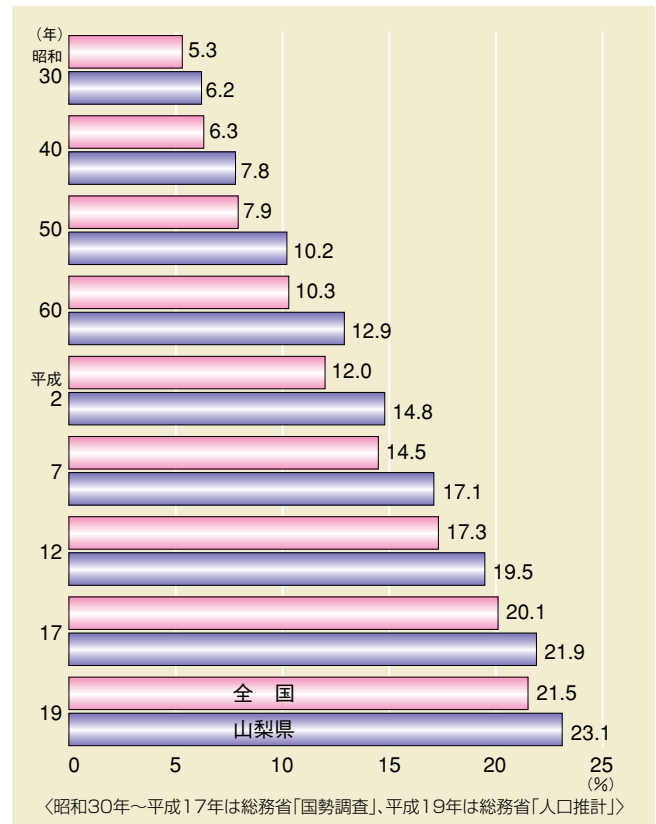
本県人口及び人口増加率の推移 (大正9年～平成20年)



年齢別人口の推移 (大正9年～平成19年)



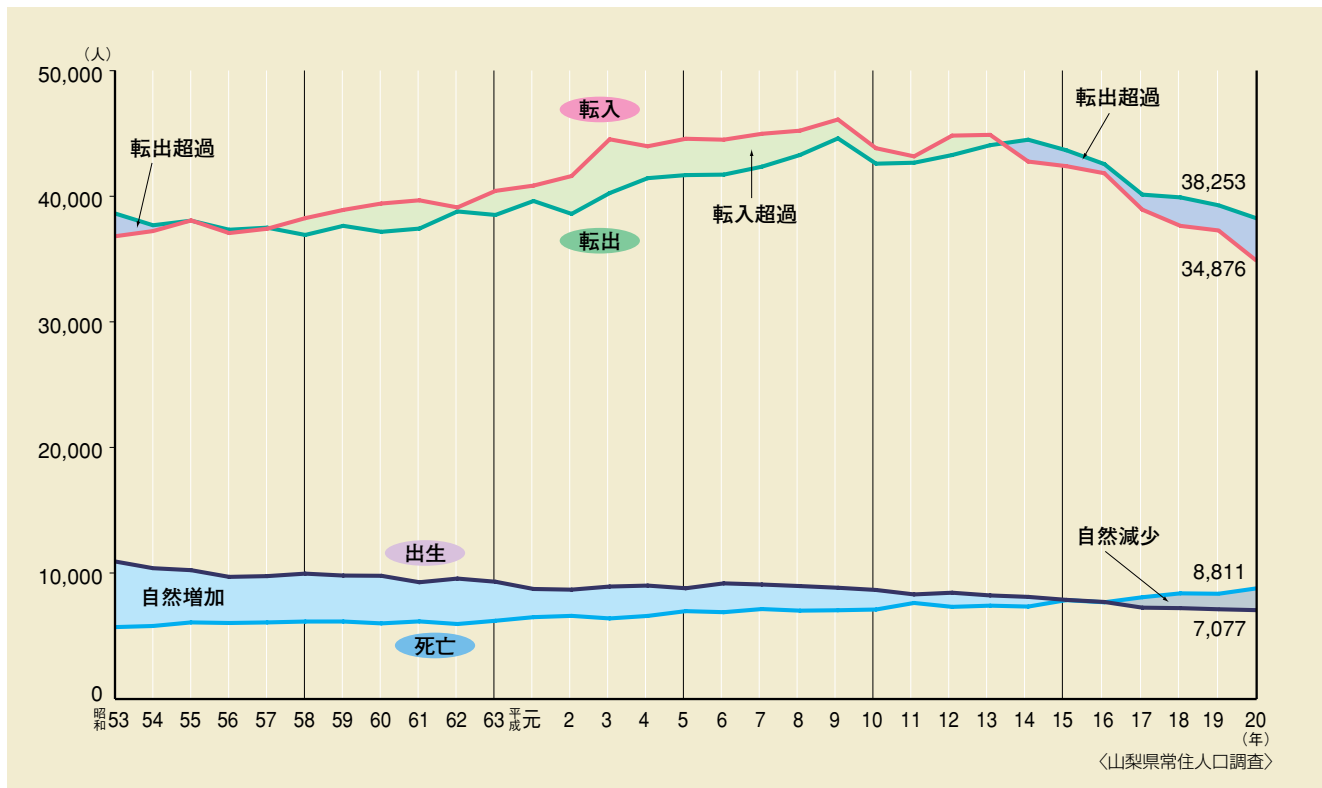
本県と全国の老年人口割合の推移 (昭和30年～平成19年)



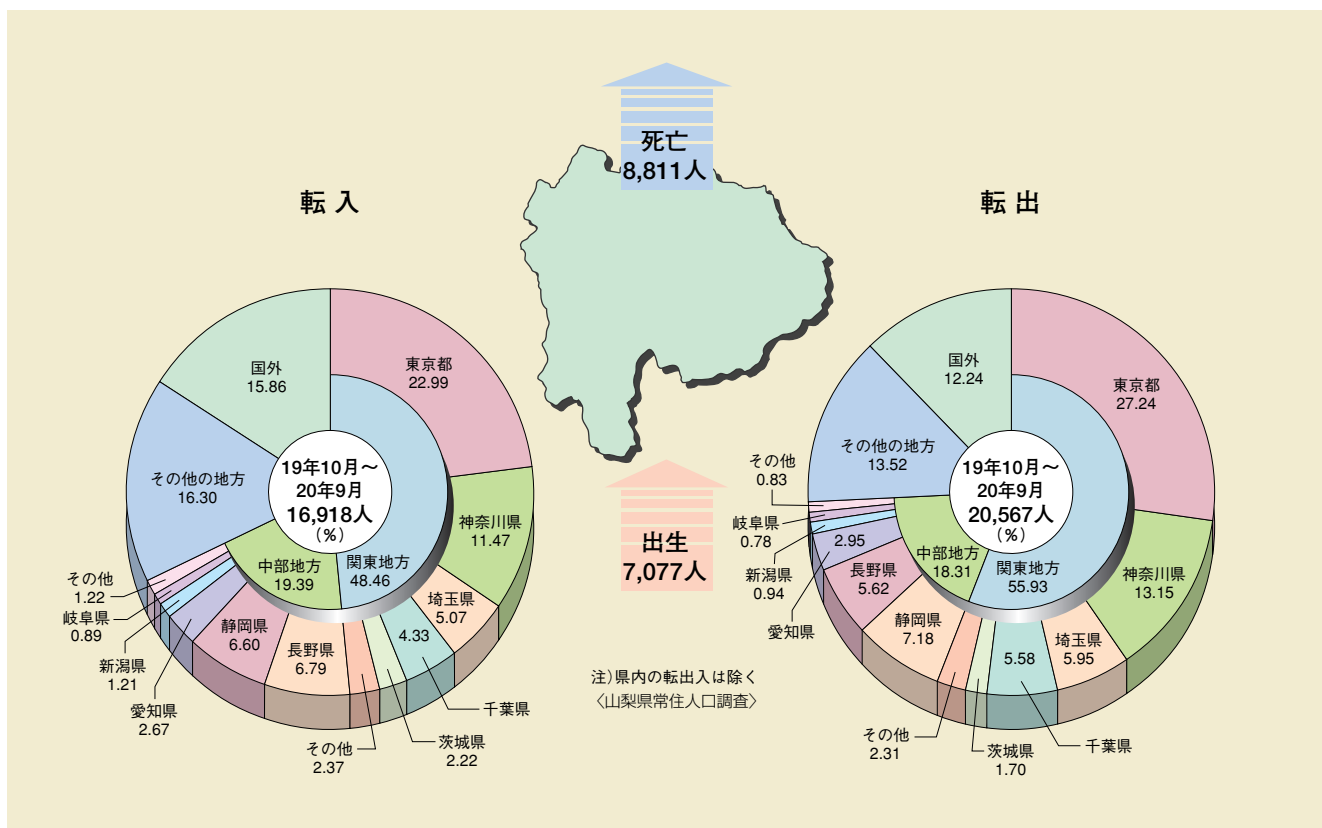
平成20年10月1日現在の人口は、87万2,724人となっています。
 平成19年10月1日現在の人口を人口推計で年齢別にみると、年少人口12.2万人 (14.0%)、生産年齢人口55.2万人 (62.9%)、老年人口20.2万人 (23.1%) となっていて、平成7年以降老年人口が年少人口を上回り平成19年では2割を超えています。

人口

人口動態の推移 (各年ともに前年10月1日～当年9月30日)

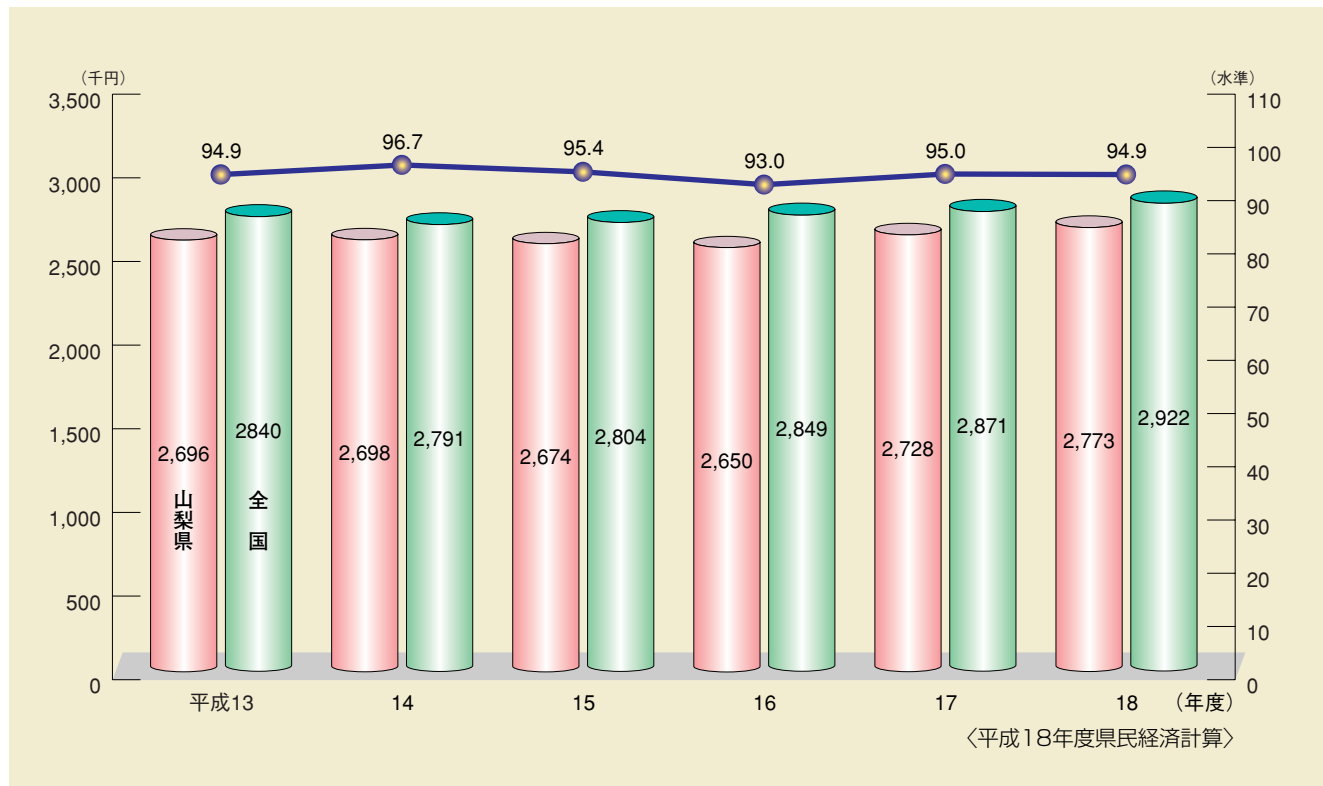


人口動態 (平成19年10月1日～20年9月末)

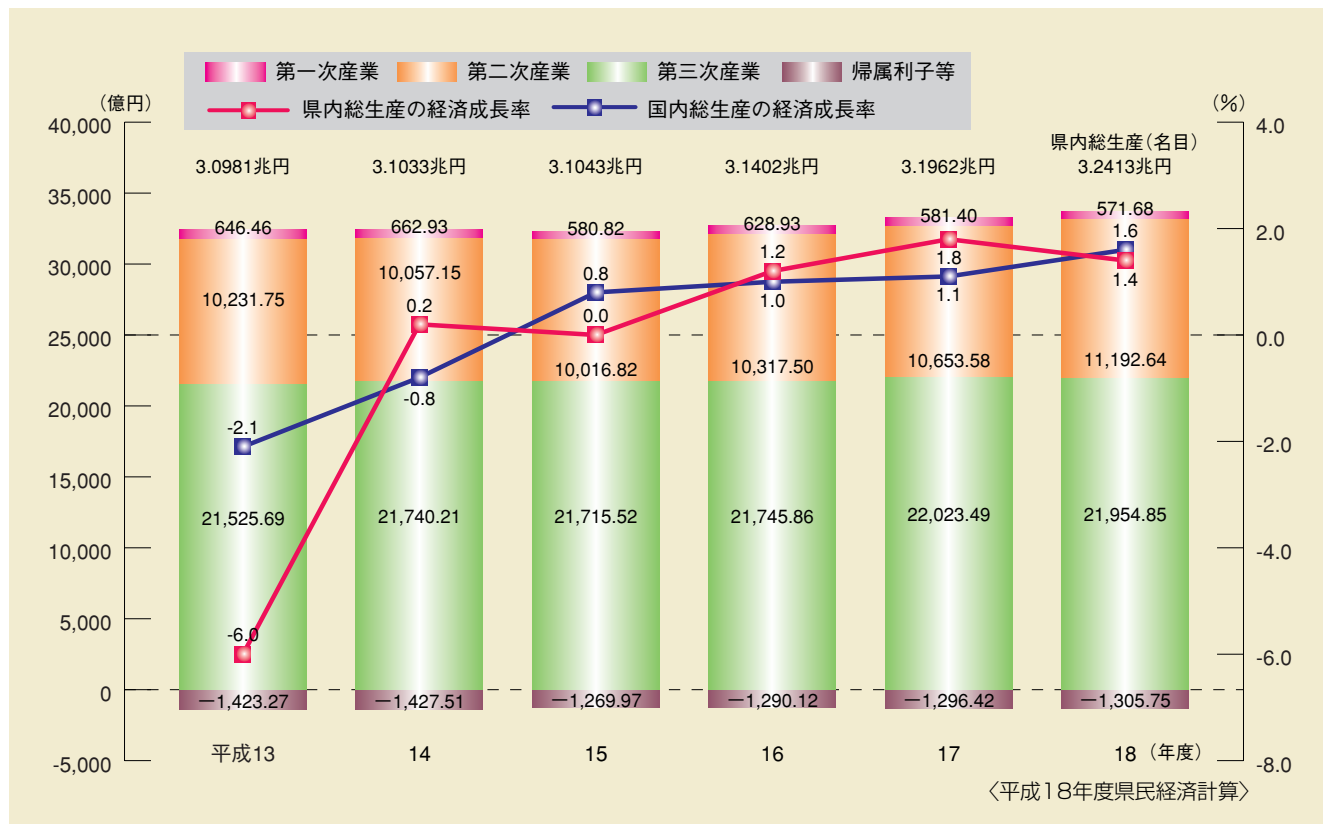


平成19年10月1日から平成20年9月30日までの人口の動きを見ると、出生7,077人、死亡8,811人で、1,734人の自然減となっています。また、転入者34,876人、転出者38,253人で、3,377人の社会減となっています。このうち、他都道府県及び国外からの転入転出者数をみると、転入者16,918人、転出者20,567人となっており、東京都、神奈川県への転入、転出が多くなっています。

1人当たりの県(国)民所得と国との水準の推移



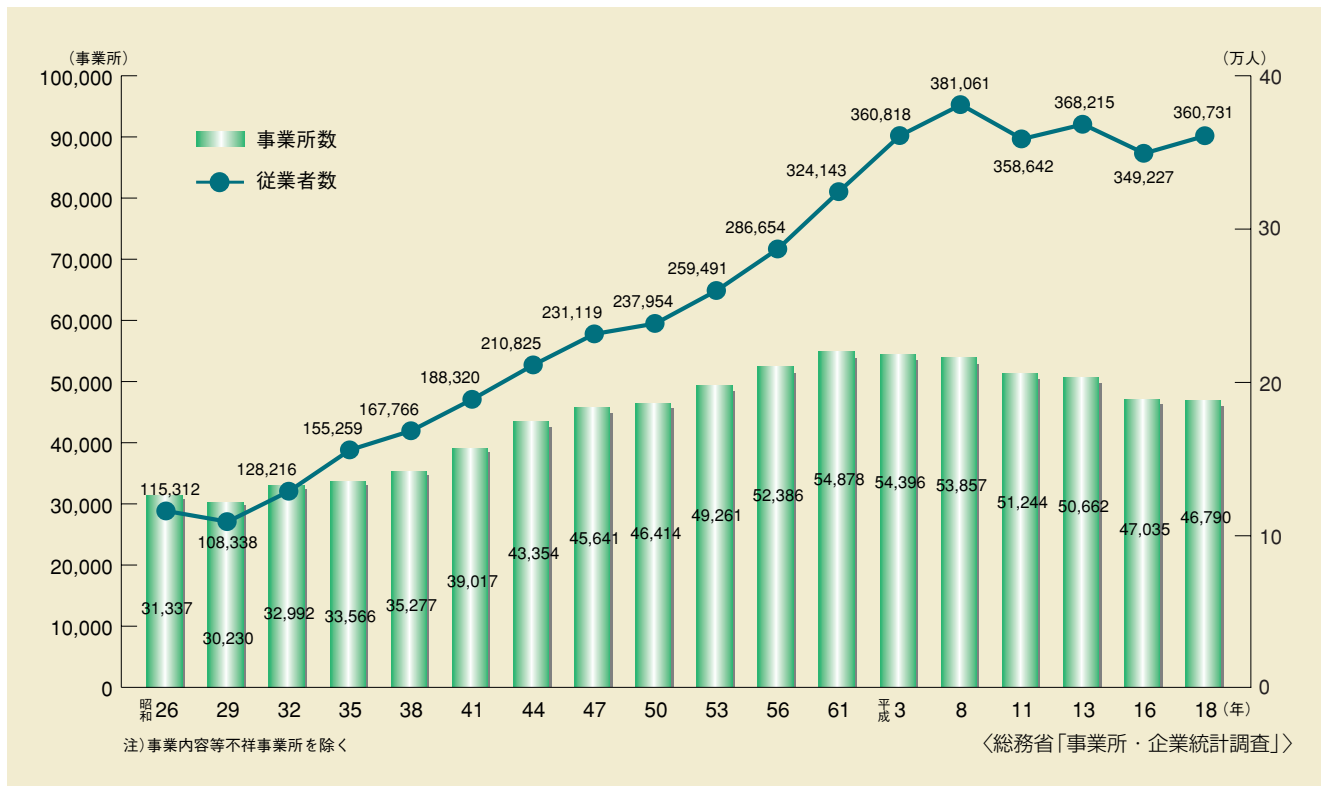
県内総生産の推移及び経済成長率の推移 (名目)



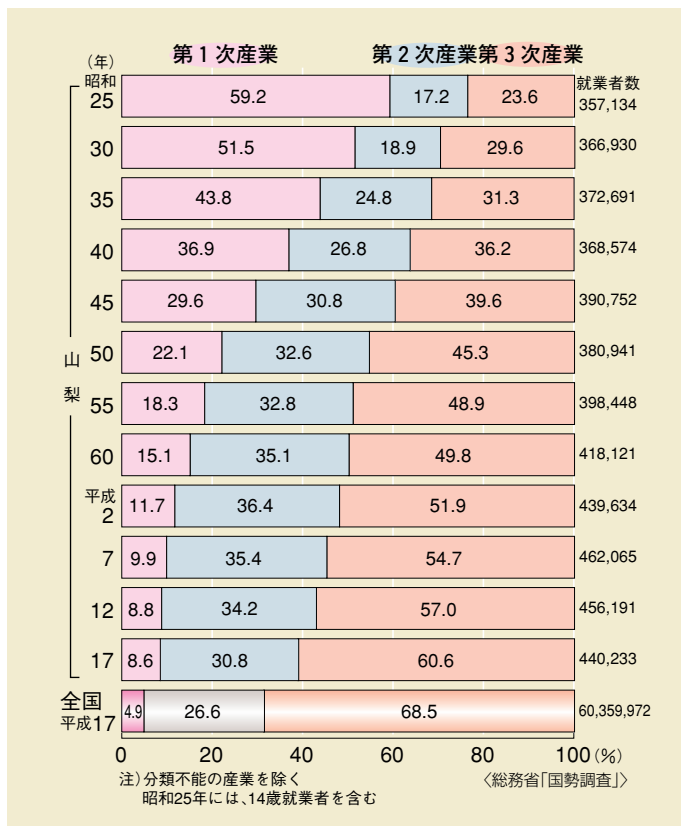
平成18年度の県内総生産は、名目で3兆2,413億円で、前年度に比べて1.4%（451億円）の増加となりました。
 1人当たりの県民所得は277.3万円で、前年度に比べ4.5万円増加しました。また、1人当たりの国民所得292.2万円を100とした水準は94.9となり、前年度に比べて0.1ポイント低下しました。

事業所

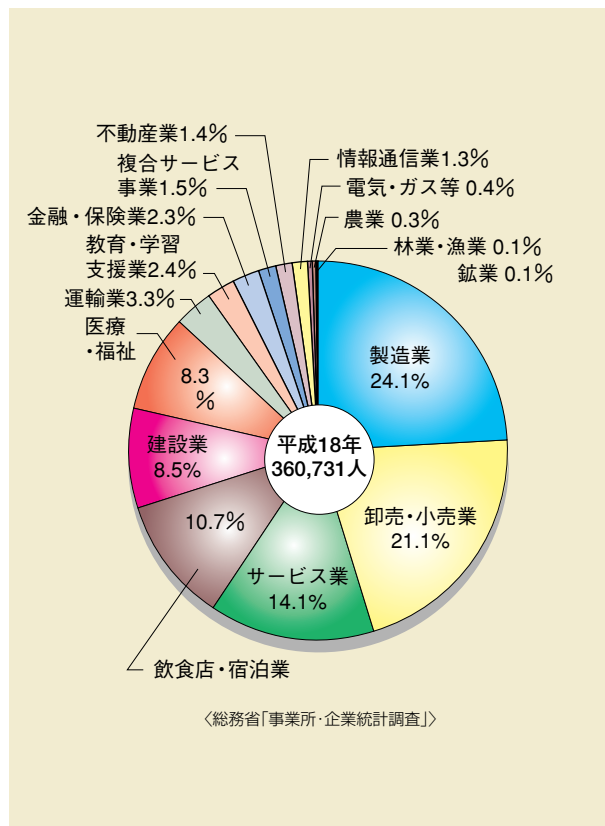
民営事業所数及び従業者数の推移



産業別(3部門) 就業者数(構成比)の推移



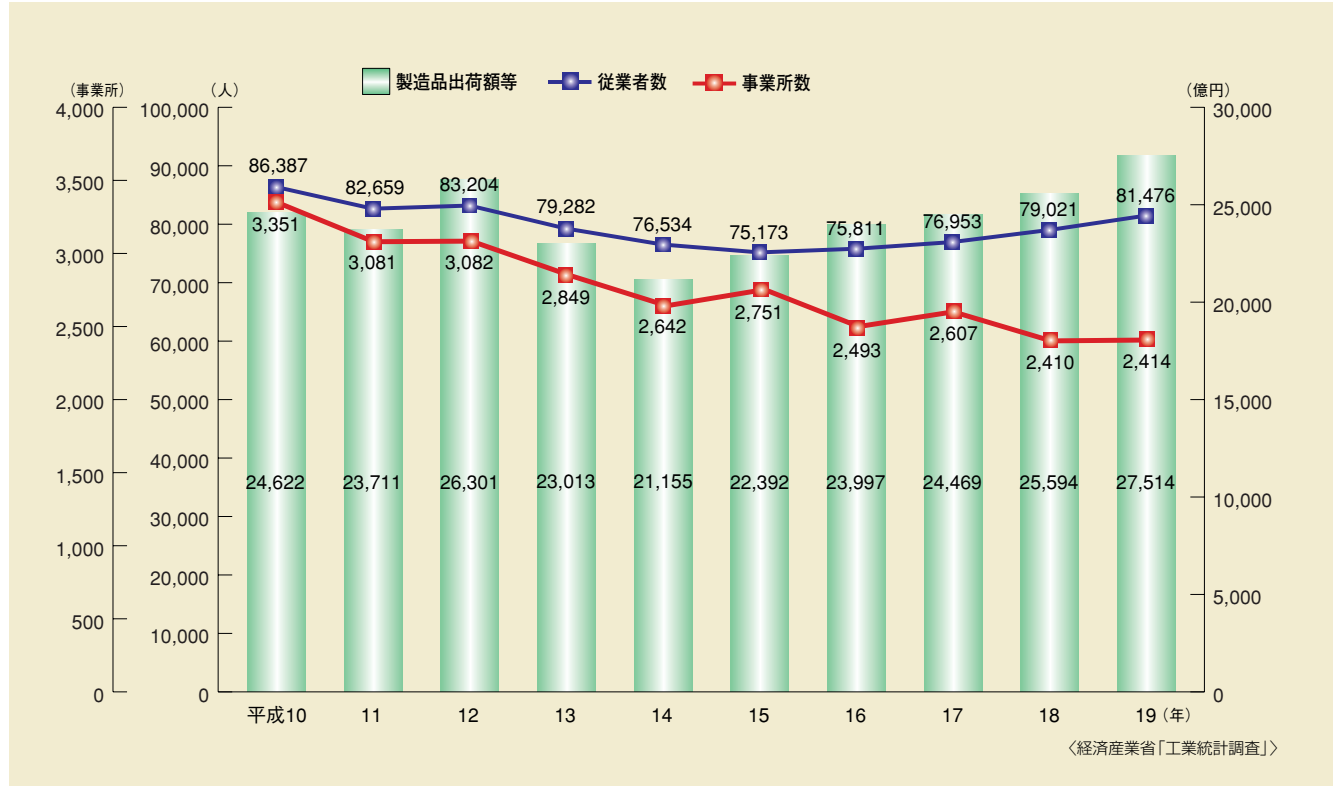
産業別従業者数構成比 (平成18年)



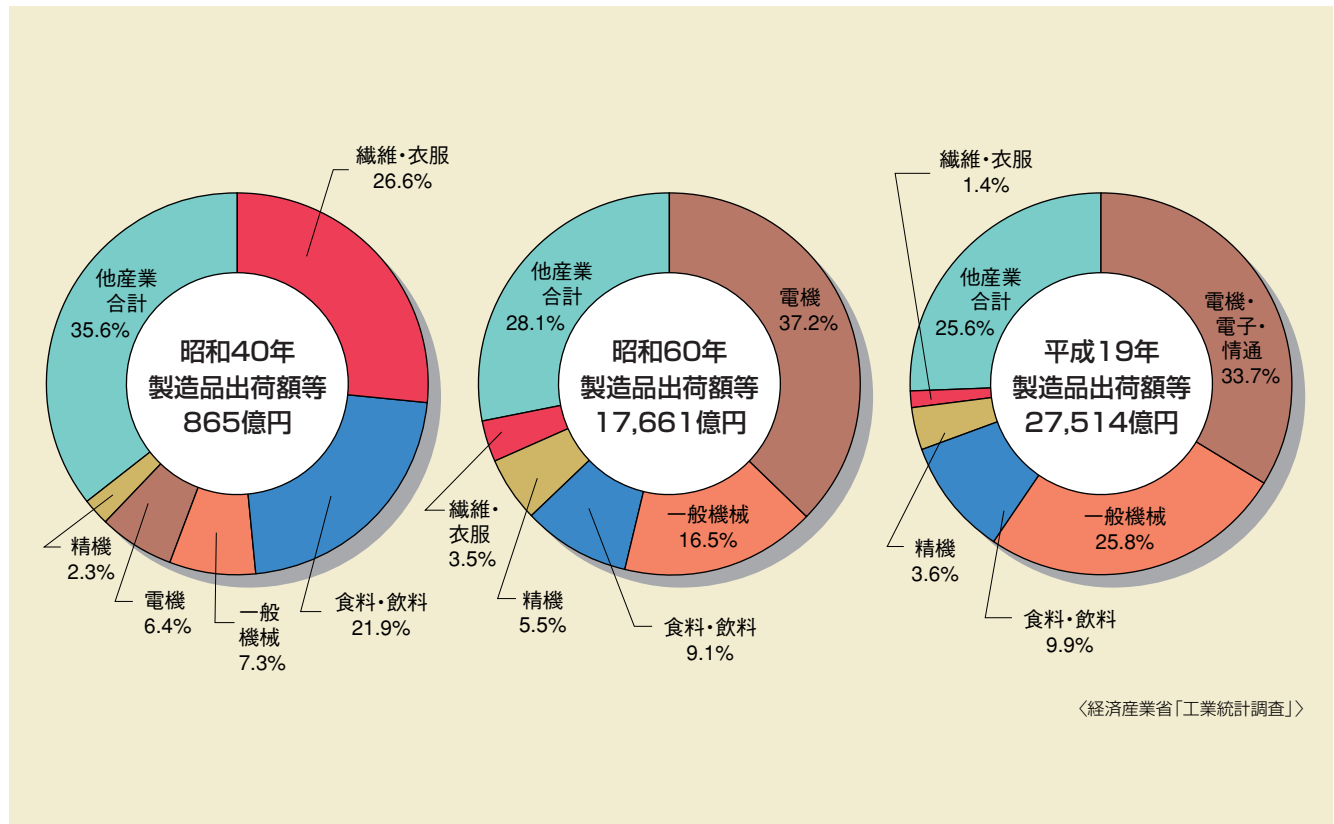
平成18年の民営事業所数は、47,771事業所、このうち事業内容等不詳事業所を除くと46,790事業所で、昭和61年までは増加してきましたが、その後減少しています。また、従業者構成をみると、製造業24.1%、卸売・小売業21.1%、サービス業14.1%の順となっています。

本県の産業別就業者数をみると、昭和25年には、第1次産業が全体の59.2%を占めていましたが、平成17年には、第1次産業は8.6%にまで減少し、この間に第3次産業が23.6%から60.6%へと増加しています。

製造業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移（従業者4人以上の事業所）



産業別製造品出荷額等の構成の変化（従業者4人以上の事業所）

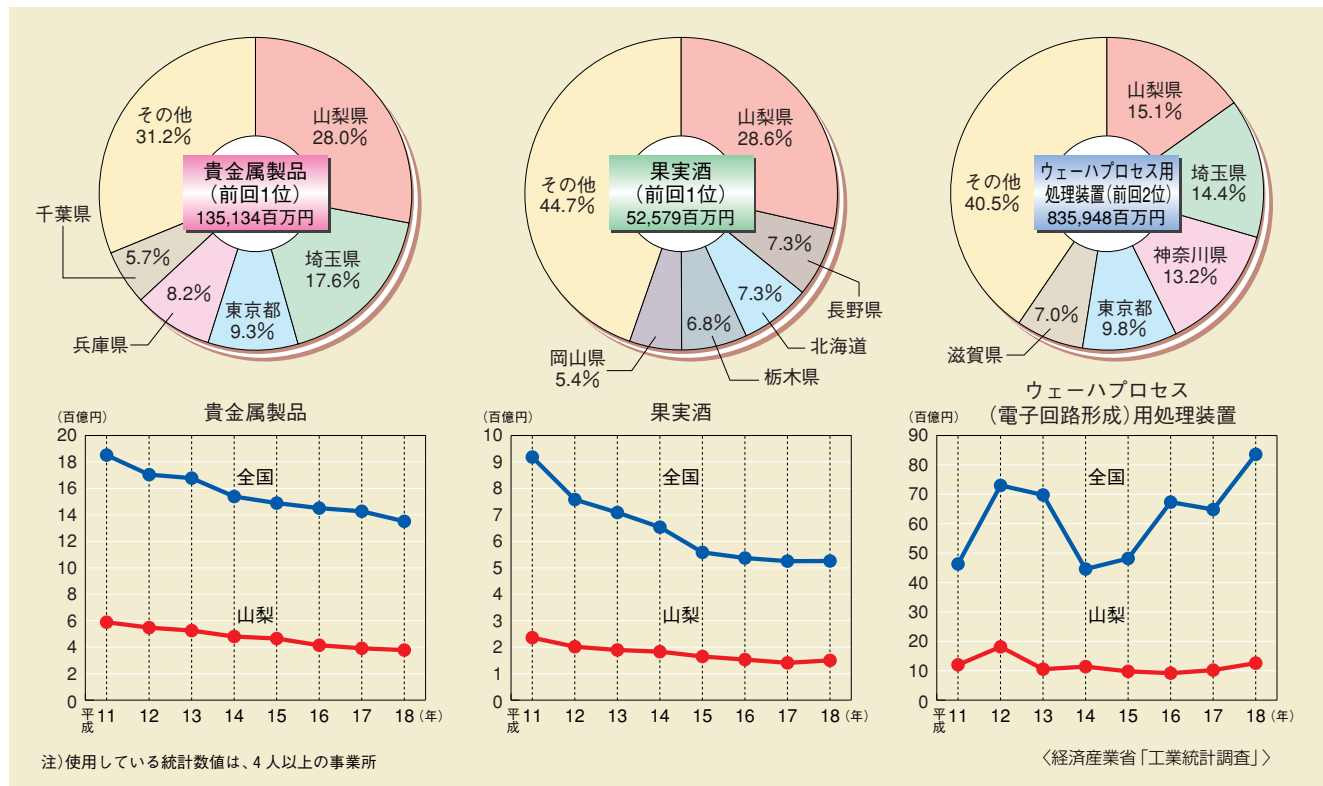


平成19年の従業者4人以上の製造業の事業所数は、2,414事業所、従業者数は、81,476人、製造品出荷額等は2兆7,514億円となっています。

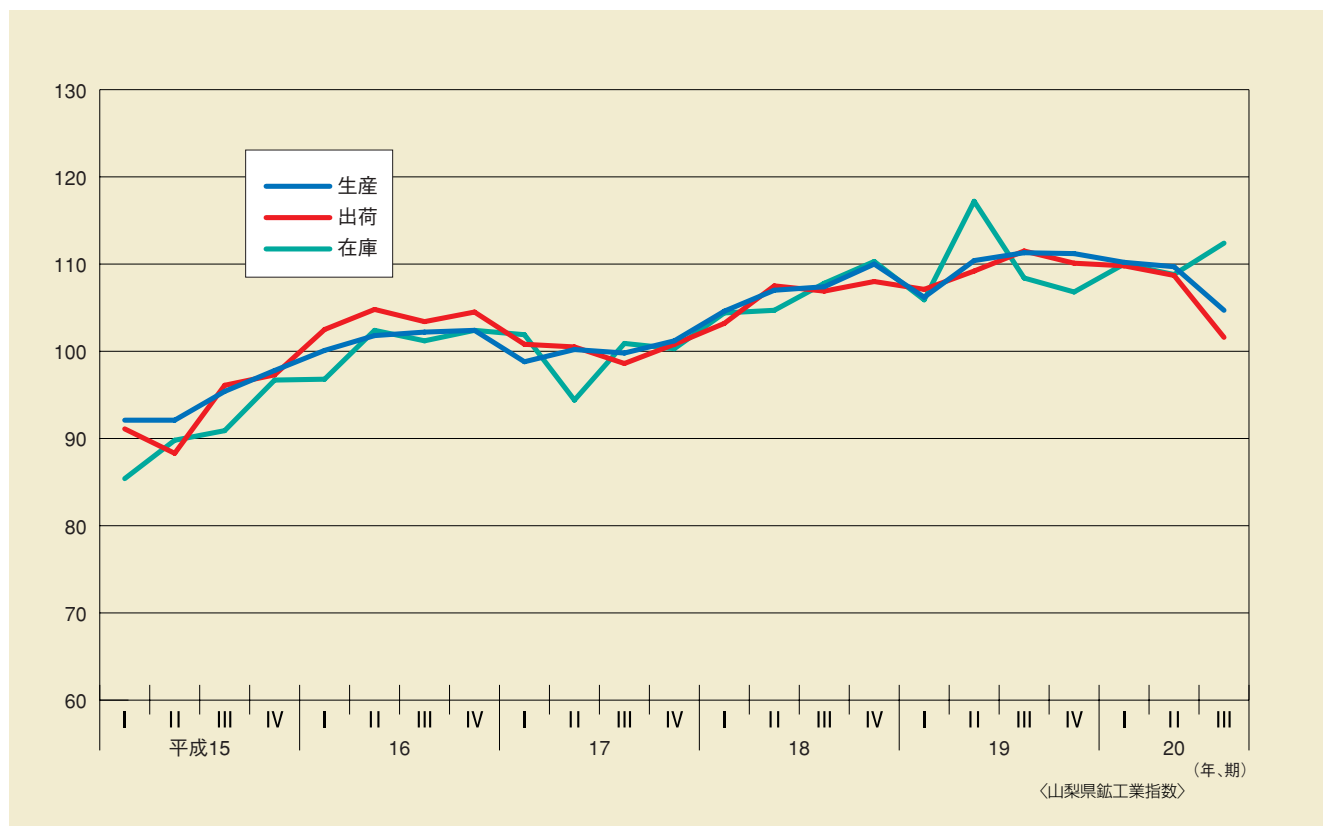
産業分類別の製造品出荷額をみると、昭和40年は繊維・衣服が約4分の1を占めていました。昭和60年には電機が出荷額の約3分の1を占め、平成19年は電機・電子・情報通信機械器具が約3分の1を占めています。

工業

製造品出荷額全国1位の品目と推移（従業者4人以上の事業所）（平成18年）

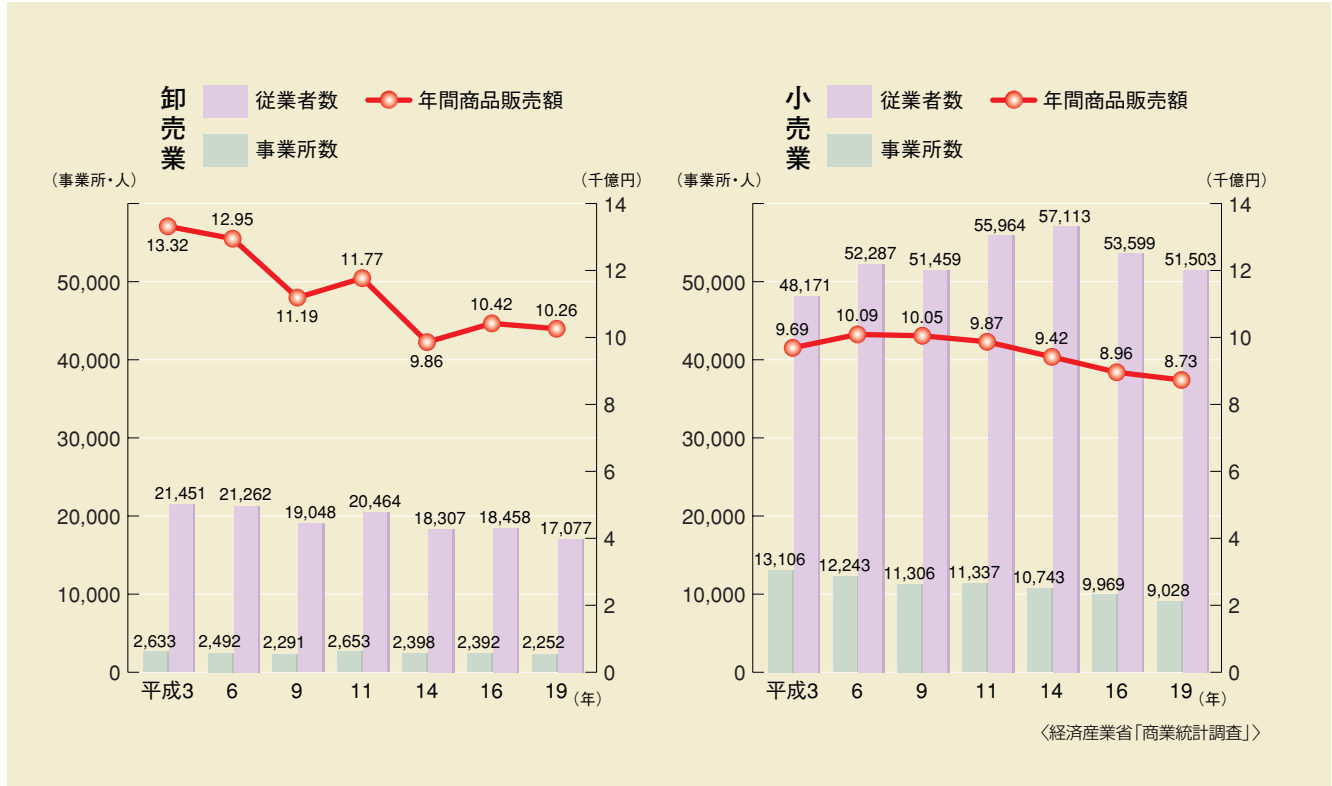


鉱工業指数の推移（平成17年=100 季節調整済）

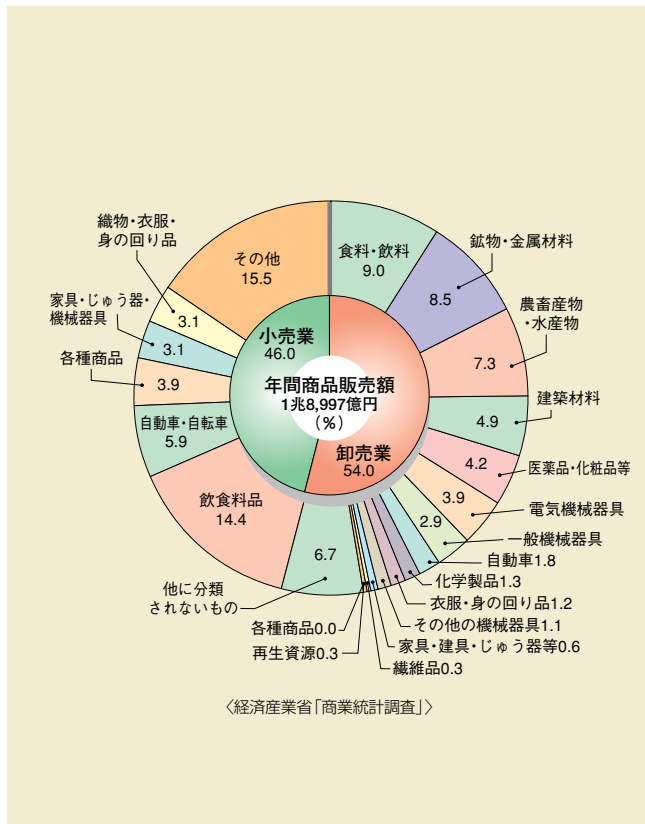


平成18年の品目別製造品出荷額をみると、本県は貴金属製品、果実酒、ウェーハプロセス（電子回路形成）用処理装置の品目で日本一となっています。また、果実酒は全国の出荷額の約3割を占めています。鉱工業指数は速報性が高く、景気に敏感に反応した動きを示します。

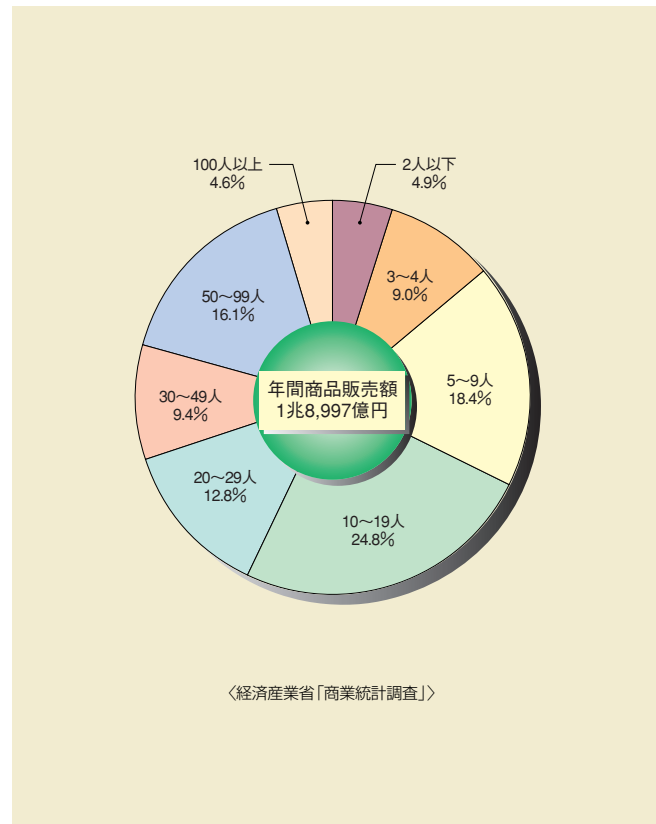
商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移



業種別年間商品販売額構成比 (平成19年)



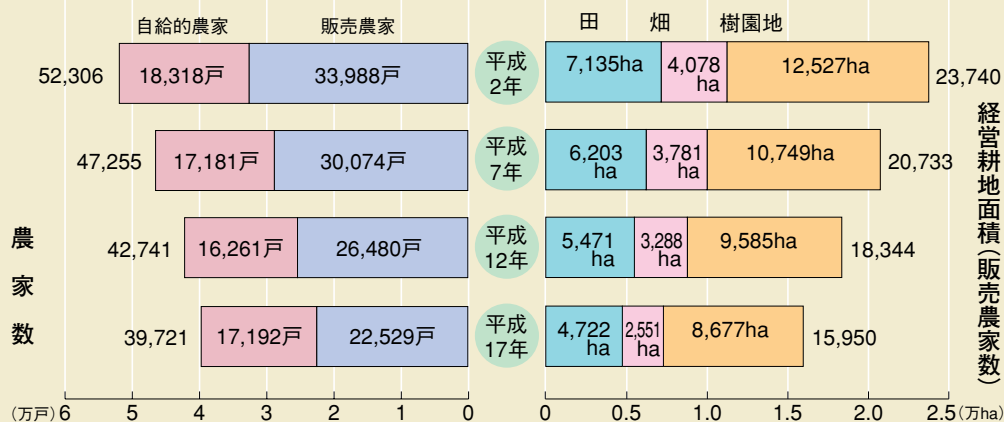
従業者規模別年間商品販売額構成比 (平成19年)



平成19年の卸・小売業数は11,280事業所、従業者数は68,580人、年間商品販売額は1兆8,997億円となっています。業種別年間商品販売額をみると、卸売業では食料・飲料、鉱物・金属材料、農畜産物・水産物の順に、また、小売業では飲食料品、自動車・自転車、各種商品の順となっています。

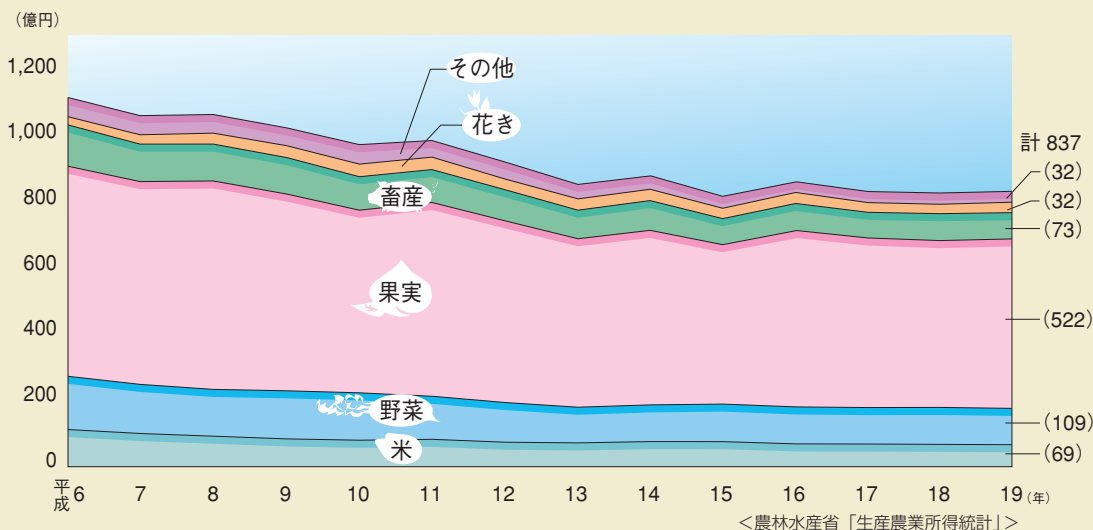
農業

農家数及び経営耕地面積（販売農家）の推移

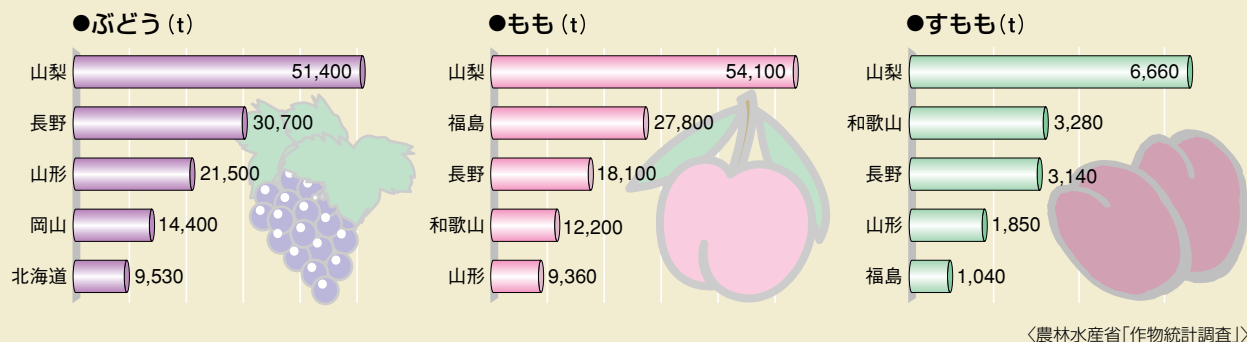


販売農家 農家のうち、経営耕地面積が30アール以上または過去1年間の農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。
 自給的農家 農家のうち、経営耕地面積が30アール未満で、かつ、過去1年間の農産物販売金額が50万円未満の農家をいう。
 <世界農林業センサス・農林業センサス>

農業産出額の推移



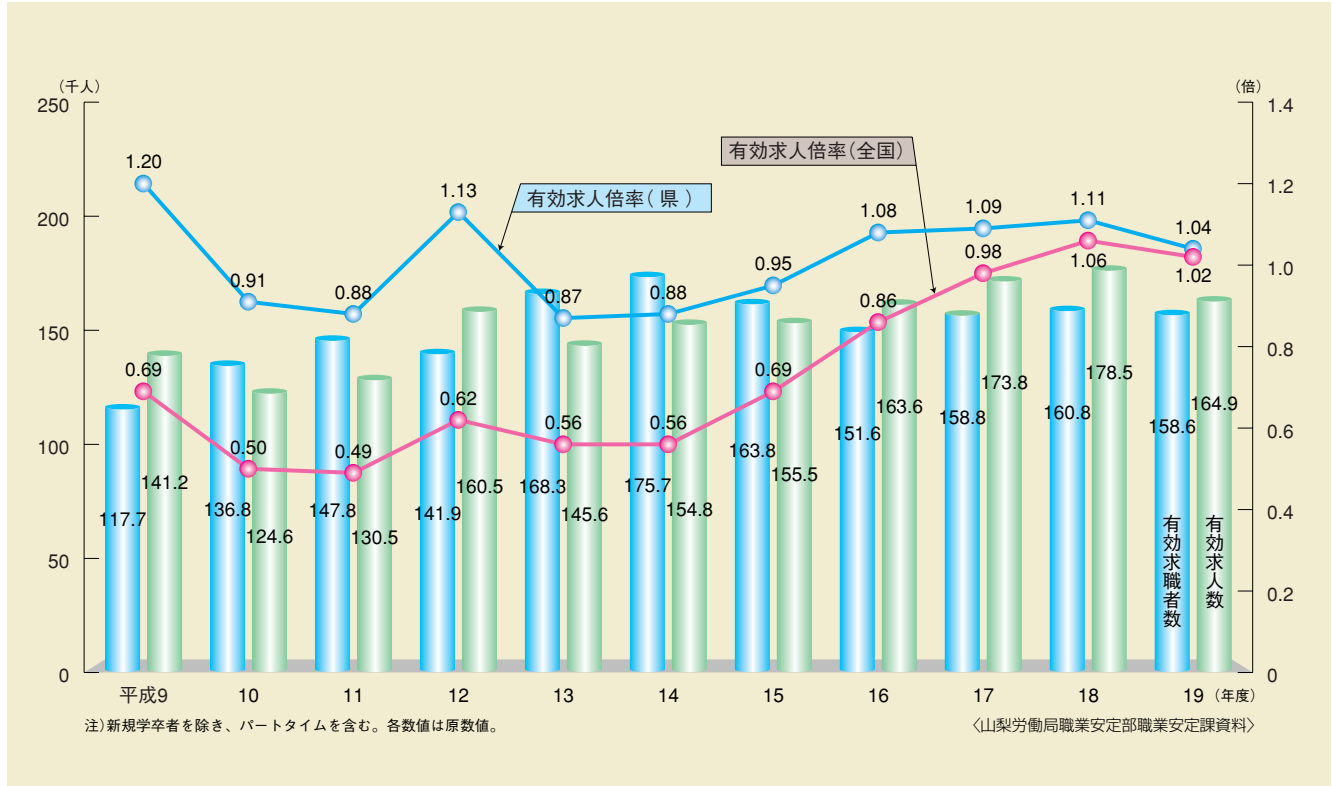
ぶどう・もも・すももの収穫量（平成19年）



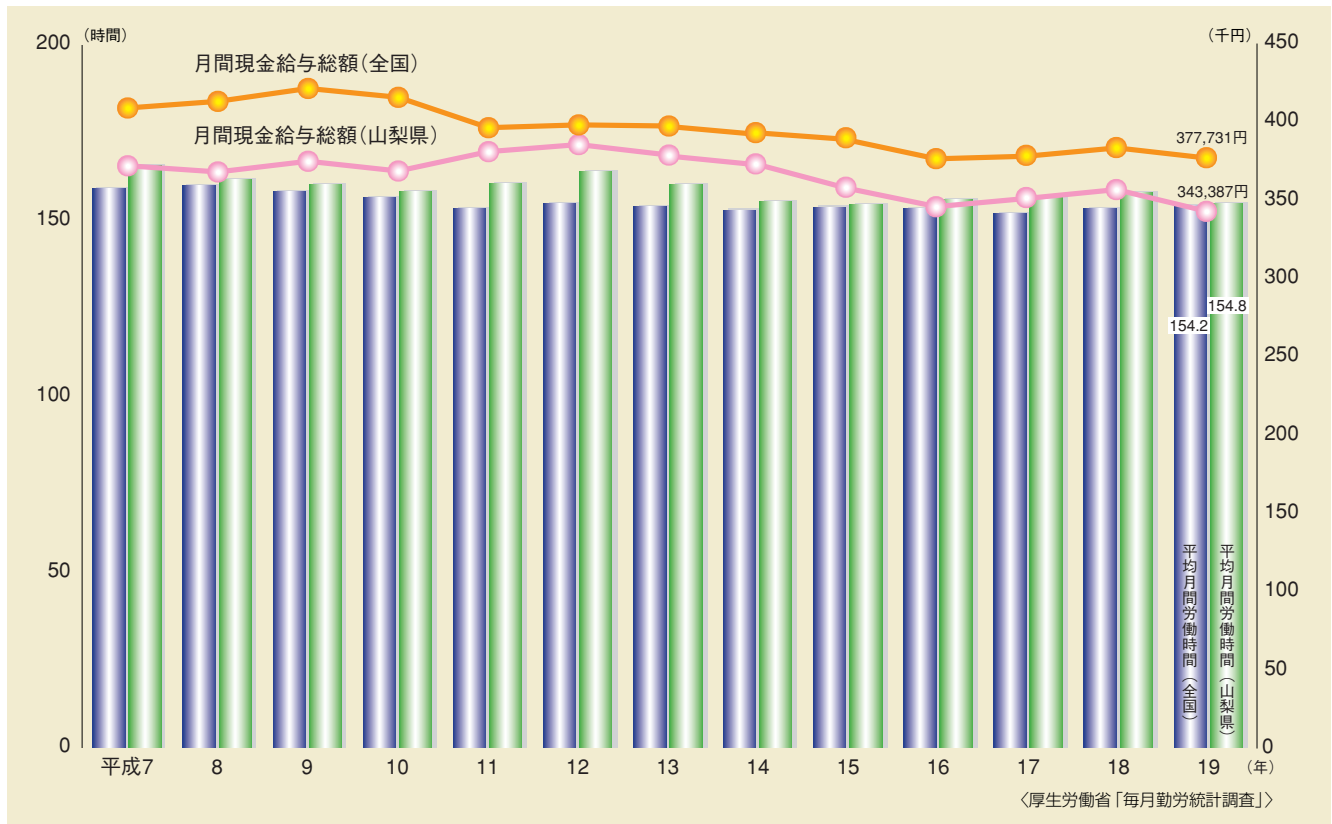
平成17年の本県の農家数及び経営耕地面積（販売農家）は、それぞれ39,721戸、15,950 haで、平成12年と比べ農家数で3,020戸、経営耕地面積で2,394 ha減少しています。

平成19年の農業産出額の割合は、果実が全体の62.4%を占め、次いで野菜の13.0%、畜産8.7%、米8.2%、花き3.8%の順となっています。また、果実のうち「ぶどう」「もも」「すもも」の収穫量は、日本一となっています。

有効求人倍率・求職者数・求人数の推移



労働者1人当たり平均月間労働時間と現金給与総額の推移(30人以上の事業所)

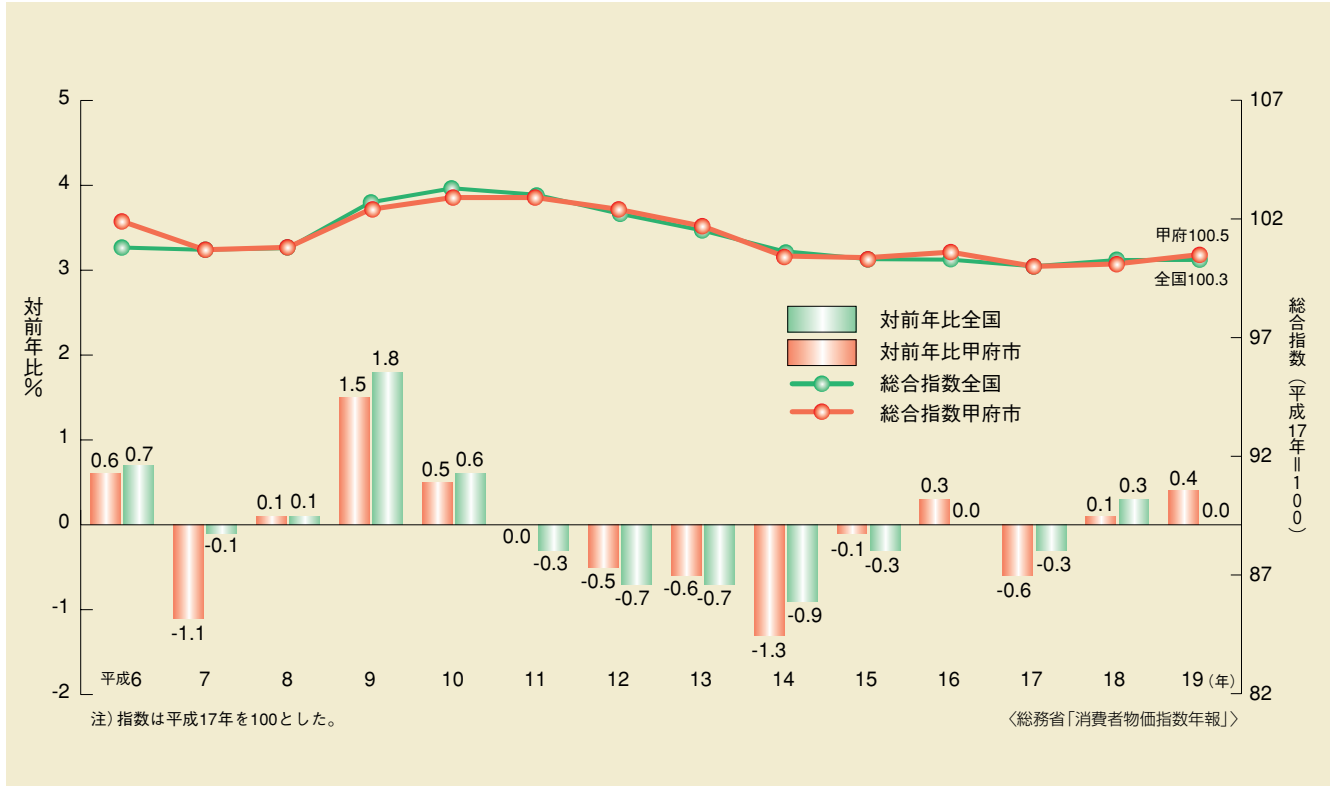


平成19年度の有効求職者数は、15万8,553人で、前年に比べて約2,200人（1.4%）減、有効求人数は、16万4,858人で、前年に比べて約13,600人（7.6%）減、有効求人倍率は、1.04倍で前年に比べて0.07ポイント減となりました。

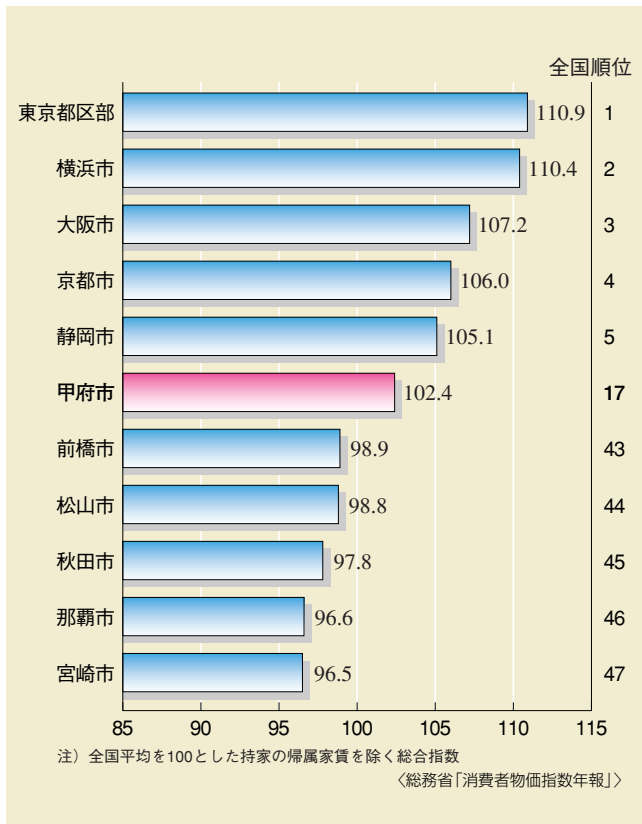
平成19年の労働時間をみると、労働者一人当たりの平均月間総労働時間は154.8時間で、全国平均の154.2時間を上回っています。一方、月間現金給与総額は、343,387円と全国平均の377,731円を34,344円下回っています。

物 価

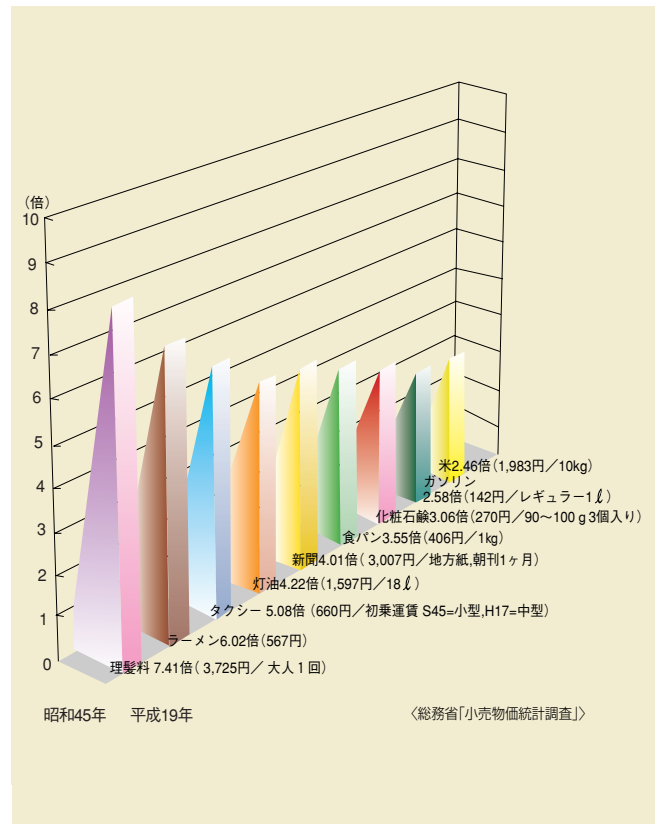
消費者物価指数の推移



消費者物価地域差指数 (平成19年平均)

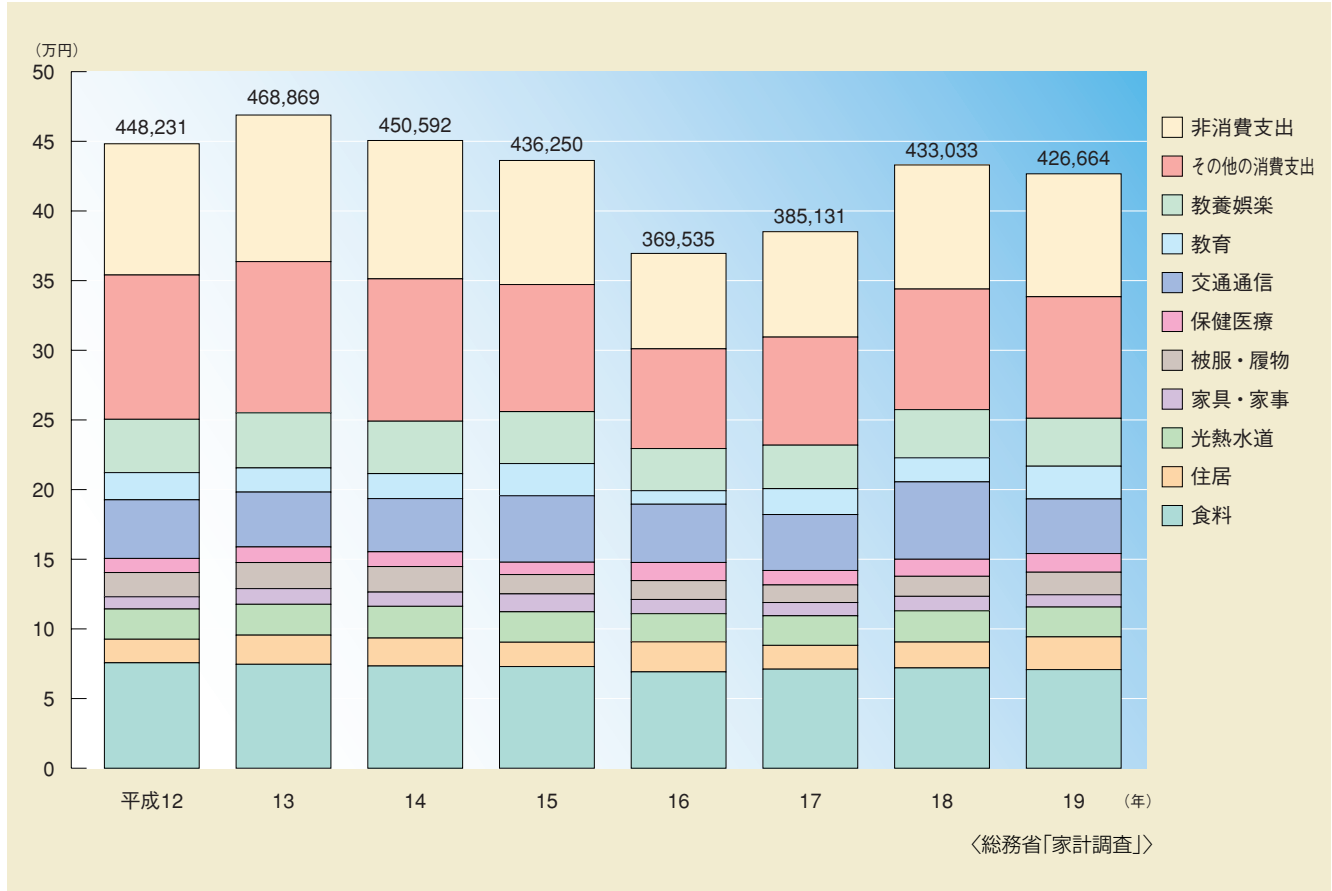


小売物価の比較 (甲府市)

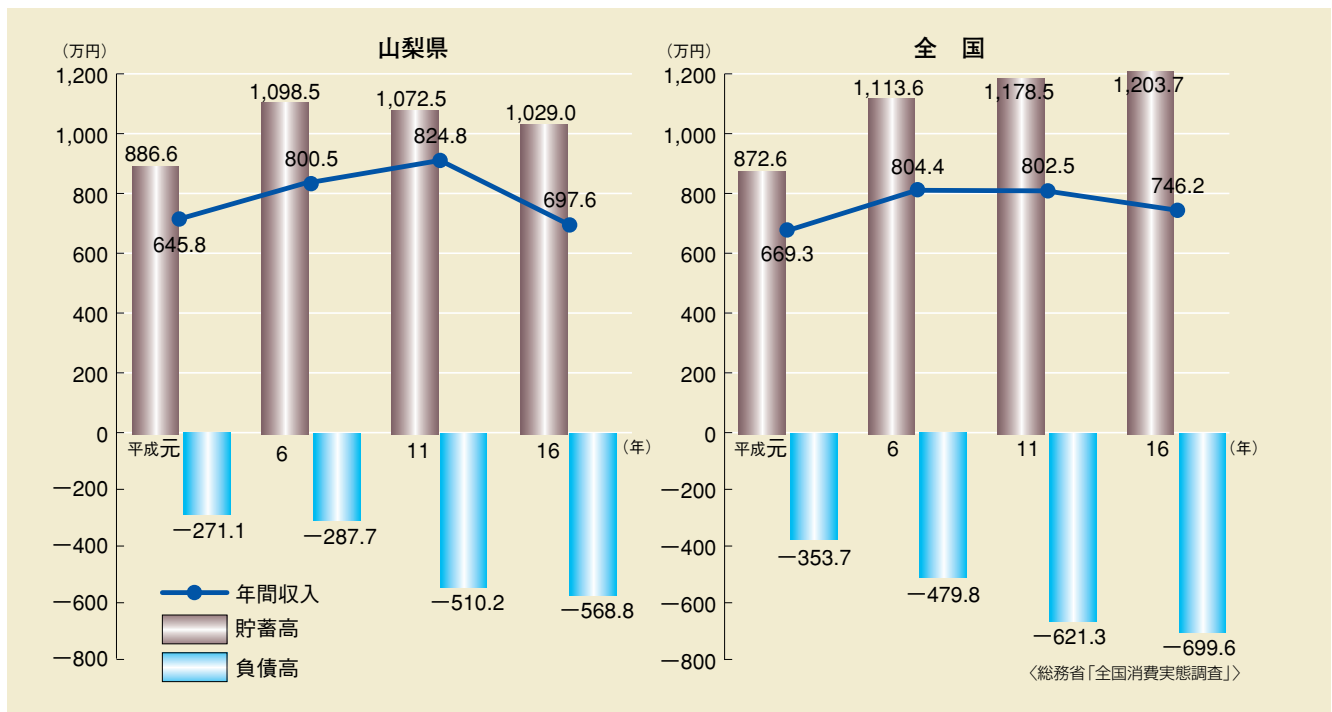


平成19年の甲府市の物価全体の変動を示す総合指数は、パソコンや液晶テレビなどの「教養娯楽用耐久財」が下落したものの、世界的な原油高や穀物などの原材料価格の高騰、また日照不足などの天候不順による、食料品、灯油、ガソリンなどの値上がりにより、100.5（平成17年＝100）となりました。物価水準の地域間の格差を示す地域差指数は102.4（全国平均＝100）となり、物価水準の最も高い東京都区部に比べ8.5ポイント低くなっています。平成19年の小売価格を昭和45年と比較すると、理髪料は7.41倍、ラーメンは6.02倍、タクシーは5.08倍などとなっています。

勤労者世帯1世帯当たり1ヶ月間の支出(甲府市)



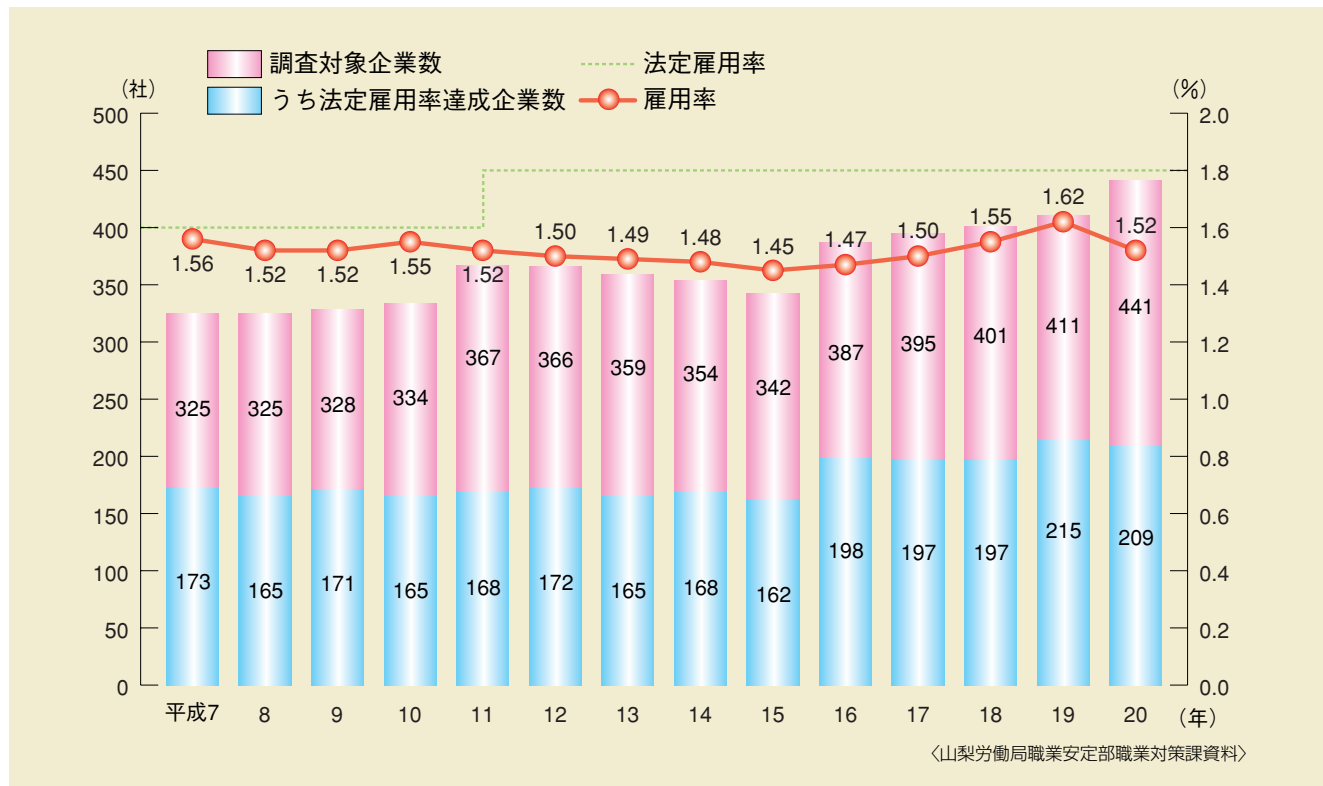
勤労者世帯1世帯当たり年間収入・貯蓄・負債残高の推移 (各年11月1日現在)



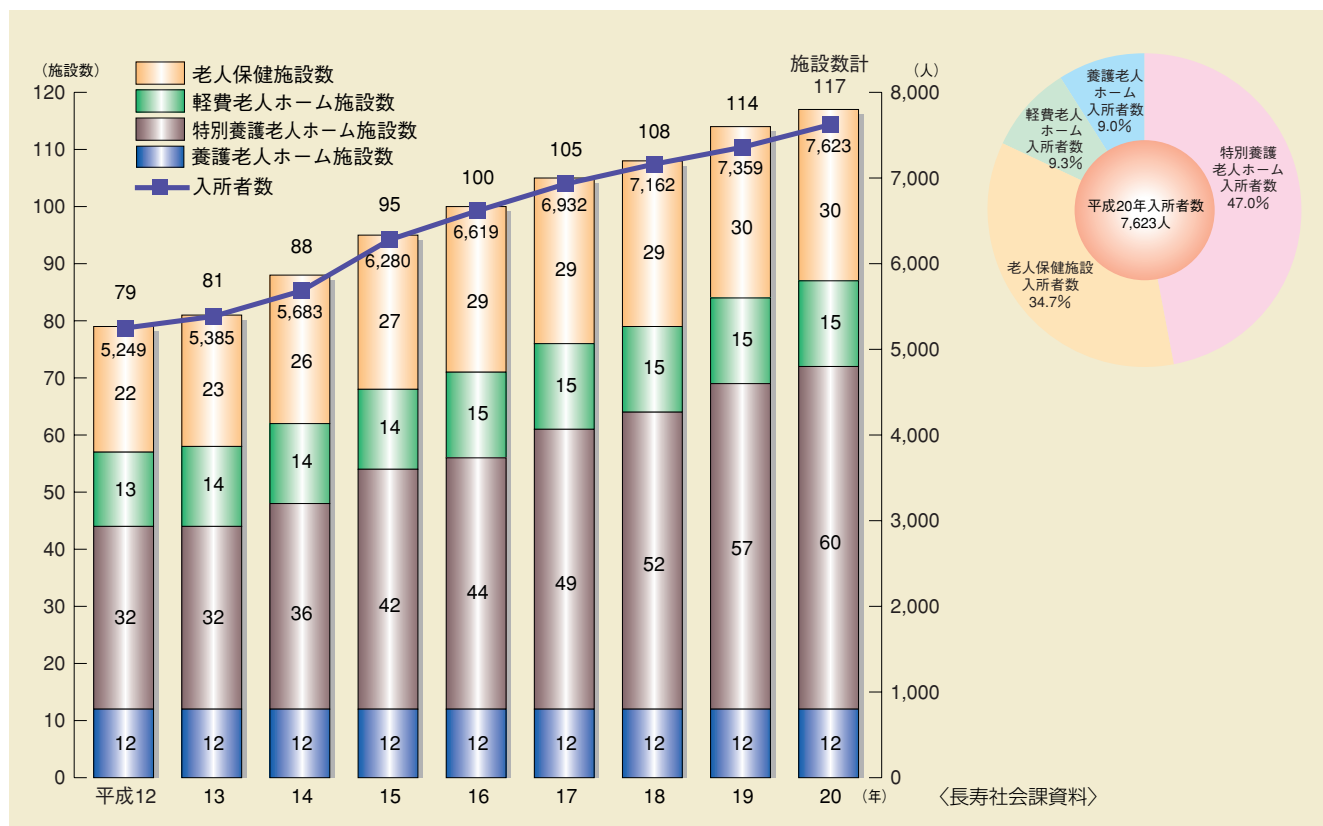
平成19年の甲府市における勤労者世帯1世帯当たり1カ月間の実支出は426,664円で、所得税、住民税、年金掛金、健康保険料などの非消費支出が20.7% (88,218円)、消費支出は全体の79.3% (338,446円) となっています。

平成16年における山梨県の勤労者世帯1世帯当たりの貯蓄現在高は1,029万円、負債現在高は568万8千円となっています。

障害者雇用率等の推移（民間企業）（各年6月1日現在）



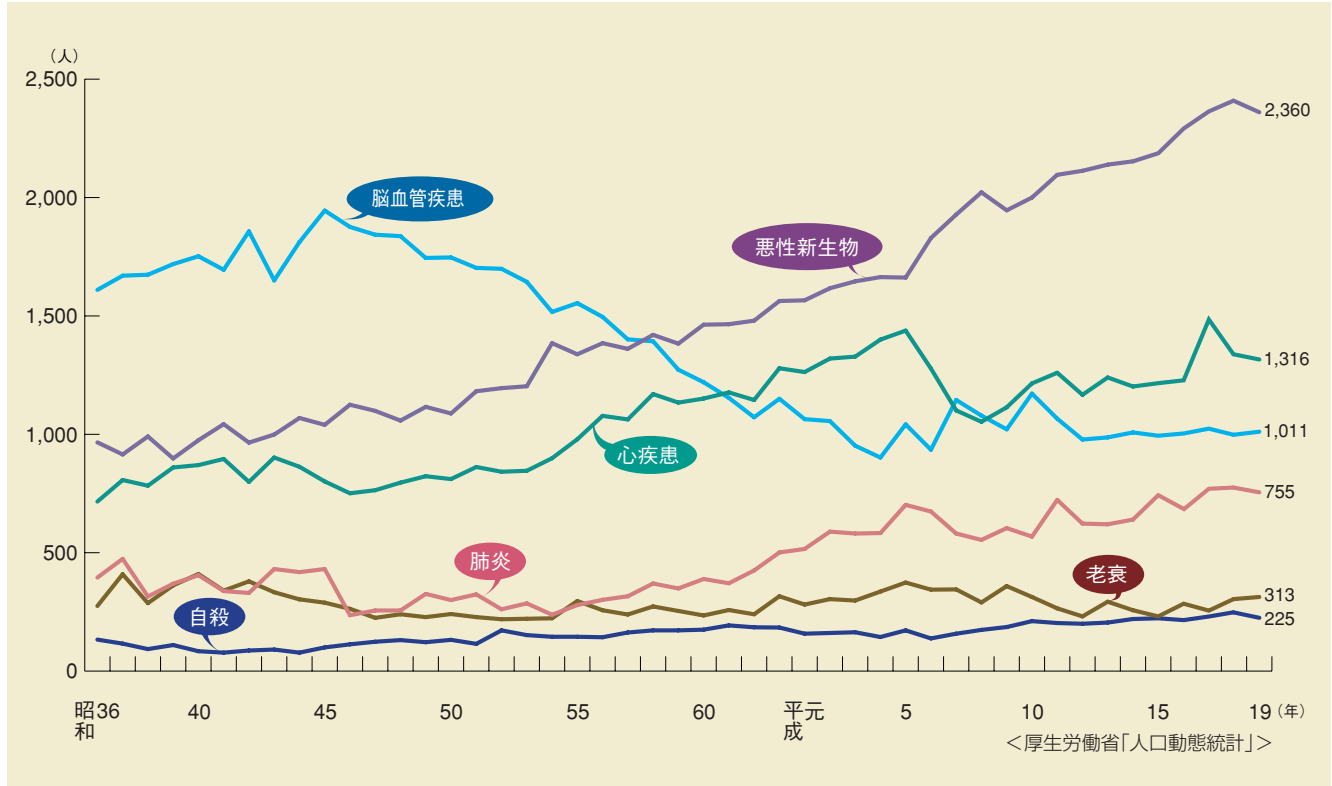
老人関係施設入所者数の推移（各年8月1日現在）



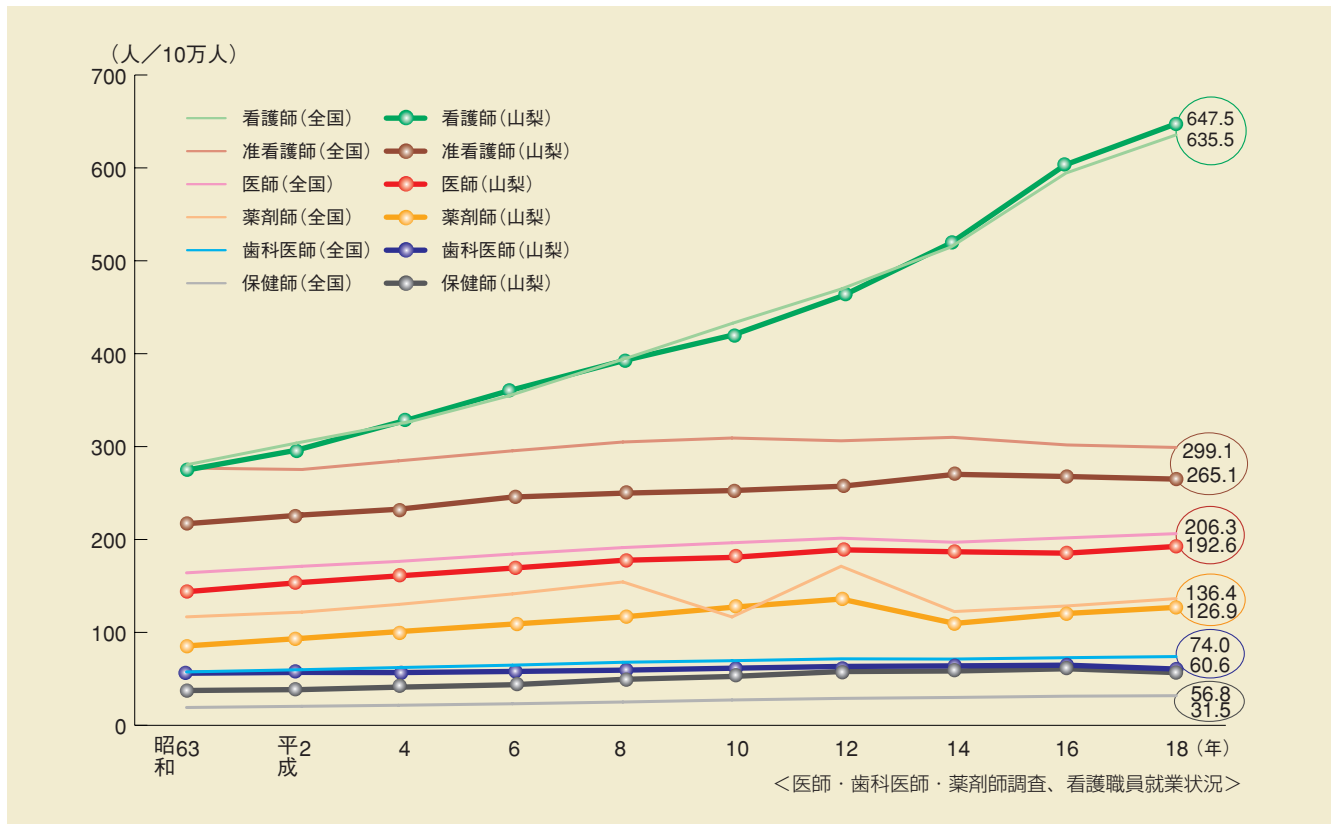
本県の障害者雇用率は平成20年6月1日現在1.52%であり、法定雇用率の1.8%を0.28ポイント下回っています。また、法定雇用を達成している企業は209社で、達成率は47.4%となっています。

平成20年8月1日現在の老人関係施設の入所者数は7,623人で、毎年増加しており、平成12年と比べると2,374人(45.2%)増加しています。また、施設数は117施設で、平成12年と比べると38施設(48.1%)増加しています。

主な死因別死亡者数の推移



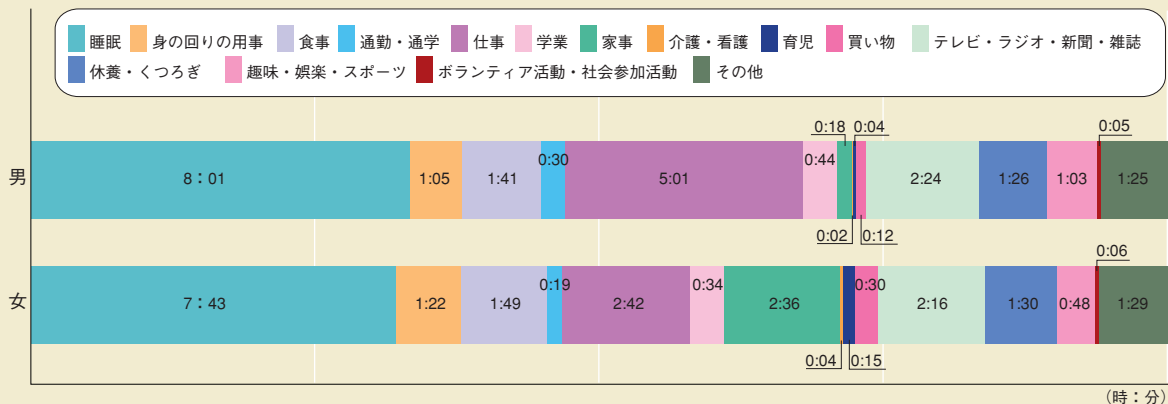
医療従事者数の推移



本県の死亡者を主な死因別にみると、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の順となっています。
 本県の人口10万人あたりの医療従事者数は、看護師、保健師がいずれも全国平均を上回っています。
 特に、平成18年12月31日現在における看護師数については昭和63年と比べると377.8人/10万人(140.1%)増加しています。

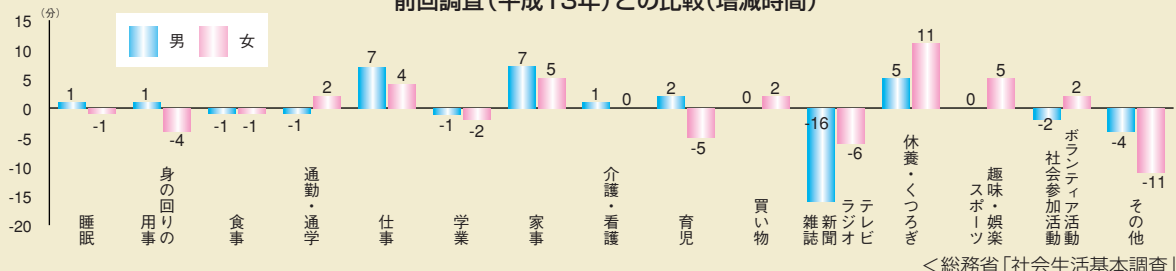
社会生活

生活行動の種類別平均時間 (平成18年)



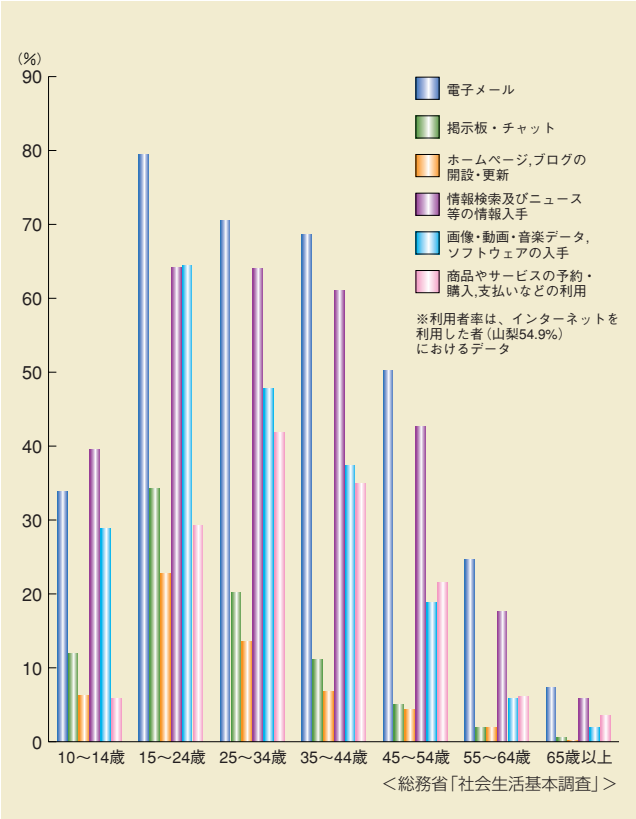
(時：分)

前回調査(平成13年)との比較(増減時間)

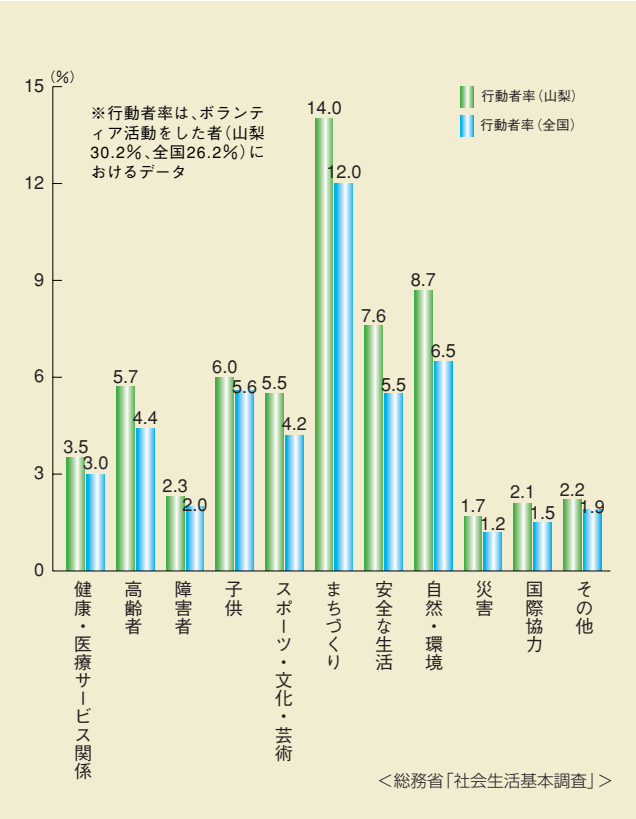


<総務省「社会生活基本調査」>

インターネットの利用 (平成18年)



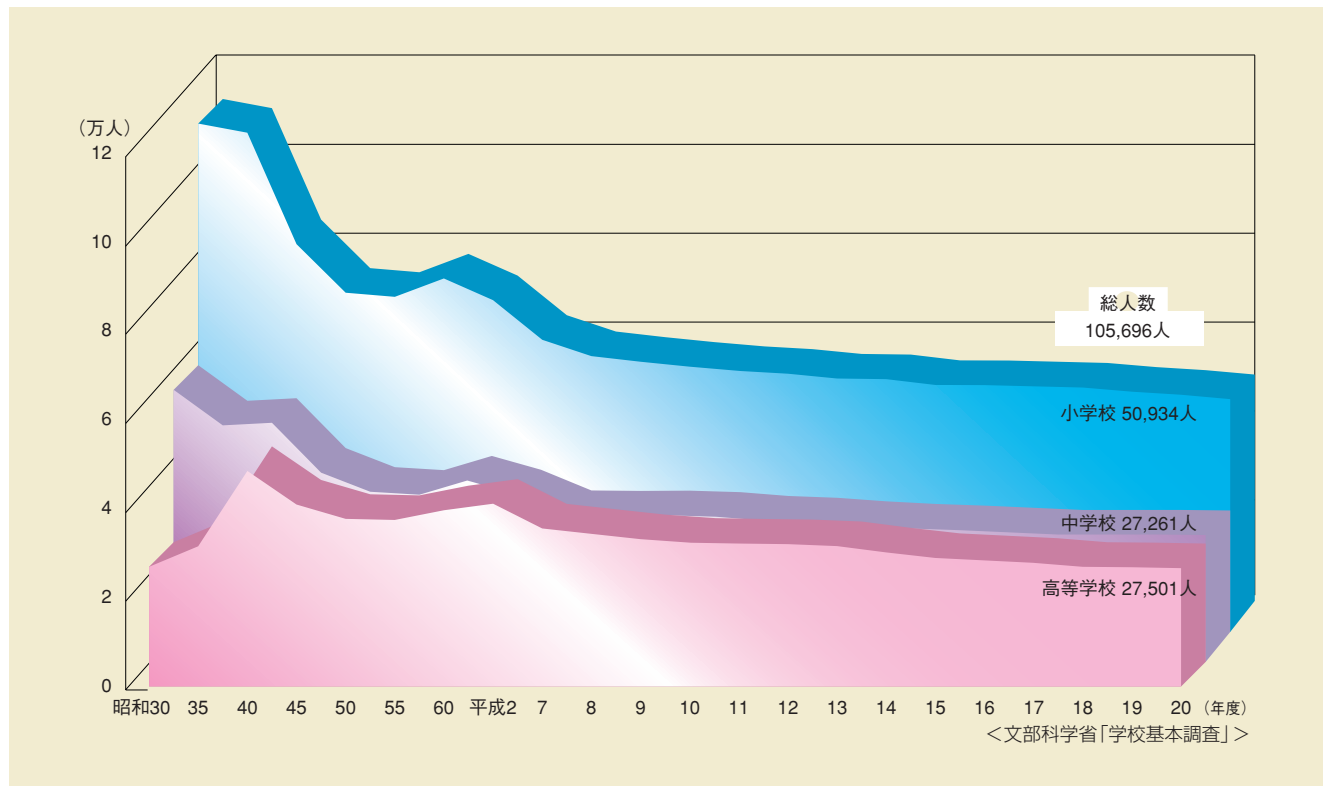
ボランティア活動 (平成18年)



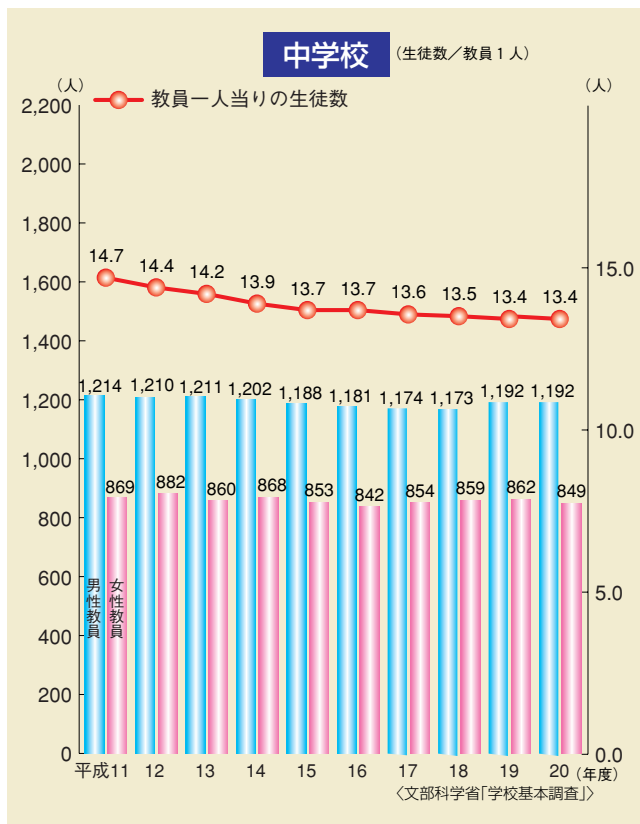
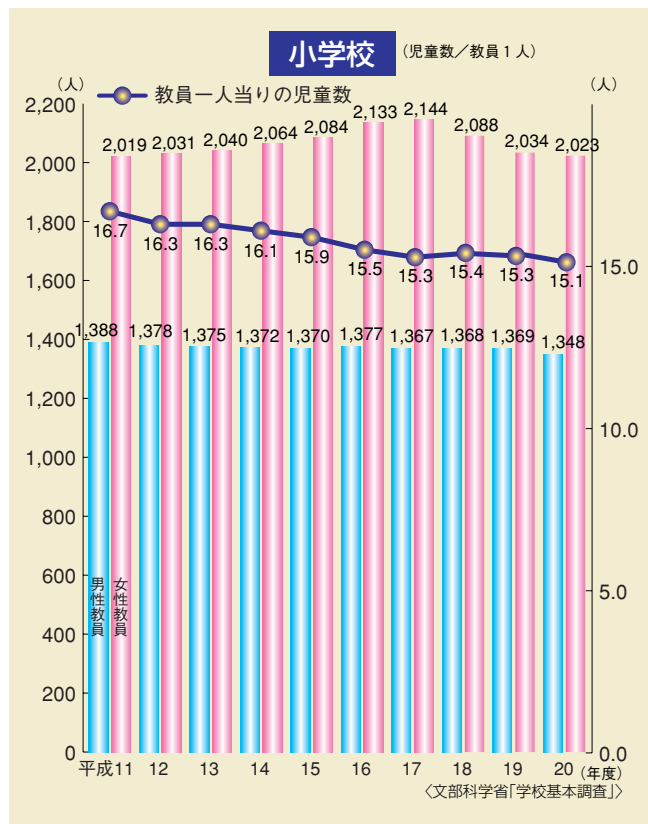
<総務省「社会生活基本調査」>

県内に住む10歳以上の男女の生活行動時間をみると、男性は仕事に費やす時間が、女性は家事に費やす時間が多くなっており、前回調査時(平成13年)と比べると男性の仕事に費やす時間は7分、女性の家事に費やす時間は5分長くなっています。
 また、インターネット利用は、各世代とも電子メールの利用が一番多くなっています。
 ボランティア活動をした行動者率は30.2%となっており、特に国際協力活動の行動者率は全国トップとなっています。

児童生徒数の推移 (各年5月1日現在)

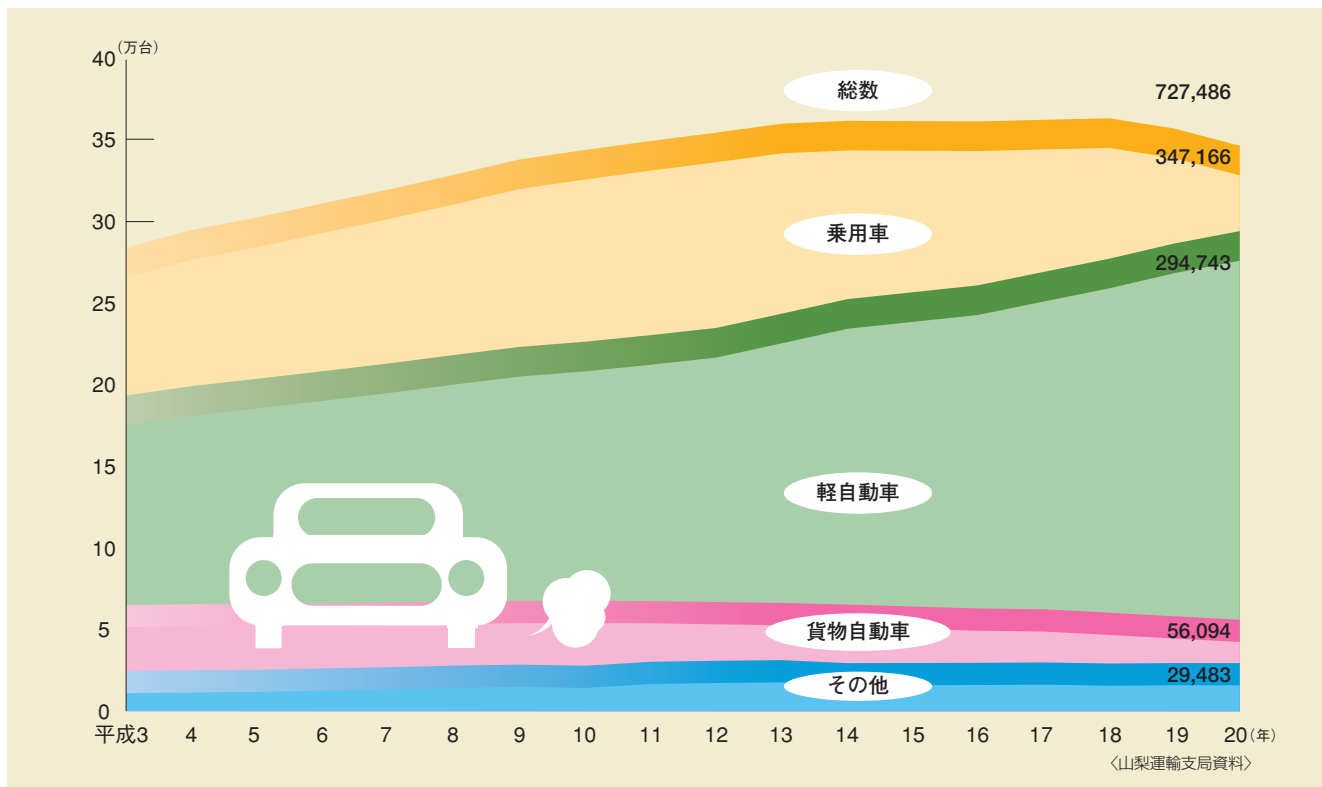


教員数と教員1人当たりの児童生徒数の推移

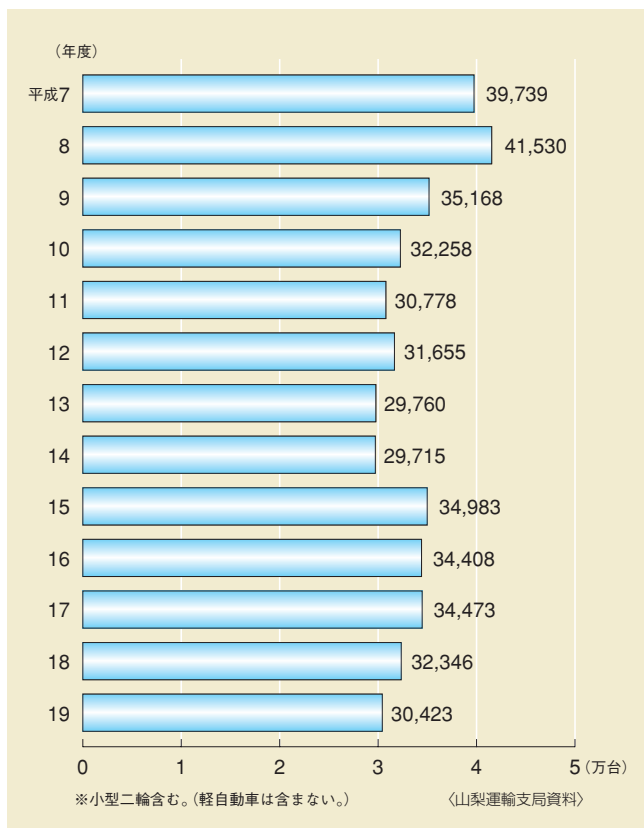


平成20年5月1日現在の児童・生徒数は、小学生50,934人、中学生27,261人、高校生27,501人となっており、児童・生徒数は、前年度に比べて減少しています。また、教員1人当たりの児童・生徒数は、小学校で15.1人、中学校で13.4人となっています。

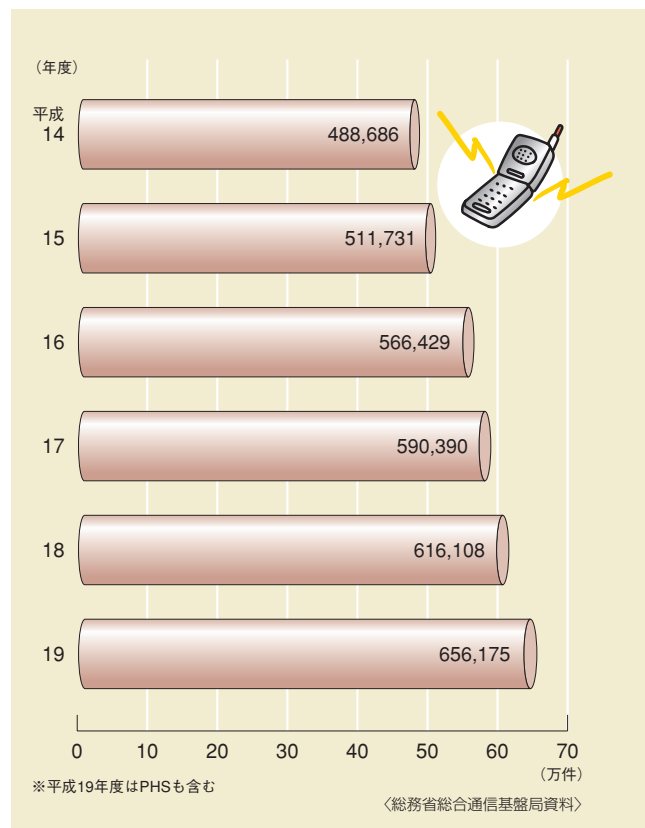
自動車保有台数の推移 (各年3月末日現在)



自動車新規登録台数の推移



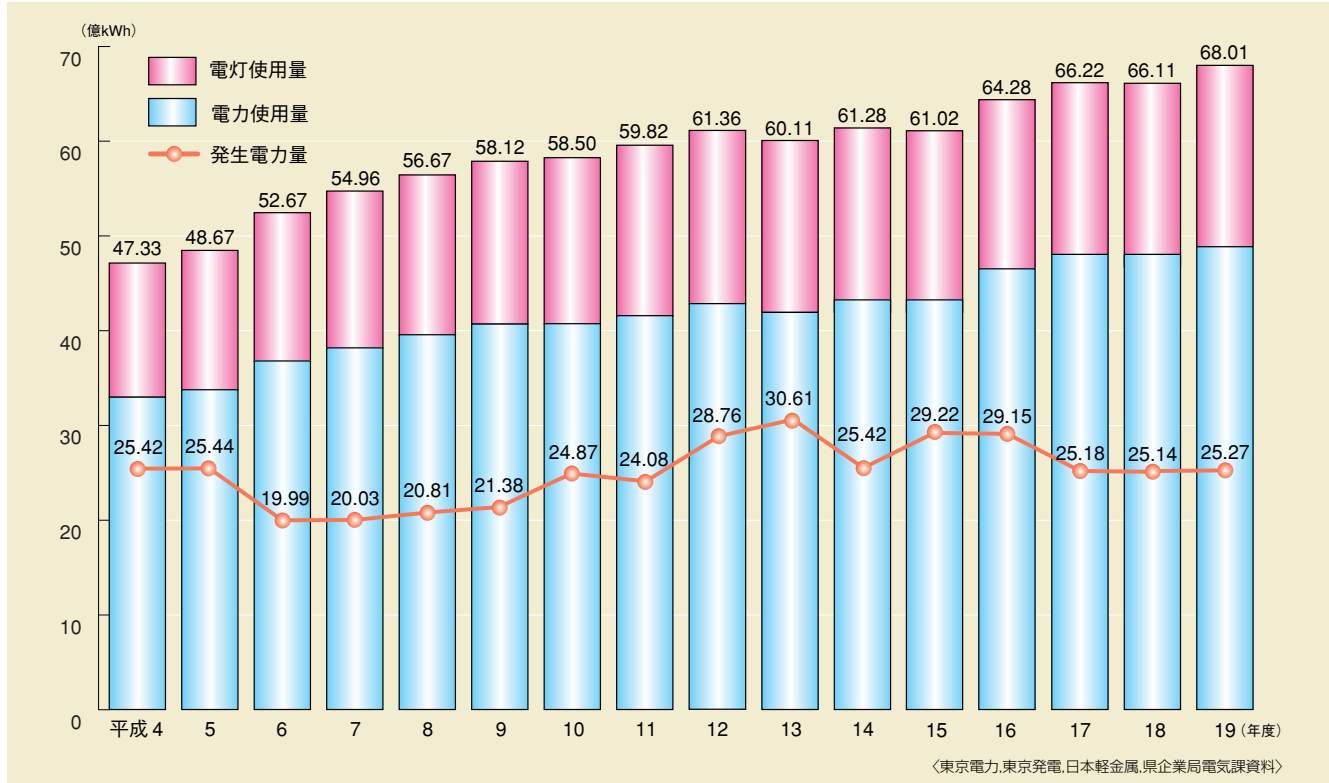
携帯電話契約数の推移



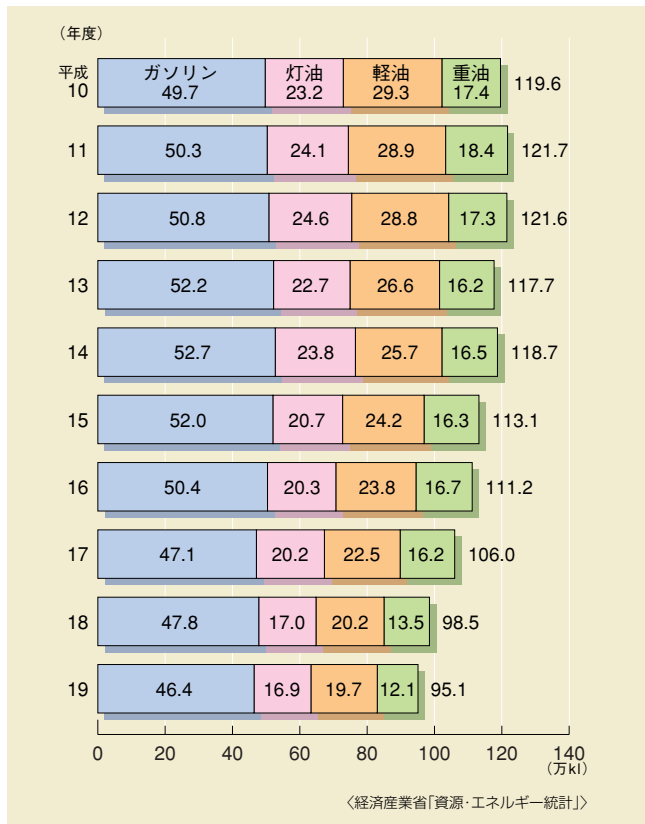
平成20年3月31日現在の本県の自動車保有台数は、727,486台で、前年に比べて5,197台減少しています。自動車新規登録台数は、30,423台で前年に比べて1,923台減少しています。

平成20年3月31日現在の携帯電話・PHS契約数は、656,175件となっています。

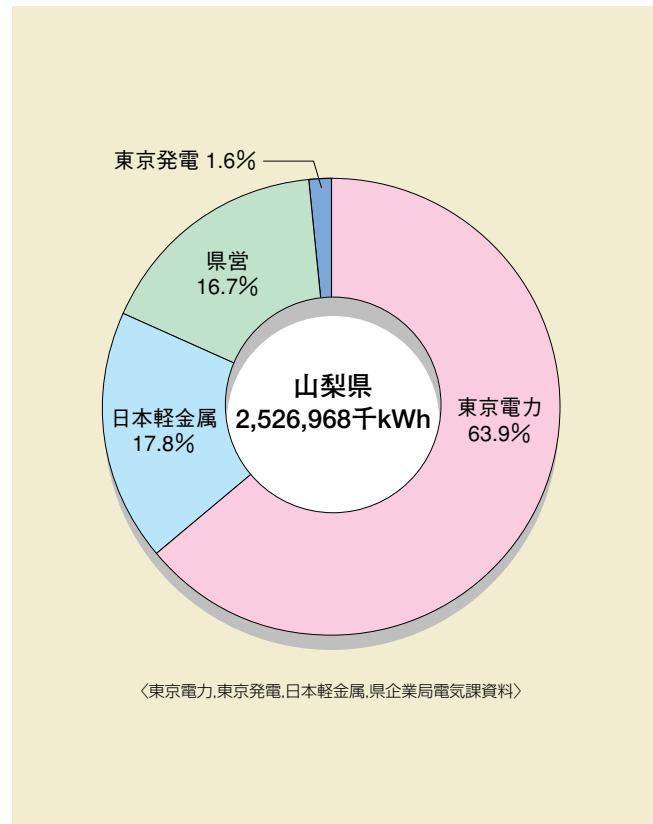
電力発電量と使用量の推移



燃料油販売量の推移

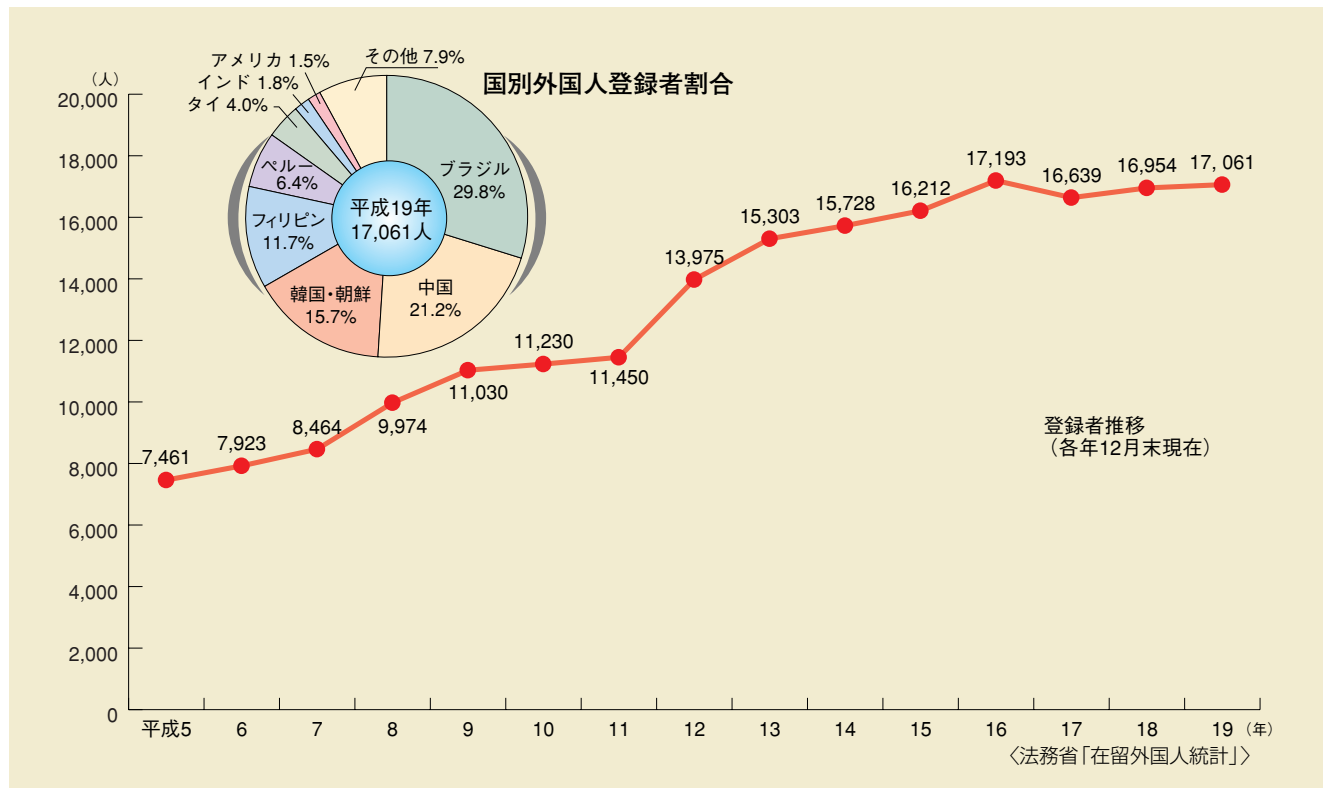


県内使用電力発電量の内訳 (平成19年度)

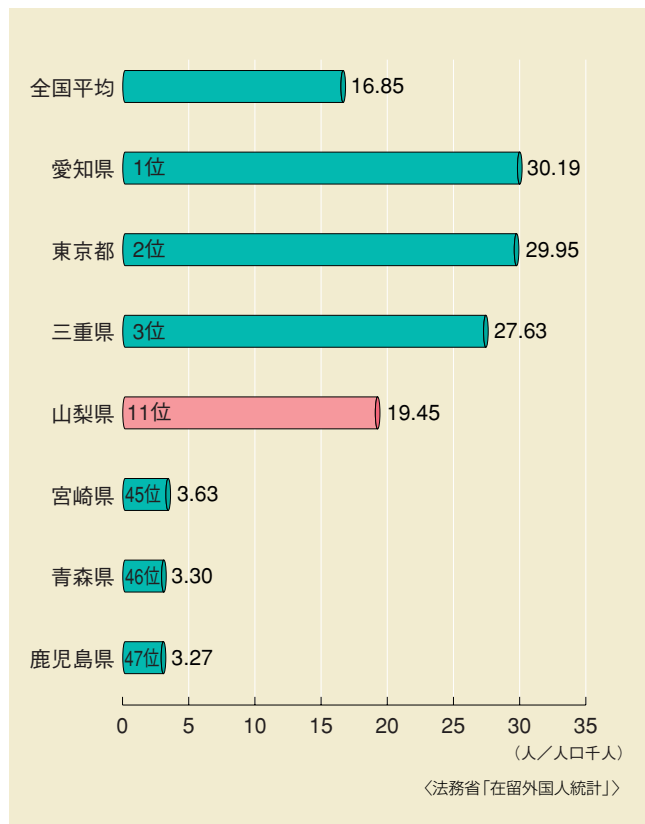


平成19年度の県内使用電力量は、68億62万4千 kWh で、前年に比べ1億8,931万6千 kWh 増加しています。
 県内発電量は、25億2,696万8千 kWh で、前年度に比べ1,343万 kWh 増加しています。

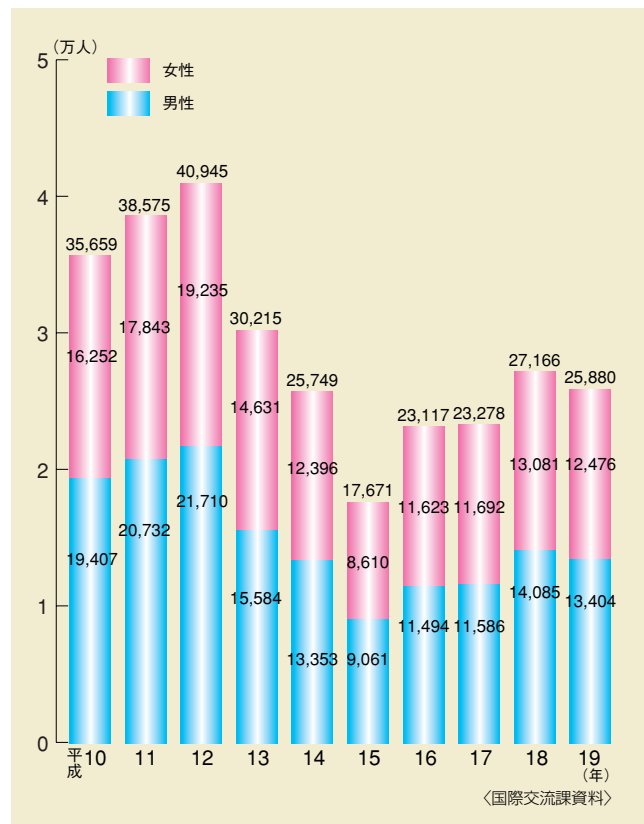
県内外国人登録者の推移



全国の外国人登録者 (人口千人あたり) (平成19年12月31日)



旅券発行数の推移

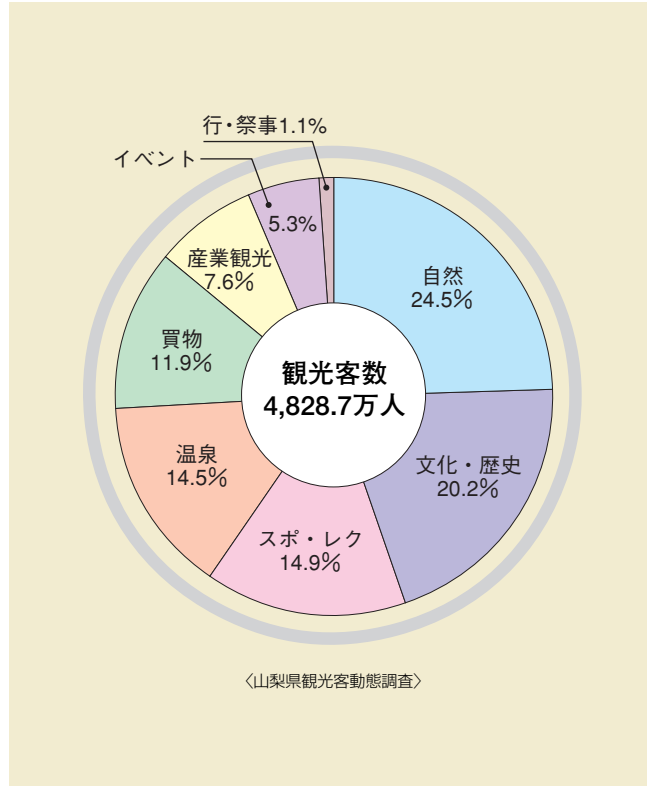


平成19年12月末現在の県内の外国人登録者数は、17,061人で、国別に見ると、ブラジルが最も多く29.8%、次いで中国21.2%、韓国・朝鮮15.7%の順となっています。

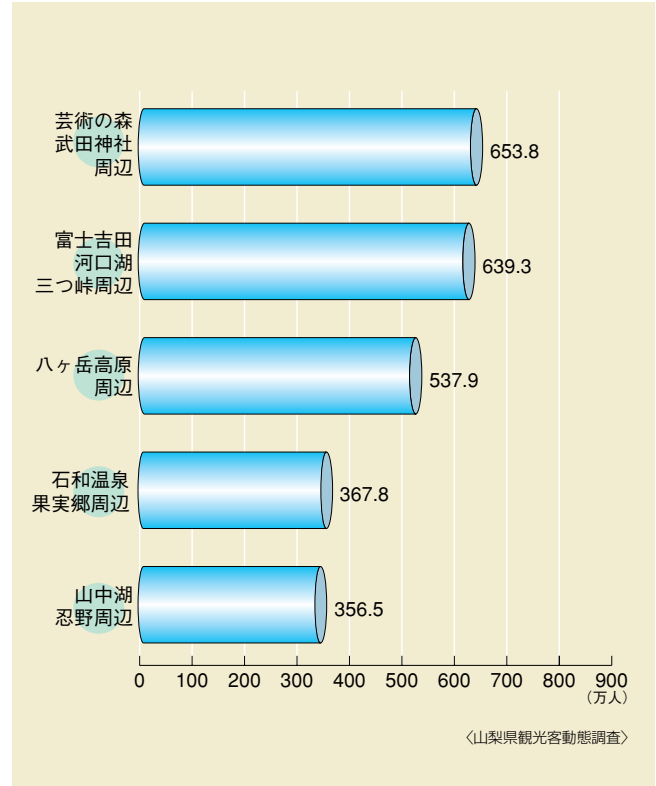
人口千人あたりの外国人登録者は19.45人と全国平均の16.85人を上回り、全国第11位となっています。

平成19年における旅券発行(者)数は25,880人で、前年に比べ1,286人(4.7%)減少しています。

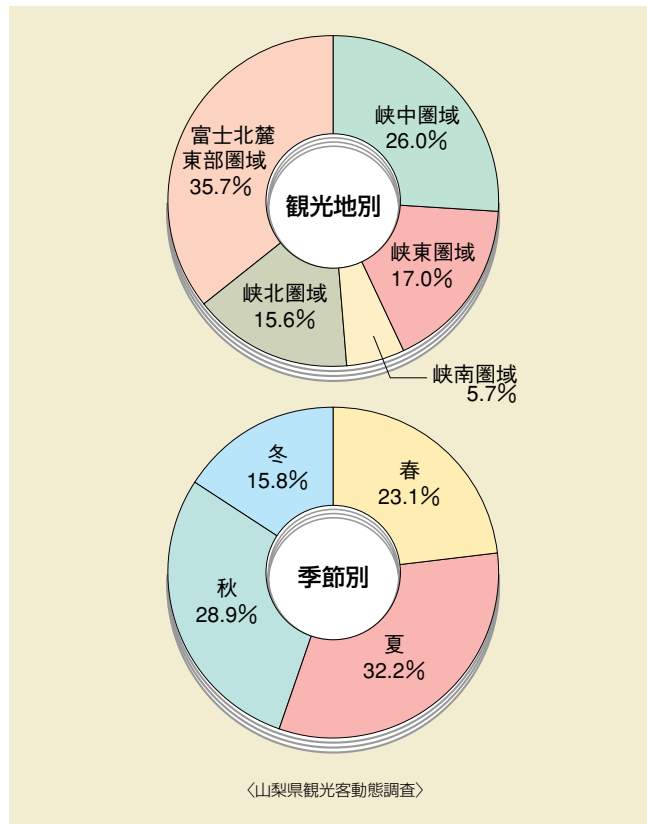
観光分類別観光客数の割合 (平成19年)



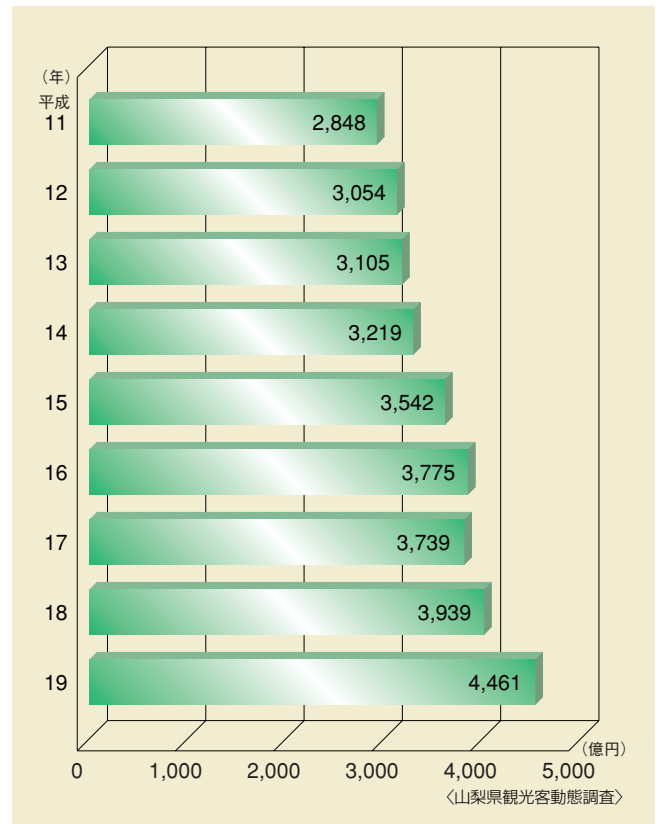
主な観光地別観光客数 (平成19年)



観光客数の割合 (観光地別、季節別) (平成19年)



観光消費総額 (平成19年)

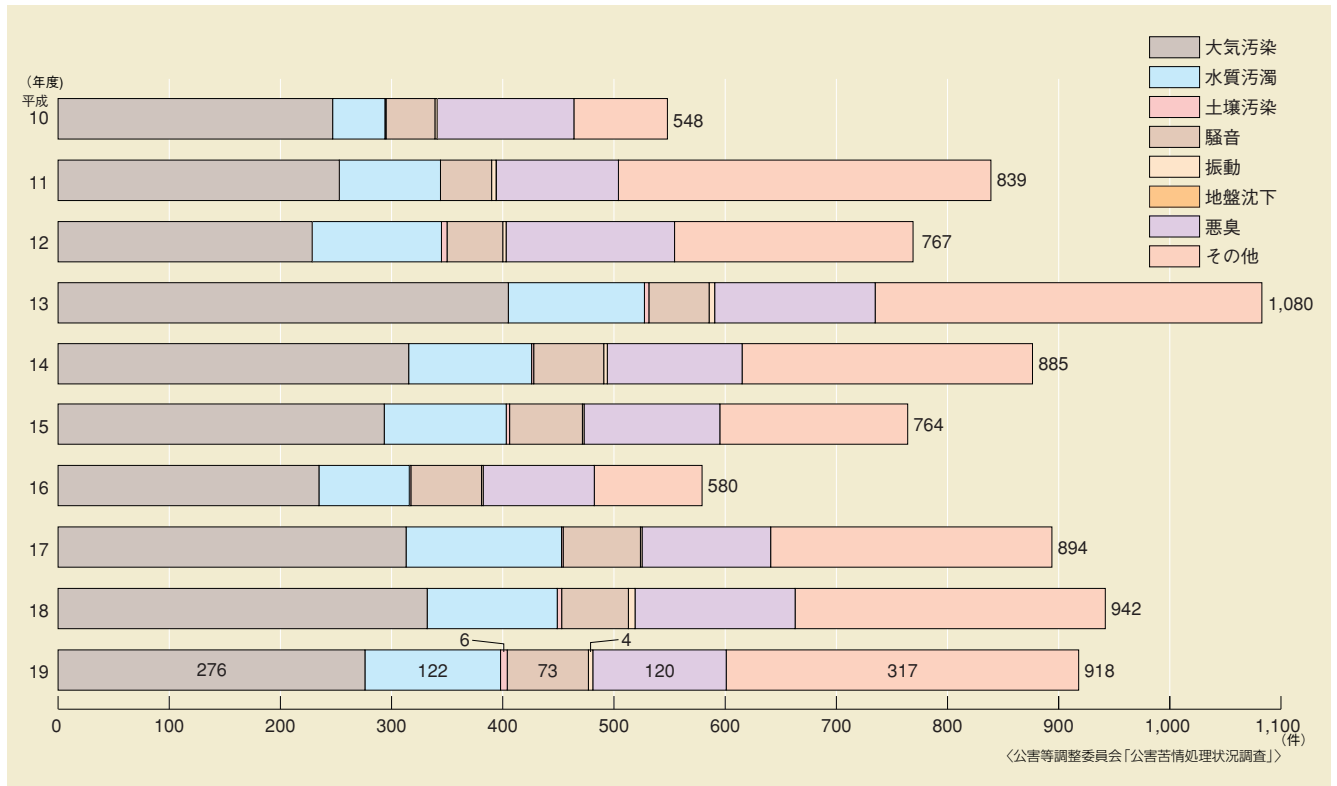


平成19年に本県を訪れた観光客数は、4,828.7万人で本県の自然をもとめて訪れる人が全体の約4分の1を占めており一番多く、次に文化・歴史をもとめて訪れる人が多くなっています。

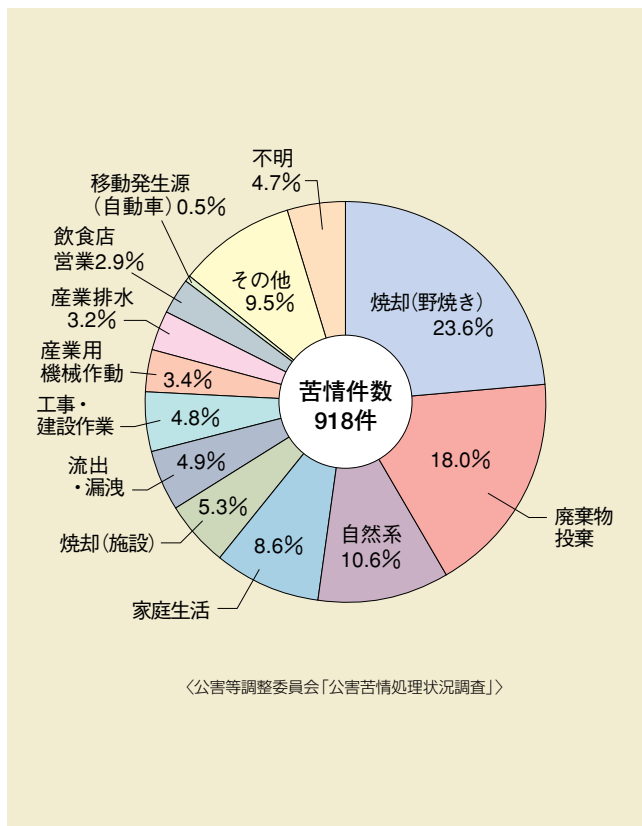
本県で最も多く観光客が訪れるのは、季節では夏に、観光地では、富士山や富士五湖を中心とする富士北麓・東部圏域となっています。

平成19年の観光消費総額は、4,461億円となっており、前年に比べ522億円（13.3%）増加しています。

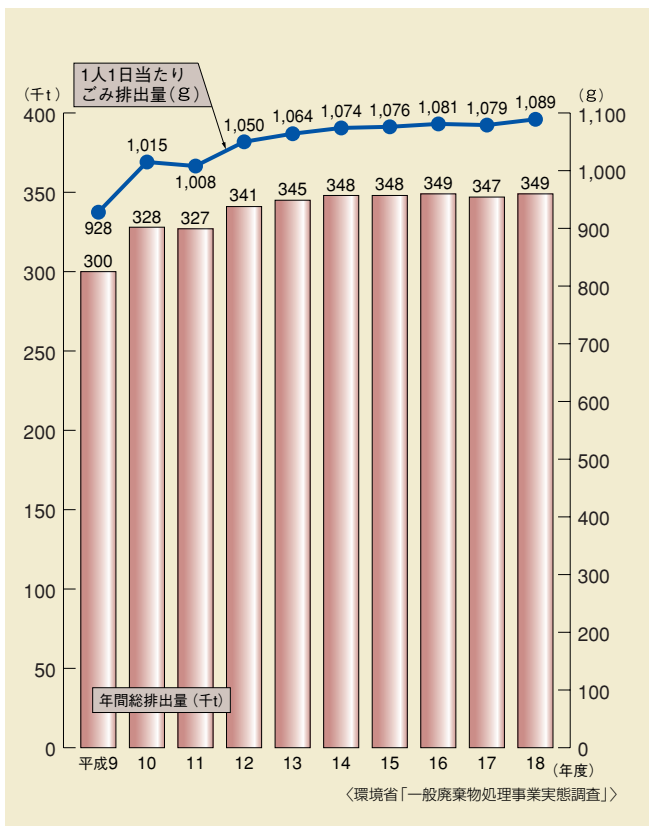
公害苦情件数の推移



公害苦情発生源別割合 (平成19年度)

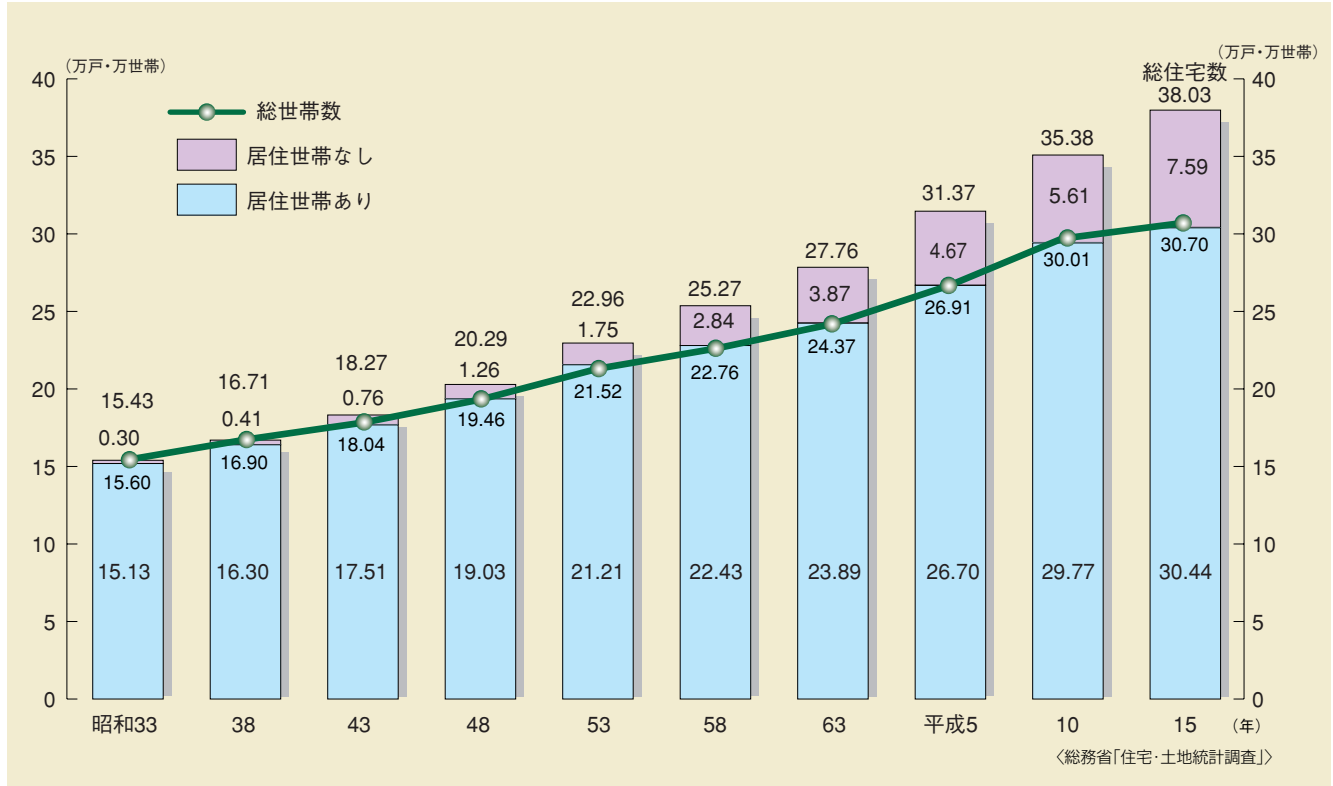


1人1日当たりごみ排出量と年間総排出量の推移

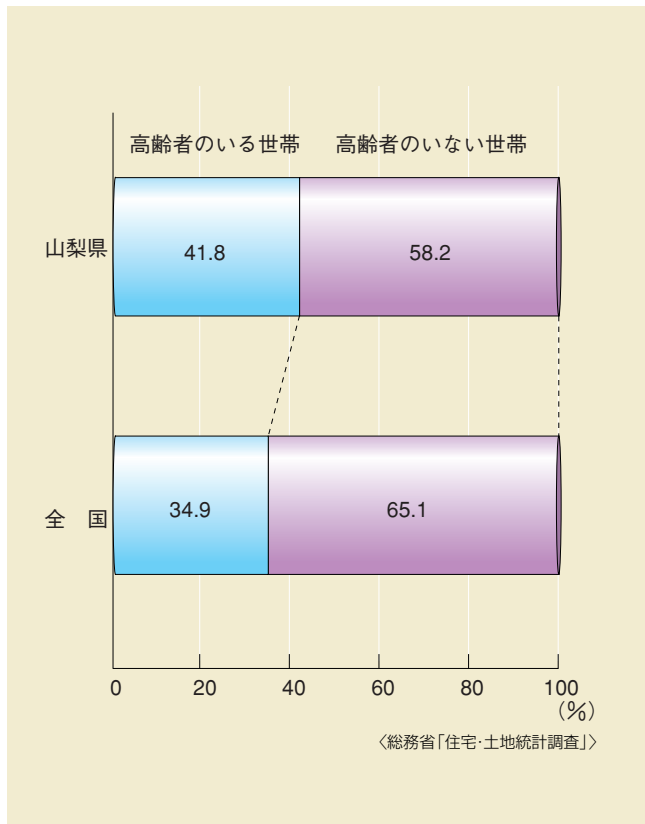


平成19年度の公害苦情件数は、918件で、前年度に比べ24件減少しています。公害苦情件数を公害の種類別に見ると、主な7つの公害に関する苦情が全体の65.5%を占めており、その中では、大気汚染、水質汚濁、悪臭の順になっています。

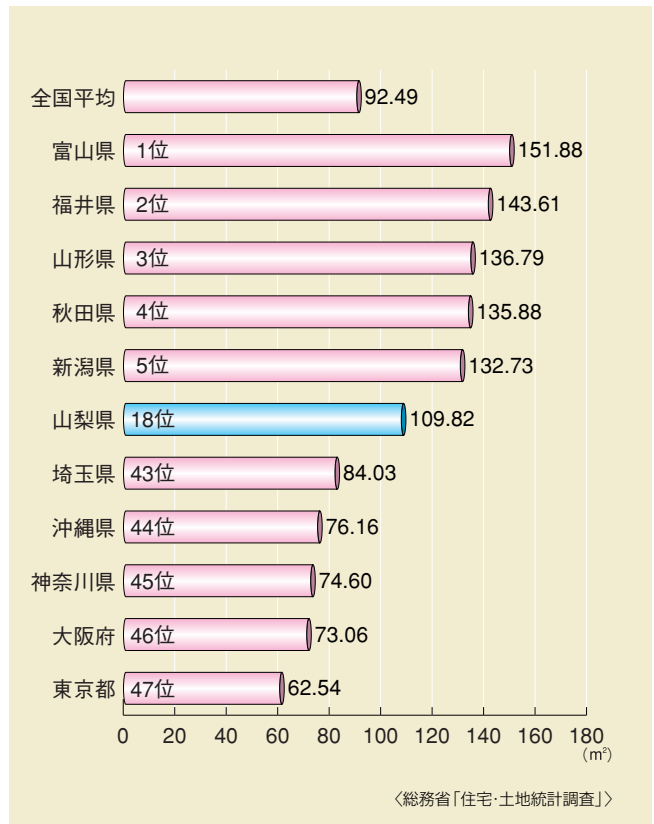
居住世帯の有無別住宅数・総世帯数の推移



高齢者同居の割合 (平成15年)



1住宅当たり延べ面積比較(専用住宅) (平成15年)

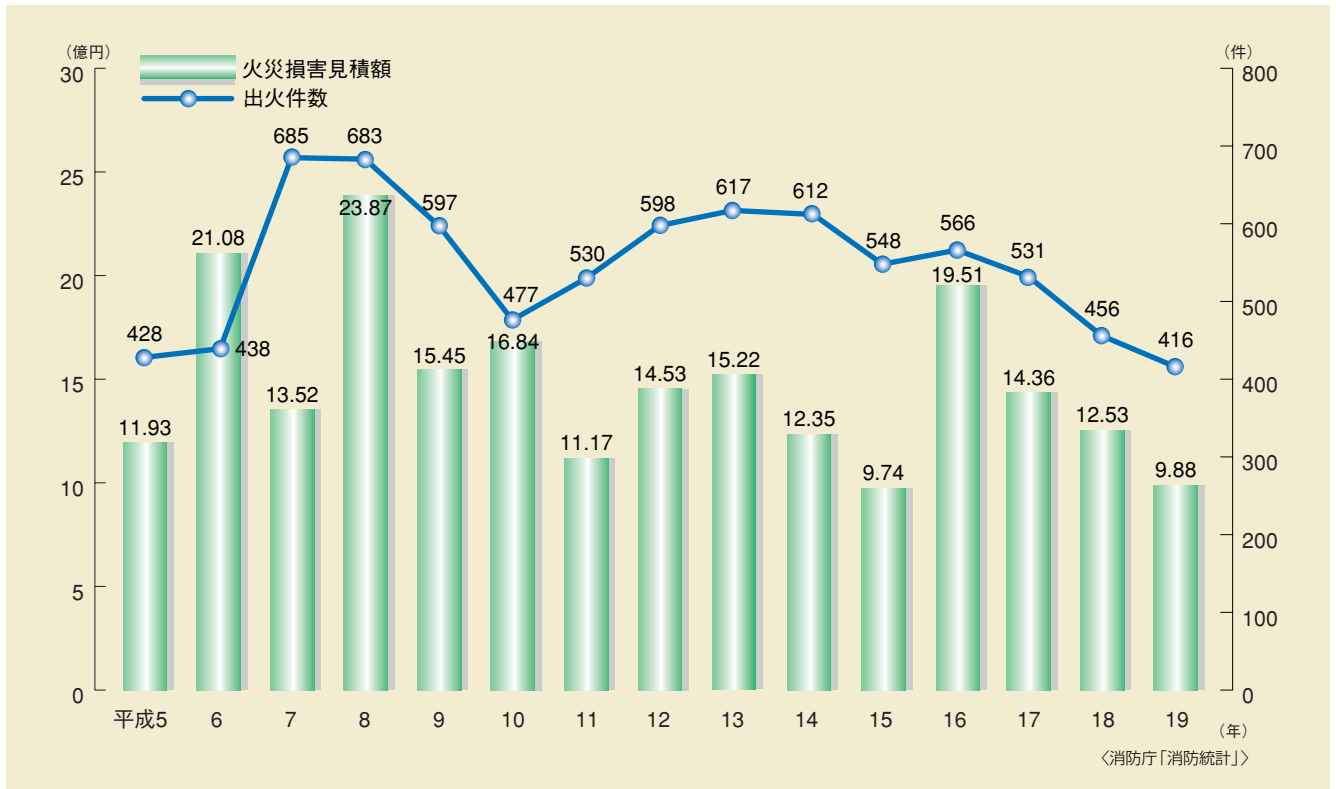


平成15年の居住世帯のある住宅数は30万4,400戸で、平成10年に比べると6,700戸の増、居住世帯のない住宅数は7万5,900戸で、平成10年に比べると1万9,800戸の増となっています。

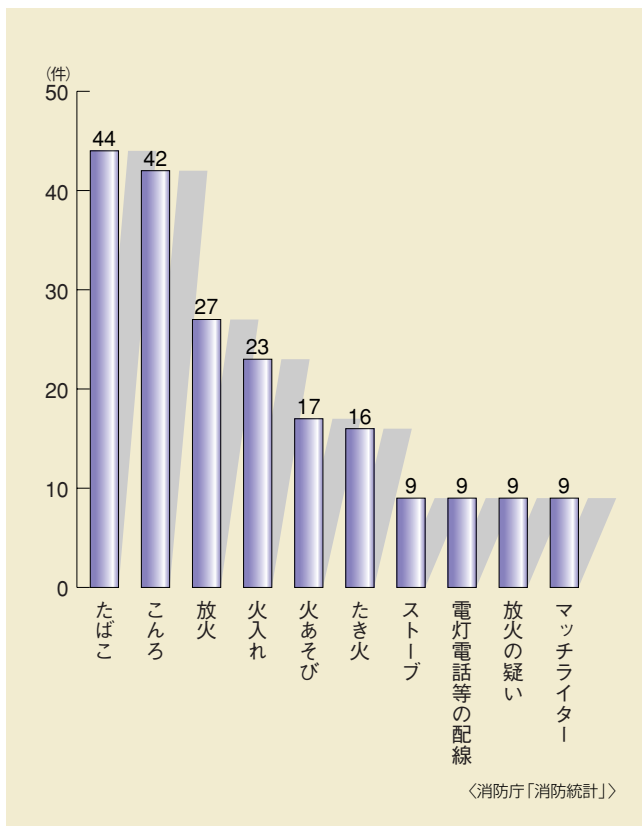
平成15年の本県の65歳以上の高齢者同居の割合をみると41.8%で全国に比べて6.9ポイント高くなっています。

平成15年の本県の1住宅当たり延べ面積(専用住宅)は109.82㎡で、全国平均(92.49㎡)より17.33㎡多くっており、全国順位第18位となっています。

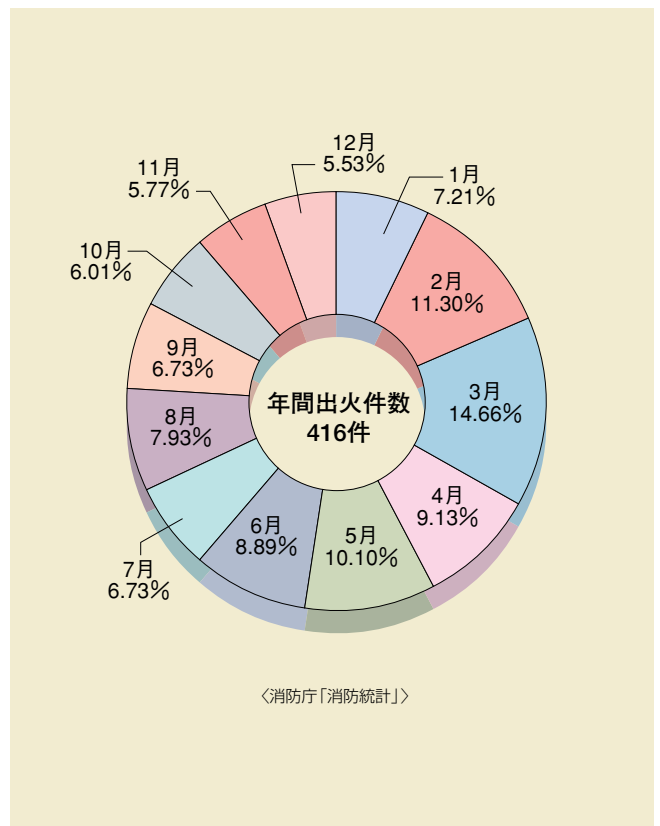
火災発生状況の推移



出火原因別・出火件数上位10位 (平成19年)



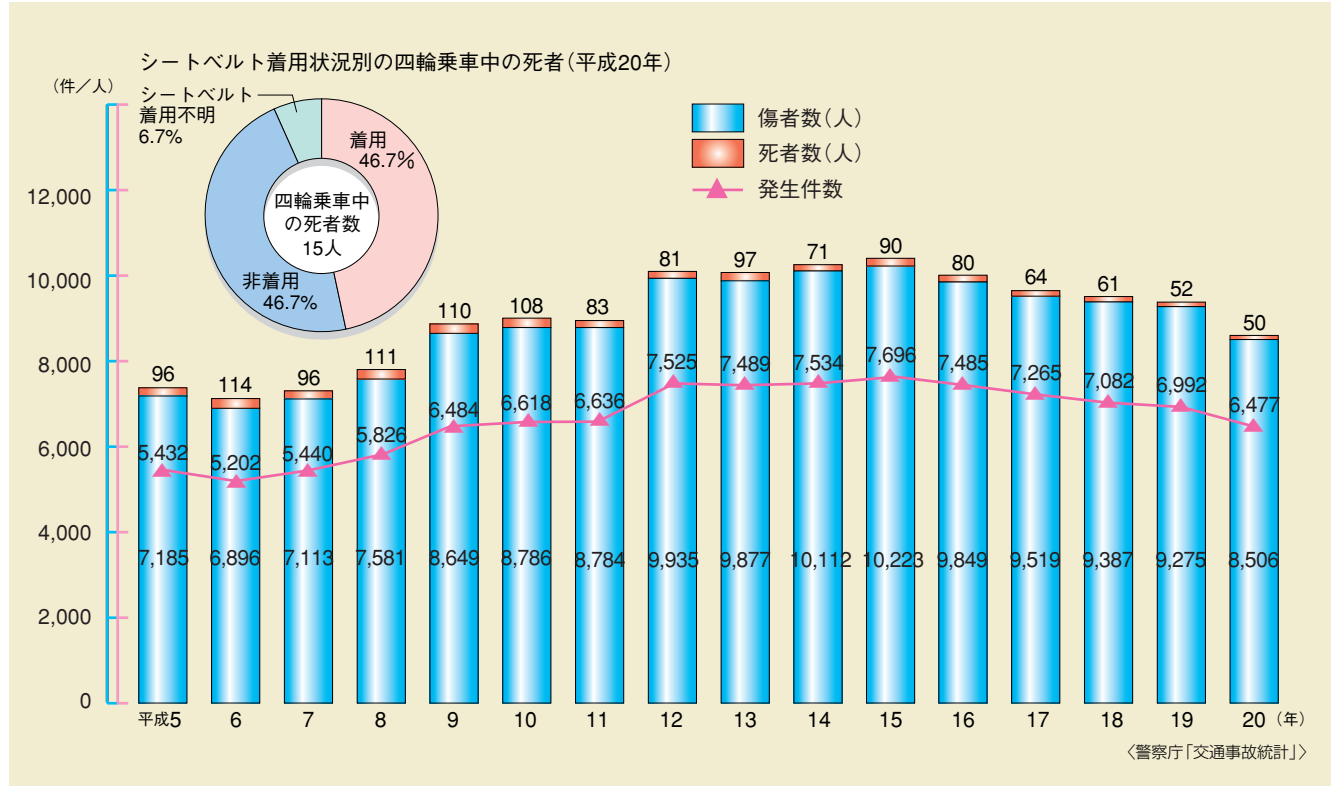
月別火災発生状況 (平成19年)



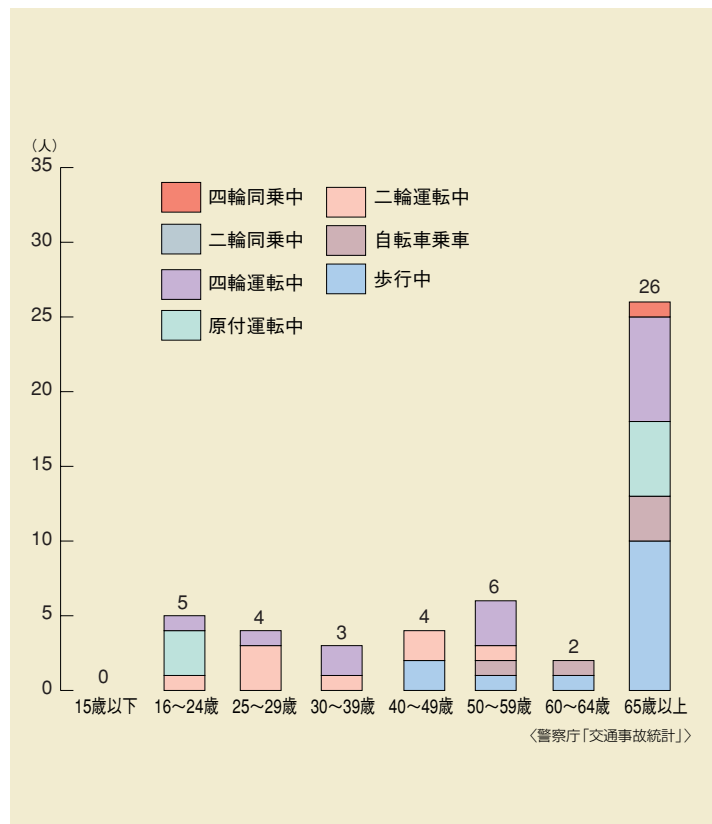
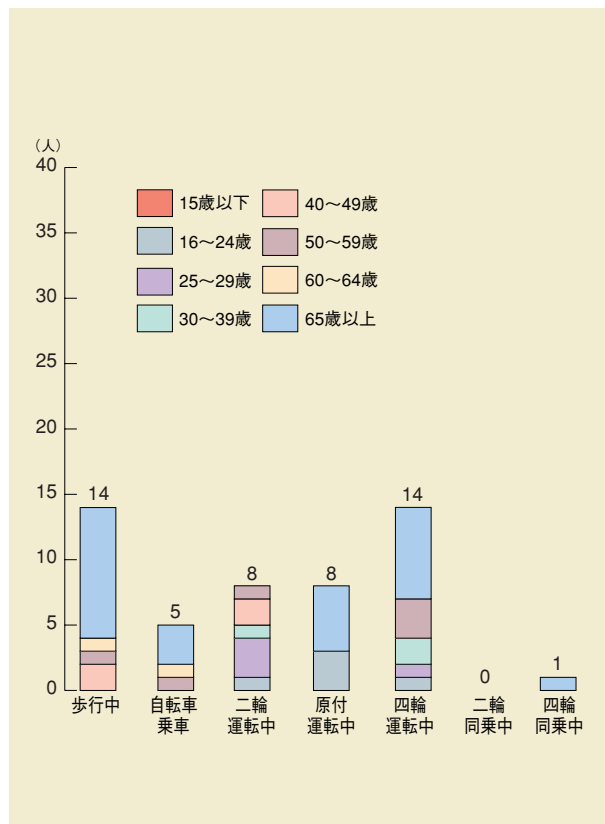
平成19年に発生した火災は、416件で前年と比べると40件減少しています。損害額は、9億8,785万9千円で前年より2億6,545万1千円減少しています。

また、平成19年中の月別・出火原因別火災発生件数では、3月が最も多く、出火原因別件数では、たばこ、こんろ、放火、火入れ、火遊びの順になっています。

交通（人身）事故発生件数等の推移



年齢別状態別死者数（平成20年）



平成20年の交通事故発生件数は6,477件で、前年と比べると515件減、死者数は50人で、前年と比べると2人減少しました。死者数を年齢別に見ると65歳以上の高齢者が犠牲となった事故が最も多く26人、次いで50歳～59歳までの6人となっています。

発生状況別に見ると、歩行中と四輪運転中が最も多く14人、次いで二輪運転中と原付運転中が8人となっています。

～利用にあたって～

・本表の山梨県順位は、表のデータを基に算出しており、調査主体者の公表している順位と異なる場合があります。

また、完全失業率の順位については数字の小さい方から数えており、それ以外は数字の大きい方から数えています。

・数字の単位未満は、四捨五入を原則としているため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります。

・表の下欄には、資料出所、調査時点、算出方法等を記載しています。

・資料の中で「平成〇〇年」とあるのは暦年(1月～12月)、「平成××年度」とあるのは会計年度(4月～翌年3月)を示します。

・人口割り、世帯割り等については、その年次(年度)の10月1日の人口または世帯を用いており、推計人口と標記のあるもの以外は平成17年10月1日の国勢調査結果を用いています。

・各指標個別の注意点については、欄外に各指標の番号を示し、記載しました。

～市町村別指標について～

・各指標は、市町村合併後の平成18年8月1日現在の市町村で掲載しています。

・調査時点が市町村合併前の調査については、合併前の市町村データをもとに再集計できるものについては再集計結果を掲載し、そのなかで旧市町村分の内訳をだすことのできるものについては括弧書きでその内訳を掲載しています。

また、合併前の市町村のデータをもとに再集計できないものについては、指標タイトルに☆マークをつけ、合併前の市町村の個別の結果を掲載しています。

・旧上九一色村の数値については、甲府市と富士河口湖町にデータを按分できるものについては各々の市町に含め、按分できないものについては旧上九一色村の結果として最下段に掲載しています。

指標からみるやまなし 自然と人口

県名	項目			
	1 総面積(km ²)	2 総世帯数(世帯)	3 可住地面積割合(総面積に占める割合)(%)	4 日照時間(年間)(時間)
北海道	83,456.58	2,380,251	27.9	1,730.1
青森県	★9,607.11	510,779	33.4	1,671.4
岩手県	15,278.86	483,926	24.3	1,782.0
宮城県	*7,285.75	865,200	43.0	1,853.6
秋田県	★11,612.28	393,038	27.2	1,578.2
山形県	*9,323.46	386,728	30.6	1,623.2
福島県	13,782.75	709,644	30.6	1,802.8
茨城県	6,095.69	1,032,476	65.2	2,020.2
栃木県	6,408.28	709,346	46.0	2,037.7
群馬県	6,363.16	726,203	36.1	2,211.2
埼玉県	*3,797.25	2,650,115	67.6	2,216.9
千葉県	*5,156.60	2,325,232	67.6	2,097.1
東京都	*2,187.65	5,890,792	63.8	1,996.0
神奈川県	2,415.84	3,591,866	60.4	2,046.0
新潟県	*12,583.48	819,552	35.6	1,666.9
富山県	*4,247.55	371,815	43.6	1,634.5
石川県	4,185.54	424,585	33.0	1,696.7
福井県	4,189.54	269,577	25.5	1,681.9
山梨県	*4,465.37	321,261	21.3	2,262.6
長野県	*13,562.23	780,245	24.4	1,971.6
岐阜県	*10,621.17	713,452	20.4	2,119.4
静岡県	*7,780.33	1,353,578	35.1	2,123.5
愛知県	*5,164.57	2,758,637	57.3	2,125.0
三重県	*5,777.19	675,459	35.0	2,141.6
滋賀県	*4,017.36	479,217	31.6	1,898.9
京都府	4,613.01	1,079,041	25.0	1,829.6
大阪府	1,897.85	3,654,293	69.5	2,124.5
兵庫県	8,395.84	2,146,488	32.9	2,162.5
奈良県	3,691.09	503,068	23.0	1,899.5
和歌山県	4,726.29	384,880	23.3	2,185.0
鳥取県	3,507.26	209,541	26.0	1,762.2
島根県	6,707.86	260,864	18.7	1,799.2
岡山県	*7,113.21	732,346	31.1	2,051.9
広島県	8,479.05	1,145,551	26.6	2,099.4
山口県	6,113.81	591,460	28.7	1,917.9
徳島県	4,146.55	298,480	24.7	2,200.7
香川県	*1,876.51	377,691	52.9	2,173.0
愛媛県	5,677.73	582,803	29.4	2,098.4
高知県	7,105.13	324,439	16.4	2,210.6
福岡県	*4,976.97	2,009,911	55.1	1,986.7
佐賀県	2,439.60	287,431	54.9	2,096.0
長崎県	4,104.48	553,620	39.6	1,946.6
熊本県	*7,405.80	667,533	37.1	2,124.4
大分県	*6,339.54	469,270	27.9	2,088.2
宮崎県	*7,734.80	451,208	23.7	2,247.4
鹿児島県	*9,188.67	725,045	35.3	2,083.0
沖縄県	2,275.91	488,368	51.1	1,759.4
全国値	377,943.57	49,566,305	32.6	1,975.2
山梨県順位	32	42	44	1
資料出所	国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」	総務省「国勢調査」	総務省「社会・人口統計体系」	甲府地方気象台資料
調査時点	平成20年10月1日	平成17年10月1日	平成19年10月1日	平成19年
調査周期	毎年	5年毎	毎年	毎年
算出方法等	★十和田湖の面積を除く *総務省「全国市町村要覧(平成20年版)」に記載されている便宜上の概算数値。	—	調査時点における可住地面積÷総面積(北方、竹島を除く)	—

(注)・2 総世帯数＝一般世帯数＋施設等の世帯数。
「一般世帯」とは、住居と生計を共にする人の集まり又は一戸を構成して住む単身者等。
「施設等の世帯」とは、施設・病院等の入所者、寮の学生、営舎・艦船内居住者等。

自然と人口

項目							
5 降水量 (年間)(mm)	6 年平均気温 (℃)	7 総人口(人)	8 人口密度 (可住地面積1km ² 当たり)(人)	9 合計特殊 出生率	10 人口増減率 (%)	11 1世帯当たり人員 (総世帯)(人)	12 外国人登録人員 (人口千人当たり)(人)
1,028.5	9.4	5,627,737	254.3	1.19	△ 1.0	2.36	3.71
1,293.0	11.1	1,436,657	439.1	1.28	△ 2.6	2.81	3.30
1,398.0	10.7	1,385,041	367.6	1.39	△ 2.2	2.86	4.81
1,343.5	13.1	2,360,218	749.8	1.27	△ 0.2	2.73	6.81
1,555.0	12.4	1,145,501	355.2	1.31	△ 3.7	2.91	3.99
1,247.5	12.2	1,216,181	420.5	1.42	△ 2.2	3.14	6.16
1,279.0	13.6	2,091,319	489.9	1.49	△ 1.7	2.95	6.22
1,367.0	14.4	2,975,167	746.7	1.35	△ 0.4	2.88	18.38
1,320.5	14.6	2,016,631	683.5	1.39	0.6	2.84	16.98
1,310.5	15.3	2,024,135	878.7	1.36	0.0	2.79	23.25
1,068.0	15.8	7,054,243	2,763.6	1.26	1.7	2.66	16.23
1,744.5	16.2	6,056,462	1,748.2	1.25	2.2	2.60	17.17
1,332.0	17.0	12,576,601	9,136.7	1.05	4.2	2.13	29.95
1,464.5	16.5	8,791,597	6,082.5	1.25	3.6	2.45	18.46
1,748.5	14.4	2,431,459	536.5	1.37	△ 1.8	2.97	5.93
1,769.5	14.9	1,111,729	597.5	1.34	△ 0.8	2.99	13.99
1,820.5	15.1	1,174,026	846.0	1.40	△ 0.6	2.77	9.66
2,000.0	15.0	821,592	765.0	1.52	△ 0.9	3.05	17.40
1,052.5	15.3	884,515	922.6	1.35	△ 0.4	2.75	19.45
887.0	12.5	2,196,114	658.6	1.47	△ 0.8	2.81	19.88
1,608.0	16.4	2,107,226	970.6	1.34	△ 0.1	2.95	27.21
2,052.5	17.1	3,792,377	1,391.3	1.44	0.7	2.80	26.66
1,269.5	16.6	7,254,704	2,486.1	1.38	3.0	2.63	30.19
1,310.0	16.6	1,866,963	927.5	1.37	0.5	2.76	27.63
1,473.5	15.2	1,380,361	1,106.5	1.42	2.8	2.88	22.53
1,212.5	16.3	2,647,660	2,281.2	1.18	0.1	2.45	20.23
962.5	17.6	8,817,166	6,681.9	1.24	0.1	2.41	24.03
922.0	17.4	5,590,601	2,025.5	1.30	0.7	2.60	18.17
1,109.5	15.3	1,421,310	1,657.8	1.22	△ 1.5	2.83	8.21
912.5	17.3	1,035,969	927.4	1.34	△ 3.2	2.69	6.32
1,594.5	15.5	607,012	657.7	1.47	△ 1.0	2.90	7.81
1,492.0	15.7	742,223	581.8	1.53	△ 2.5	2.85	8.39
773.0	17.0	1,957,264	882.9	1.41	0.3	2.67	11.41
1,047.5	17.0	2,876,642	1,272.9	1.43	△ 0.1	2.51	14.18
1,275.0	17.6	1,492,606	841.4	1.42	△ 2.3	2.52	10.04
860.5	17.4	809,950	782.5	1.30	△ 1.7	2.71	6.82
795.0	17.3	1,012,400	1,013.9	1.48	△ 1.0	2.68	8.66
1,051.5	17.3	1,467,815	868.9	1.40	△ 1.7	2.52	6.58
1,859.0	17.9	796,292	668.9	1.31	△ 2.2	2.45	4.52
1,195.0	18.0	5,049,908	1,843.3	1.34	0.7	2.51	9.62
1,624.5	17.4	866,369	641.2	1.51	△ 1.2	3.01	5.10
1,464.0	18.0	1,478,632	897.1	1.48	△ 2.5	2.67	5.24
1,810.5	18.0	1,842,233	665.3	1.54	△ 0.9	2.76	4.98
1,474.0	17.4	1,209,571	679.5	1.47	△ 0.9	2.58	8.52
2,464.5	18.1	1,153,042	622.6	1.59	△ 1.4	2.56	3.63
2,420.0	19.3	1,753,179	533.4	1.54	△ 1.8	2.42	3.27
2,816.5	23.5	1,361,594	1,180.4	1.75	3.3	2.79	6.49
1,423.0	15.9	127,767,994	1,052.7	1.34	0.7	2.58	16.85
37	30	41	19	28	20	24	11
甲府地方 気象台資料	甲府地方 気象台資料	総務省 「国勢調査」	総務省 「社会・人口統計体系」	厚生労働省 「人口動態統計」	総務省 「国勢調査」	総務省 「国勢調査」	法務省 「在留外国人統計」
平成19年	平成19年	平成17年10月1日	平成19年10月1日	平成19年	平成17年10月1日	平成17年10月1日	平成19年12月31日
毎年	毎年	5年毎	毎年	毎年	5年毎	5年毎	毎年
—	—	—	総人口(推計人口)÷可住 地面積(北方、竹島を除く)	(母の年齢別出生数÷年齢別女子 人口)の15~49歳までの合計	(H17国調人口-H12国 調人口)÷H12国調人口	総人口÷総世帯数	外国人登録人員数÷ 総人口(推計人口)

(注)・4~6 各都道府県の気象台における所定の観測地点の数値。
 ・4~6 全国値は全国47地点の単純平均。

産業と労働

県名	項目						
	13 経済成長率(実質) (県内総生産対前年度増加率)(%)	14 1人当たり 県民所得(千円)	15 県内総生産 (実質)(百万円)	16 農業産出額 (億円)	17 製造品出荷額等(従業者 4人以上事業所)(百万円)	18 年間商品販 売額(百万円)	19 有効求人倍率(倍) (学卒を除きパートを含む)
北海道	△ 0.8	2,463	20,133,902	9,809	5,739,595	17,819,365	0.56
青森県	8.3	2,443	4,799,499	2,858	1,642,098	3,310,311	0.47
岩手県	1.8	2,346	5,049,989	2,460	2,633,458	3,188,084	0.73
宮城県	0.9	2,615	8,874,576	1,832	3,551,616	10,601,386	0.93
秋田県	4.4	2,334	4,200,578	1,825	1,661,481	2,470,794	0.61
山形県	2.9	2,472	4,716,107	2,045	3,201,341	2,702,748	0.94
福島県	2.1	2,775	8,857,405	2,441	6,170,602	4,670,152	0.89
茨城県	0.7	2,843	11,373,579	4,082	12,667,610	6,869,837	0.98
栃木県	2.0	3,104	9,011,667	2,634	9,245,343	5,650,308	1.45
群馬県	0.9	2,921	8,052,507	2,223	8,109,732	6,830,048	1.63
埼玉県	1.1	2,961	22,394,185	1,945	14,730,186	15,153,850	1.01
千葉県	0.4	2,962	20,052,403	4,119	14,314,261	12,322,192	0.94
東京都	0.8	4,820	97,723,425	280	10,612,138	182,211,327	1.38
神奈川県	2.3	3,257	34,138,193	759	20,169,960	20,946,950	0.95
新潟県	△ 1.9	2,734	9,556,654	2,710	5,204,601	7,185,195	1.12
富山県	△ 0.8	3,013	4,953,913	624	3,960,085	3,297,996	1.19
石川県	0.5	2,806	4,879,088	557	2,814,940	4,157,618	1.35
福井県	0.2	2,819	3,628,804	448	2,161,224	2,230,298	1.40
山梨県	1.6	2,773	3,375,135	837	2,746,923	1,899,724	1.07
長野県	△ 0.8	2,789	9,135,219	2,307	6,874,214	5,832,187	1.18
岐阜県	1.5	2,863	7,973,763	1,184	5,867,572	4,760,601	1.35
静岡県	1.9	3,389	17,703,207	2,308	19,364,594	11,054,615	1.21
愛知県	4.0	3,509	40,283,233	3,154	47,399,976	43,443,249	1.95
三重県	4.9	3,193	8,723,725	1,099	11,598,220	3,940,384	1.40
滋賀県	1.5	3,352	6,355,298	586	7,227,870	2,516,575	1.31
京都府	2.8	2,976	10,677,469	703	6,133,953	7,396,170	0.95
大阪府	0.5	3,083	40,890,696	326	17,921,383	61,660,209	1.26
兵庫県	3.1	2,882	21,346,166	1,431	15,784,587	13,269,264	0.94
奈良県	0.4	2,692	3,994,997	468	2,482,109	2,126,234	0.81
和歌山県	△ 3.5	2,665	3,444,445	1,026	3,159,180	1,866,101	0.90
鳥取県	2.8	2,422	2,157,457	682	1,138,594	1,348,156	0.75
島根県	△ 0.2	2,437	2,591,973	601	1,201,501	1,421,377	0.92
岡山県	4.0	2,800	7,981,836	1,215	8,253,857	5,181,731	1.43
広島県	2.8	3,095	13,170,910	1,030	10,158,571	11,868,449	1.19
山口県	△ 2.6	2,883	5,884,721	654	6,916,399	3,548,663	1.07
徳島県	△ 1.5	2,694	2,791,279	1,025	1,715,751	1,661,534	0.89
香川県	3.5	2,718	3,935,501	767	2,730,692	3,980,519	1.29
愛媛県	1.6	2,487	5,122,279	1,237	4,340,584	3,537,416	0.87
高知県	△ 1.2	2,170	2,355,750	973	595,499	1,593,153	0.50
福岡県	0.9	2,665	19,025,689	2,148	8,615,071	22,126,399	0.85
佐賀県	0.2	2,475	3,038,041	1,255	1,962,880	1,835,911	0.70
長崎県	1.0	2,159	4,671,160	1,349	1,928,210	3,024,321	0.62
熊本県	1.0	2,398	6,175,206	3,046	2,915,593	3,950,340	0.82
大分県	0.6	2,594	4,822,543	1,326	4,251,027	2,557,027	1.03
宮崎県	0.9	2,150	3,732,566	3,078	1,433,543	2,586,434	0.67
鹿児島県	1.1	2,283	5,569,508	4,053	1,985,737	4,026,665	0.61
沖縄県	1.5	2,089	3,966,826	930	559,850	2,605,252	0.42
全国値	1.4	2,922	553,293,072	84,449	335,854,210	548,237,119	1.04
山梨県順位	18	24	42	34	32	41	18
資料出所	内閣府「国民経済計算年報」 「県民経済計算年報」	内閣府「国民経済計算年報」 「県民経済計算年報」	内閣府「国民経済計算年報」 「県民経済計算年報」	農林水産省 「生産農業所得統計」	経済産業省 「工業統計調査」	経済産業省 「商業統計調査」	厚生労働省「職業安定業務統計」
調査時点	平成18年度	平成18年度	平成18年度	平成19年	平成19年12月31日	平成19年6月1日	平成19年(年平均)
調査周期	毎年	毎年	毎年	毎年	毎年	本調査は5年毎(簡易調査は本調査の2年後)	毎年
算出方法等	都道府県内総生産額-前年度都道府県内総生産額÷前年度都道府県内総生産額	都道府県民所得額÷総人口	—	—	※速報値	—	月間有効求人数÷月間有効求職者数

(注)・13、15 実質は固定基準年方式(平成12暦年基準)

産業と労働

項目	21 基まて支給する給与(1人平均月額)(事業所規模5人以上)(円)	22 総実労働時間(事業所規模5人以上)(時間)
20 完全失業率 (%)		
5.1	233,826	152.4
5.7	225,924	157.5
4.1	225,188	161.1
4.8	233,090	150.4
4.4	222,313	159.7
3.0	244,792	160.0
4.2	248,793	157.8
3.5	263,703	151.6
3.3	269,586	158.2
3.0	250,881	152.0
3.6	246,133	142.0
3.3	262,139	147.0
3.8	338,139	150.4
3.8	294,717	146.0
3.6	246,480	158.3
3.2	258,947	155.7
3.0	257,182	152.4
2.7	261,486	157.5
3.0	259,661	155.7
2.9	246,237	151.1
2.3	248,602	150.9
2.7	269,728	154.7
2.7	285,366	151.0
2.6	266,010	149.4
2.8	261,424	148.3
4.0	259,952	145.8
5.3	289,260	149.3
4.0	260,767	145.7
3.7	244,401	141.3
3.4	245,620	154.5
3.7	233,938	156.7
2.4	230,580	153.1
3.4	266,629	158.6
3.3	269,249	153.3
2.9	253,384	153.4
3.8	257,180	154.2
3.5	256,102	155.0
3.8	245,924	157.6
5.2	236,014	148.9
4.9	248,705	151.5
2.5	236,741	158.2
4.0	224,490	157.4
4.0	226,873	154.9
3.6	234,968	158.0
3.5	231,687	157.9
4.2	227,977	154.6
7.4	212,011	151.8
3.9	269,508	150.7
11	16	16
総務省「労働力調査(モデル推計値)」	厚生労働省「毎月勤労統計調査」	厚生労働省「毎月勤労統計調査」
平成19年(年平均)	平成19年(年平均)	平成19年(年平均)
毎年	毎年	毎年
完全失業者÷労働力人口	—	—

教育と文化

項目	23 高等学校等進学率(%)	24 大学等進学率(%)	25 教員1人当たり小学校児童数(人)	26 教員1人当たり中学校生徒数(人)	27 海外渡航者数(人口千人当たり)(人)	28 生活行動時間(自由時間)(時間・分)
98.6	40.4	14.27	11.98	56.84	6.56	
97.7	41.7	14.03	12.63	32.48	6.04	
98.7	39.0	13.39	12.09	38.15	6.09	
98.6	44.9	15.90	13.63	65.65	6.23	
98.2	43.1	13.94	12.65	36.12	6.20	
99.0	45.1	14.13	13.09	50.02	6.15	
97.9	42.6	15.17	13.12	57.08	6.18	
98.1	51.0	16.62	14.13	108.44	6.20	
97.6	52.6	16.25	13.67	98.47	6.22	
97.9	52.9	17.04	14.52	94.20	6.05	
98.0	55.1	20.28	16.81	148.30	6.09	
97.8	53.3	18.64	15.56	176.66	6.14	
97.9	63.8	19.21	16.60	252.20	6.19	
97.7	60.3	20.24	16.35	211.61	6.18	
99.1	48.7	14.83	13.25	59.78	6.29	
98.6	54.6	16.67	14.45	82.13	6.25	
98.7	54.5	16.10	14.49	86.41	6.13	
98.5	56.8	14.95	12.94	87.97	6.02	
98.4	57.6	15.11	13.36	101.17	6.14	
98.5	50.7	16.30	13.49	94.00	6.08	
97.9	55.3	16.77	14.20	120.19	6.16	
97.4	52.6	18.84	15.96	114.79	6.22	
97.2	58.4	19.32	16.75	159.81	6.26	
98.1	51.1	15.14	13.36	114.39	6.22	
98.3	56.8	16.94	14.06	136.15	6.21	
98.3	64.6	16.29	13.81	147.17	6.25	
97.4	57.1	19.08	15.69	151.69	6.37	
97.8	59.3	17.63	15.06	152.06	6.34	
98.1	57.5	16.35	13.94	159.38	6.20	
98.4	49.9	14.42	12.05	86.19	6.23	
98.3	43.6	12.84	11.94	69.05	6.23	
98.7	45.9	11.43	10.83	48.60	6.19	
97.7	51.9	15.83	13.62	84.97	6.19	
97.5	61.6	16.95	14.81	95.16	6.12	
97.0	43.1	14.99	12.04	71.29	6.27	
98.5	51.9	12.94	11.31	68.44	6.39	
97.3	51.6	16.02	13.27	77.58	6.25	
97.6	52.5	14.50	12.74	62.98	6.49	
97.5	44.9	11.56	9.40	48.90	6.23	
96.7	51.7	18.35	15.21	107.79	6.27	
97.5	42.6	15.80	12.90	69.49	6.19	
98.7	41.0	14.71	12.46	56.93	6.35	
98.6	41.7	14.71	13.50	69.28	6.24	
98.6	46.1	14.13	12.60	63.71	6.23	
97.9	42.2	15.68	12.34	44.55	6.18	
98.4	40.5	12.61	11.35	43.21	6.21	
94.3	36.1	17.89	13.91	57.90	6.14	
97.8	52.8	16.98	14.40	129.61	6.23	
16	7	29	25	16	37	
文部科学省「学校基本調査」	文部科学省「学校基本調査」	文部科学省「学校基本調査」	文部科学省「学校基本調査」	法務省「出入国管理」	総務省「社会生活基本調査」	
平成20年5月1日	平成20年5月1日	平成20年5月1日	平成20年5月1日	平成19年	平成18年10月1日	
毎年	毎年	毎年	毎年	毎年	5年毎	
高等学校進学者数÷中学校卒業生数	大学・短大等進学者数÷高等学校卒業生数	小学校児童数÷教員数	中学校生徒数÷教員数	出国日本人数÷総人口(推計人口)	—	

(注)・28 自由時間とは、生理的な活動(睡眠・食事等)や義務的性格が強い活動(仕事・家事等)に費やす時間以外で自由に使える時間。

家計と住環境

県名	項目						
	29 美収入(勤労者世帯1世帯当たり1ヶ月平均)(都道府県庁所在地)(円)	30 家計消費支出(2人以上の世帯1世帯当たり1ヶ月平均)(都道府県庁所在地)(円)	31 食料費割合(2人以上の世帯1世帯当たり1ヶ月平均)(都道府県庁所在地)(%)	32 消費者物価地域差指数(都道府県庁所在地)	33 住宅地平均価格(1㎡当たり)(円)	34 持ち家住宅率(%)	35 新設住宅1戸当たり床面積(1住宅当たり)(㎡)
北海道	467,082	289,715	22.1	103.1	22,000	56.7	88.1
青森県	501,025	259,883	25.4	100.1	24,000	70.9	110.2
岩手県	574,277	297,903	23.2	101.8	30,200	70.1	97.9
宮城県	455,572	306,736	22.2	99.8	41,000	60.6	85.9
秋田県	534,664	292,550	22.7	97.8	20,200	77.6	105.8
山形県	591,380	326,761	21.0	103.1	24,300	75.9	108.4
福島県	612,428	321,100	20.3	100.3	24,600	68.6	97.9
茨城県	640,068	334,475	19.8	100.7	40,000	70.1	96.6
栃木県	570,533	304,418	22.3	102.9	43,500	69.2	95.2
群馬県	435,586	278,218	24.2	98.9	37,300	70.5	94.2
埼玉県	606,404	348,987	21.8	104.6	122,500	64.1	86.7
千葉県	556,295	322,247	24.2	102.2	83,500	64.3	83.4
東京都	549,549	327,384	23.8	110.9	360,500	44.8	71.7
神奈川県	548,690	324,168	22.8	110.4	196,100	56.3	77.7
新潟県	541,042	299,815	24.0	102.7	31,400	74.9	107.6
富山県	673,192	357,909	21.2	101.6	36,900	79.6	107.6
石川県	641,406	342,688	22.6	104.3	51,600	68.7	96.5
福井県	645,763	321,887	21.6	101.7	39,500	76.1	103.4
山梨県	535,755	287,745	23.0	102.4	32,500	69.6	101.1
長野県	514,233	306,157	21.9	101.0	25,900	72.2	102.0
岐阜県	545,831	293,170	23.6	99.8	39,500	73.4	97.2
静岡県	539,969	296,106	23.2	105.1	77,700	65.6	91.1
愛知県	538,848	299,043	24.2	104.8	108,000	58.7	84.0
三重県	552,007	320,574	21.0	101.0	37,800	75.3	84.1
滋賀県	516,766	305,810	23.8	101.0	55,400	73.0	87.4
京都府	507,855	288,640	26.0	106.0	117,400	61.0	81.4
大阪府	472,986	281,867	24.6	107.2	165,300	51.9	78.6
兵庫県	516,801	254,612	26.6	103.9	106,400	63.4	90.3
奈良県	546,961	339,191	22.2	100.9	65,900	72.2	100.1
和歌山県	489,451	233,420	25.6	102.5	44,300	72.9	98.4
鳥取県	469,180	279,608	22.3	99.6	28,400	70.7	97.6
島根県	548,118	302,519	22.9	102.3	26,400	72.9	94.1
岡山県	514,636	305,216	21.3	104.5	34,500	66.0	89.4
広島県	568,746	328,835	21.4	101.9	59,700	60.5	81.7
山口県	574,827	318,352	20.6	101.4	32,600	66.1	85.1
徳島県	568,459	298,138	20.7	99.6	42,600	70.8	95.2
香川県	628,642	344,024	19.1	99.4	42,100	70.2	95.7
愛媛県	533,598	288,611	22.3	98.8	45,400	66.6	90.6
高知県	517,120	284,574	23.2	99.0	45,300	64.7	92.1
福岡県	410,415	308,853	21.9	100.7	49,900	54.3	79.2
佐賀県	503,828	313,925	20.9	99.0	24,500	70.9	85.3
長崎県	431,877	274,800	23.1	102.7	29,000	65.0	85.3
熊本県	508,398	272,840	23.3	99.6	29,500	63.8	81.7
大分県	519,281	307,536	20.6	100.1	29,500	63.5	79.8
宮崎県	477,069	265,478	22.1	96.5	28,300	67.1	91.9
鹿児島県	513,795	296,103	20.6	101.2	33,000	67.3	83.4
沖縄県	375,206	220,100	23.3	96.6	42,000	52.3	84.4
全国値	528,762	297,782	23.0	100.0	75,700	61.2	85.3
山梨県順位	24	36	19	17	32	21	8
資料出所	総務省「家計調査」	総務省「家計調査」	総務省「家計調査」	総務省「消費者物価指数年報」	国土交通省「都道府県地価調査結果」	総務省「住宅・土地統計調査」	国土交通省「建築統計年報」
調査時点	平成19年(1ヶ月平均)	平成19年(1ヶ月平均)	平成19年(1ヶ月平均)	平成19年	平成20年7月1日	平成15年10月1日	平成19年度
調査周期	毎年	毎年	毎年	毎年	毎年	5年毎	毎年
算出方法等	—	—	食料費÷消費支出	持家の帰属家賃を除く総合	全国値については、全ての住宅地調査時点(23,749地点)の平均	持ち家住宅数÷居住世帯あり住宅数	総新設住宅床面積÷新設住宅数

家計と住環境

項目			
36 コンビニエンスストア数 (人口10万人当たり)(店)	37 汚水処理人口 普及率(%)	38 焼却及び高速堆肥 処理率(%)	39 自家用自動車保有台数 (人口千人当たり)(台)
45.4	92.6	58.7	452.7
34.8	67.0	78.8	393.2
33.8	68.6	78.5	401.4
40.1	84.9	82.6	415.1
29.6	74.5	75.5	410.6
33.0	84.0	77.4	432.0
34.3	69.6	79.8	450.8
37.8	73.6	72.4	536.5
35.1	74.3	76.4	536.0
35.7	68.5	85.1	535.0
30.0	86.2	81.2	377.0
32.6	80.8	80.0	388.7
41.6	99.2	85.1	253.5
33.2	96.9	86.3	322.4
31.1	76.7	74.9	419.5
36.4	89.8	84.7	480.5
31.7	86.0	65.5	460.4
31.4	85.1	77.8	462.9
37.1	73.2	73.7	468.2
32.2	93.1	71.9	465.2
32.4	83.1	77.3	489.0
32.0	68.8	80.5	444.4
36.0	80.9	81.9	456.1
26.8	73.3	55.6	445.4
29.3	96.7	75.1	396.5
29.5	93.0	87.5	309.2
30.0	94.2	94.9	274.3
27.0	97.6	85.1	327.3
24.3	82.4	83.5	356.9
20.7	45.4	81.2	351.8
26.0	86.7	78.5	372.1
23.0	66.4	63.4	359.2
29.3	74.7	84.6	399.3
31.9	79.2	65.4	356.2
26.4	76.4	69.8	382.4
26.3	42.6	74.7	406.1
29.7	63.0	71.7	396.0
27.9	65.0	77.9	344.3
26.1	61.8	76.6	331.0
33.4	84.7	76.2	374.0
37.0	67.1	79.0	376.7
28.7	70.6	82.2	293.9
37.6	74.7	82.0	387.5
25.1	63.4	74.0	395.4
31.8	73.1	74.2	392.6
35.4	64.7	69.1	372.2
30.4	77.5	85.2	325.8
33.4	83.7	79.6	378.5
6	31	37	6
経済産業省「商業 統計調査」	環境省「農林水産省・国土交通 省」汚水処理人口普及状況」	総務省「公共施設 状況調査」	国土交通省自動車交通局 監修「自動車保有車両数」
平成19年6月1日	平成19年度	平成17年度	平成20年3月31日
本調査は5年毎(簡易調査 は本調査の2年後)	毎年	3年毎	毎年
コンビニエンスストア数÷ 総人口(推計人口)	—	ごみ衛生処理量(焼却処理+高速 堆肥化処理)÷年間総排出量	自家用自動車保有台数÷ 総人口(推計人口)

(注)・39 軽自動車・小型自動二輪車は除く。
・39 不明車両数含む。(旧上九一色村の車両数は含んでいない。)

福祉と医療

項目		
40 生活保護被保護人員 (人口千人当たり)(人)	41 身体障害者更正援護施設数 (人口百万人当たり)(所)	42 知的障害者援護施設数 (人口百万人当たり)(所)
25.11	21.1	47.8
17.74	26.7	59.7
8.47	22.5	47.3
8.89	12.3	36.5
11.43	21.2	54.7
4.48	14.9	38.1
7.42	8.2	31.7
5.64	10.8	25.9
6.90	18.9	51.6
4.42	15.8	40.6
7.79	10.5	22.2
8.56	11.5	24.7
15.99	16.1	26.3
12.23	11.9	26.4
5.91	23.2	41.8
2.32	18.9	47.7
4.63	20.5	42.7
2.90	25.6	70.8
4.25	26.1	48.9
3.41	23.3	38.4
3.31	15.7	31.8
4.60	14.7	32.9
6.06	16.6	29.3
7.17	23.0	34.2
5.85	23.0	56.9
19.60	29.5	41.6
26.07	21.0	39.3
14.59	12.3	28.4
11.54	15.5	36.7
11.87	21.4	52.5
8.77	29.8	56.3
6.22	29.9	71.9
9.90	18.4	38.9
12.27	24.7	43.8
10.21	21.6	39.8
15.24	28.6	43.5
9.49	24.8	40.6
11.23	21.2	40.4
22.12	34.2	50.7
19.17	20.8	40.0
7.34	19.7	47.5
16.62	25.2	67.5
9.27	23.4	56.1
13.41	37.3	56.4
11.48	27.0	29.6
15.34	35.0	51.6
17.32	21.9	35.1
12.26	18.3	36.6
43	10	14
厚生労働省「福祉 行政報告例」	厚生労働省「社会福 祉施設等調査報告」	厚生労働省「社会福 祉施設等調査報告」
平成20年3月	平成18年10月1日	平成18年10月1日
毎年	毎年	毎年
被保護人員÷総人口 (推計人口)	身体障害者更正援護 施設数÷総人口	知的障害者援護 施設数÷総人口

福祉と医療

県名	項目						
	43 65歳以上の単独世帯 (人口千人当たり)(人)	44 民生委員数(人口 10万人当たり)(人)	45 病院病床数(人口 10万人当たり)(床)	46 悪性新生物による死亡者数 (日本人)(人口10万人当たり)(人)	47 平均寿命 (男)(歳)	48 平均寿命 (女)(歳)	49 国民健康保険被保険者 数(人口千人当たり)(人)
北海道	45.6	226.3	1,840.1	296.9	78.30	85.78	369.8
青森県	34.8	238.9	1,350.2	327.7	76.27	84.80	450.6
岩手県	28.6	269.4	1,419.3	297.4	77.81	85.49	392.4
宮城県	26.4	186.5	1,131.7	262.7	78.60	85.75	359.0
秋田県	32.1	296.5	1,501.5	352.5	77.44	85.19	389.3
山形県	18.4	240.7	1,301.0	322.6	78.54	85.72	377.7
福島県	25.6	228.7	1,422.2	288.5	77.97	85.45	378.8
茨城県	21.2	175.1	1,116.8	262.2	78.35	85.26	403.5
栃木県	24.3	188.7	1,118.2	266.6	78.01	85.03	391.9
群馬県	27.8	200.7	1,263.4	269.3	78.78	85.47	405.5
埼玉県	22.0	142.9	889.4	228.6	79.05	85.29	356.6
千葉県	25.7	137.8	931.4	232.3	78.95	85.49	372.4
東京都	45.1	76.4	1,015.9	244.5	79.36	85.70	379.9
神奈川県	30.7	123.3	834.1	231.2	79.52	86.03	345.5
新潟県	25.4	199.3	1,255.5	319.8	78.75	86.27	356.2
富山県	24.4	226.9	1,641.1	301.2	79.07	86.32	322.9
石川県	23.1	250.7	1,676.8	277.8	79.26	86.46	340.8
福井県	22.1	220.1	1,451.0	283.3	79.47	86.25	335.1
山梨県	29.6	287.8	1,303.4	273.5	78.89	86.17	409.1
長野県	27.1	235.6	1,156.2	281.7	79.84	86.48	379.7
岐阜県	25.2	207.6	990.2	266.1	79.00	85.56	378.1
静岡県	22.9	173.4	1,084.3	252.6	79.35	86.06	376.6
愛知県	26.2	149.0	935.6	231.0	79.05	85.40	338.0
三重県	30.9	212.5	1,132.9	261.1	78.90	85.58	360.4
滋賀県	19.3	218.6	1,077.1	235.3	79.60	86.17	318.3
京都府	36.1	205.8	1,390.9	265.0	79.34	85.92	341.9
大阪府	43.9	145.5	1,257.8	271.7	78.21	85.20	375.5
兵庫県	39.9	177.6	1,158.8	275.3	78.72	85.62	354.0
奈良県	28.4	209.6	1,196.2	275.3	79.25	85.84	355.3
和歌山県	52.0	263.1	1,410.6	333.4	77.97	85.34	448.9
鳥取県	38.3	275.8	1,556.7	329.5	78.26	86.27	370.4
島根県	38.3	310.5	1,653.4	346.1	78.49	86.57	366.0
岡山県	31.2	218.8	1,567.6	265.1	79.22	86.49	347.3
広島県	33.8	205.7	1,461.2	271.0	79.06	86.27	344.1
山口県	55.0	252.9	1,891.6	330.8	78.11	85.63	384.1
徳島県	38.8	252.1	1,919.6	287.8	78.09	85.67	343.1
香川県	34.8	213.5	1,628.9	299.6	78.91	85.89	356.2
愛媛県	49.6	249.3	1,599.0	294.6	78.25	85.64	398.0
高知県	55.0	310.4	2,445.5	304.0	77.93	85.87	422.4
福岡県	35.8	164.8	1,743.6	281.7	78.35	85.84	355.8
佐賀県	31.4	246.4	1,802.0	314.3	78.31	86.04	379.9
長崎県	46.8	245.4	1,913.2	318.7	78.13	85.85	423.7
熊本県	34.5	216.3	1,961.7	282.0	79.22	86.54	419.0
大分県	48.2	237.9	1,735.4	295.2	78.99	86.06	378.0
宮崎県	44.6	220.5	1,746.6	276.2	78.62	86.11	434.5
鹿児島県	56.6	239.4	2,047.7	301.5	77.97	85.70	412.9
沖縄県	24.8	149.8	1,426.0	191.3	78.64	86.88	451.5
全国値	33.9	177.9	1,268.0	266.9	78.79	85.75	370.8
山梨県順位	27	4	28	29	21	12	9
資料出所	厚生労働省「国民生活基礎調査」	厚生労働省「福祉行政報告例」	厚生労働省「医療施設調査」	厚生労働省「人口動態統計」	厚生労働省「都道府県別生命表」	厚生労働省「都道府県別生命表」	厚生労働省「国民健康保険事業年報」
調査時点	平成19年6月7日	平成20年3月31日	平成19年10月1日	平成19年	平成17年	平成17年	平成18年度
調査周期	3年毎	毎年	毎年	毎年	5年毎	5年毎	毎年
算出方法等	在宅ひとり暮らし高齢者数÷総人口(推計人口)	民生委員数÷総人口(推計人口)	一般病院病床数÷総人口(推計人口)	悪性新生物死亡者数÷日本人人口(推計人口)	完全生命表による全国値 男78.56 女85.52 *都道府県別生命表による全国値と完全生命表による全国値は、算出方法の違いから異なった結果となっている。		国民健康保険被保険者数÷総人口

災害と安全

項目			
50 火災出火件数(人口10万人当たり)(件)	51 交通事故発生件数(人口10万人当たり)(件)	52 交通事故死亡者数(人口10万人当たり)(人)	53 刑法犯認知件数(人口千人当たり)(件)
45.0	423.4	5.1	10.9
47.0	487.3	6.5	8.4
38.9	393.6	7.2	6.7
41.1	545.5	4.6	12.4
41.8	389.4	6.3	6.0
41.1	702.1	6.3	7.3
46.1	616.5	5.9	9.6
50.3	687.6	6.0	15.5
49.5	679.9	7.4	15.1
46.9	1073.9	5.0	13.8
38.6	632.2	3.2	17.8
39.3	511.0	4.2	17.2
46.1	537.7	2.1	17.9
32.4	568.1	2.7	12.7
30.6	531.9	6.6	10.4
22.9	632.5	5.7	9.6
31.5	635.7	5.0	9.1
33.3	570.8	7.4	8.8
47.4	797.3	5.9	9.6
47.0	572.1	5.6	9.8
48.6	621.7	7.8	14.9
41.4	1017.7	4.9	12.0
46.4	755.5	3.9	19.6
47.4	681.8	6.3	13.8
40.0	689.5	6.7	11.9
25.7	648.7	3.5	20.1
41.2	670.2	2.8	24.5
47.1	689.8	4.1	19.2
32.8	533.5	4.3	13.0
50.2	764.0	5.5	14.9
47.8	423.2	5.7	10.4
51.6	366.1	5.7	8.2
47.4	986.4	5.9	15.0
49.6	689.8	4.6	11.4
45.6	606.4	7.8	10.3
38.4	781.4	7.3	10.6
45.9	1217.0	7.8	12.9
42.6	706.7	6.9	12.8
55.6	583.5	8.4	14.3
41.6	903.9	3.9	18.8
46.4	1036.8	5.8	11.8
45.7	546.3	3.9	7.4
40.9	661.4	5.6	10.7
49.5	609.1	4.9	9.6
56.6	859.1	7.0	10.1
63.7	666.2	5.5	7.9
33.9	475.2	3.1	11.4
42.7	651.5	4.5	14.9
12	8	18	35
消防庁 「消防統計」	警察庁 「交通事故統計」	警察庁 「交通事故統計」	警察庁 「犯罪統計」
平成19年	平成19年	平成19年	平成19年
毎年	毎年	毎年	毎年
火災出火件数÷ 総人口(推計人口)	交通事故発生件数÷ 総人口(推計人口)	交通事故死亡者数÷ 総人口(推計人口)	刑法犯認知件数÷ 総人口(推計人口)

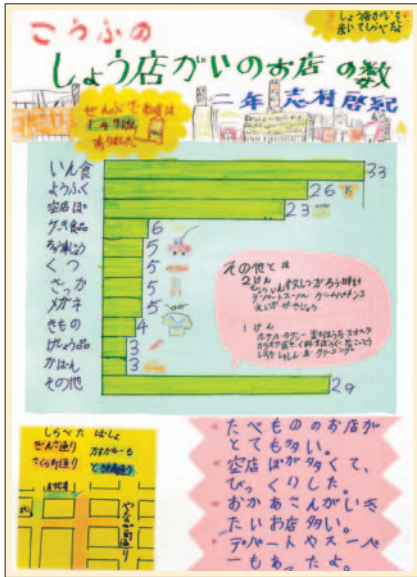
財政

54 財政力指数(県財政)	55 経常収支比率(県財政)(%)
0.39	96.3
0.31	99.7
0.31	95.2
0.53	96.5
0.29	92.5
0.33	97.2
0.44	98.6
0.64	96.8
0.63	100.4
0.59	97.9
0.74	96.2
0.76	100.1
1.32	80.2
0.92	97.6
0.43	99.5
0.45	98.0
0.45	96.7
0.40	93.9
0.42	92.9
0.46	95.4
0.51	98.4
0.73	93.6
1.02	92.0
0.59	98.6
0.56	95.5
0.59	98.8
0.79	102.7
0.59	103.5
0.42	95.1
0.33	96.6
0.27	94.7
0.24	94.9
0.54	99.5
0.59	98.3
0.45	95.9
0.33	99.6
0.46	97.1
0.40	93.9
0.24	98.9
0.61	96.8
0.34	94.3
0.29	98.9
0.39	97.7
0.36	98.7
0.31	94.3
0.31	98.9
0.30	94.9
0.50	94.7
27	44
総務省「地方財政状況調査」	総務省「地方財政状況調査」
平成19年度	平成19年度
毎年	毎年
基準財政収入額÷基準財政 需要額(過去3年の平均)	経常経費充当一般 財源÷経常一般財源

市町村別

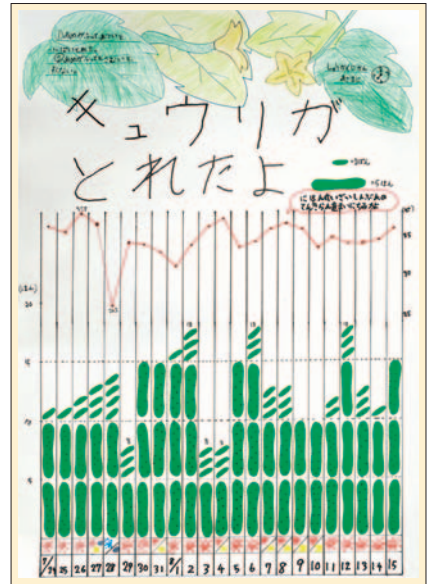
市町村名	56 総人口 (人)	57 人口密度(何住地面積1km当たり)(人)	58 人口性比(女性100人に対する男性の数)(人)	59 年少人口割合(0~14歳)(%)	60 生産年齢人口割合(15歳~64歳)(%)	61 老年人口割合(65歳以上)(%)	62 ☆平均年齢(歳)	63 1世帯当たり人員(総世帯)(人)	64 高齢者単身世帯の割合(%)	65 市町村内総生産(名目)(千円)
甲府市	198,559	...	96.1	13.2	64.5	22.3	-	2.42	9.09	913,809,249
甲府市 中道町	-	-	-	-	-	-	44.1	-	-	-
上九一色村	-	-	-	-	-	-	45.3	-	-	-
富士吉田市	51,582	2,914	95.2	15.7	64.3	20.0	42.7	3.02	6.01	180,751,246
都留市	34,279	1,363	92.1	14.3	65.3	20.4	42.0	2.64	5.73	105,539,218
山梨市	37,915	725	91.8	14.1	60.8	25.1	45.8	2.95	8.67	93,551,463
山梨市 牧丘町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三富村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大月市	29,408	844	94.4	12.4	62.1	25.5	46.3	2.93	8.49	88,757,713
韮崎市	33,201	661	98.8	15.2	62.7	20.3	43.1	2.95	7.62	138,757,419
南アルプス市	72,160	1,021	97.0	16.6	64.2	19.2	42.3	3.09	5.20	212,333,514
八田村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
白根町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
芦安村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
若草町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
榎形町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲西町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北杜市	47,582	337	95.0	12.9	59.1	28.0	-	2.71	10.26	183,104,821
北杜市 明野村	-	-	-	-	-	-	48.2	-	-	-
須玉町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高根町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長坂町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大泉村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
白州町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
武川村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小淵沢町	-	-	-	-	-	-	46.1	-	-	-
甲斐市	74,001	1,833	97.8	15.9	68.8	15.3	40.5	2.68	4.87	163,975,406
竜王町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
敷島町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
双葉町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
笛吹市	71,026	853	92.3	15.3	63.3	21.4	-	2.87	7.03	216,328,214 (215,149,778)
笛吹市 春日居町	-	-	-	-	-	-	43.6	-	-	-
石和町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
御坂町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一宮町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八代町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
境川村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
芦川村	-	-	-	-	-	-	59.2	-	-	1,178,436
上野原市	27,929	944	100.2	12.8	64.3	22.9	44.6	2.82	6.53	87,054,512
秋山村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上野原町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲州市	34,797	668	92.4	14.2	59.1	26.7	-	3.08	8.51	96,968,849
塩山市	-	-	-	-	-	-	46.5	-	-	-
勝沼町	-	-	-	-	-	-	46.2	-	-	-
大和村	-	-	-	-	-	-	48.1	-	-	-
中央市	31,598	1,213	99.4	16.3	68.7	15.0	-	2.67	3.80	145,164,154
豊富村	-	-	-	-	-	-	44.5	-	-	-
玉穂町	-	-	-	-	-	-	38.5	-	-	-
田富町	-	-	-	-	-	-	40.2	-	-	-
市川三郷町	17,385	664	93.2	12.5	58.0	29.4	48.3	2.96	9.90	48,586,336
三珠町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市川大門町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
六郷町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
増穂町	12,785	981	94.6	14.1	61.0	24.9	45.5	2.96	8.34	32,001,091
鯉沢町	4,059	607	88.6	13.8	54.3	31.9	48.6	2.91	14.47	11,654,623
早川町	1,371	95	90.2	7.2	44.4	48.4	57.3	2.01	27.65	7,168,595
身延町	15,256	271	91.0	10.1	53.2	36.6	52.2	2.75	15.77	46,029,395
身延町 下部町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中富町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南部町	9,704	397	95.6	11.4	58.0	30.6	49.2	3.20	9.08	32,849,061
南部町 富沢町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
昭和町	17,158	1,845	102.9	17.4	68.0	14.1	39.2	2.55	3.97	155,312,641
道志村	1,971	399	96.1	12.3	60.8	27.0	46.8	3.45	7.23	5,098,611
西桂町	4,738	1,534	95.3	17.8	63.0	19.2	41.8	3.27	4.46	12,628,319
忍野村	8,739	745	117.5	17.1	69.2	13.7	39.2	3.18	2.57	74,495,154
山中湖村	5,447	385	94.8	15.0	64.5	20.6	43.6	3.23	3.98	30,005,173
鳴沢村	2,975	252	94.2	16.0	62.1	21.9	44.3	3.17	5.51	24,868,656
富士河口湖町	25,478	...	95.5	16.5	65.1	18.4	-	2.87	4.24	94,353,720
富士河口湖町 河口湖町	-	-	-	-	-	-	41.2	-	-	-
勝山村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
足和田村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上九一色村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小菅村	917	291	99.3	12.2	51.8	36.1	51.3	2.63	14.47	3,100,817
丹波山村	704	270	90.8	8.1	45.8	46.2	56.9	2.19	20.34	1,951,030
上九一色村	-	-	-	-	-	-	50.0	-	9.65	-
県数値	872,724	927	95.7	14.4	63.6	21.9	43.9	2.75	7.53	3,206,199,000
資料出所	県統計調査課 〔山梨県常住人口調査〕	総務省「社会人口統計体系」	県統計調査課「山梨県常住人口調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	県統計調査課「市町村民所得推計報告」
調査時点	平成20年10月1日	平成18年10月1日	平成20年10月1日	平成17年10月1日	平成17年10月1日	平成17年10月1日	平成17年10月1日	平成17年10月1日	平成17年10月1日	平成17年度
調査周期	毎年	毎年	毎年	5年毎	5年毎	5年毎	5年毎	5年毎	5年毎	5年毎
算出法等	-	総人口÷可住地面積※はデータ得られず。	男性数÷女性数	年少人口÷総人口	生産年齢人口÷総人口	老年人口÷総人口	-	総人口÷総世帯数	高齢者単身世帯数÷一般世帯数	-

入選 志村 啓紀さん (甲府市)



自分の住む街の商店街を、自分で歩いて店の種類を調べた努力が素晴らしいです。グラフを見て自分の発見したことをまとめてあるところもいいですね。

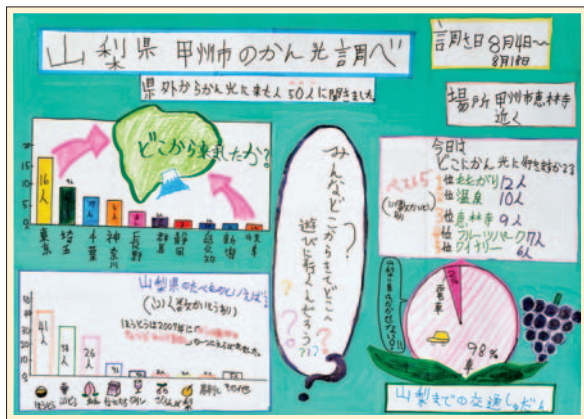
入選 河西 美怜さん (南アルプス市)



天気や気温を一緒に調べ、とれた数を比べている所が工夫されています。細長いキュウリの形を活かし、上手に絵グラフに表しています。

第2部 (小学校3・4年生)

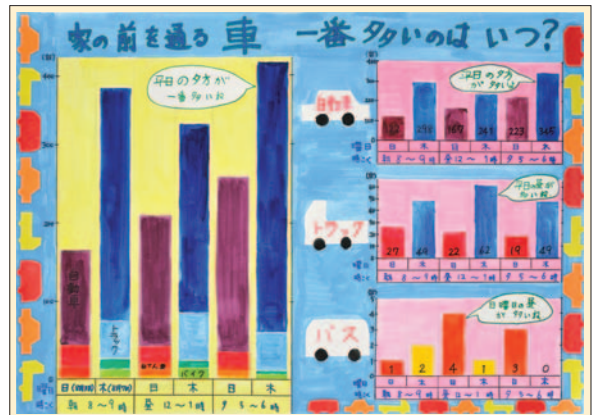
知事賞 窪田 純大さん (甲州市)



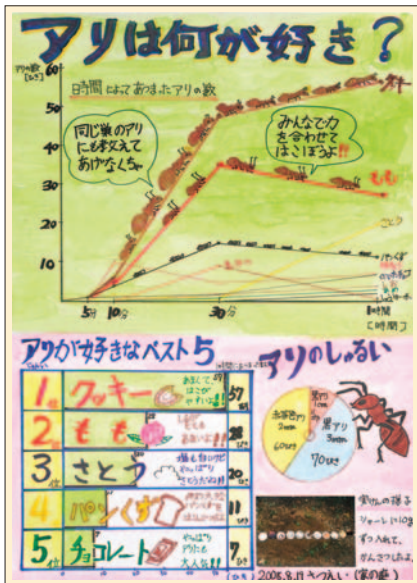
自分でアンケート用紙を作り、実際に県外から来た観光客に答えてもらった結果を基に楽しいグラフを作っているところが素晴らしいです。人と関わりながらデータを集めているところもいいですね。

日曜日と平日という異なるデータを自分でとり、比較して種類ごとにわけるといった工夫をしています。分析的に、わかりやすくまとめられています。

教育長賞 長沼 鈴佳さん (笛吹市)



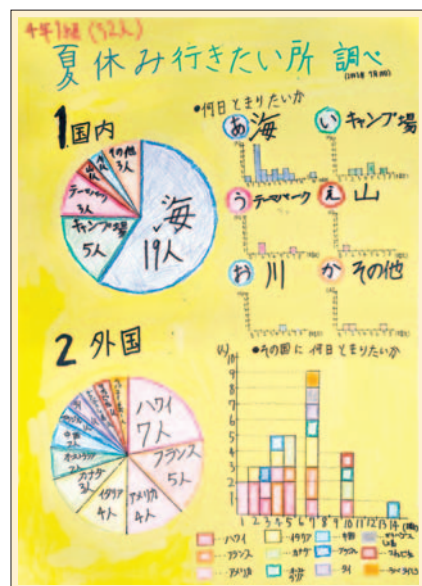
教育長賞 廣瀬 久実さん (甲州市)



身近なアリを観察して数をかぞえた視点が面白いです。折れ線グラフに、集まってきたアリの姿を加えて、楽しいグラフにしています。各種グラフを上手に使ってまとめています。

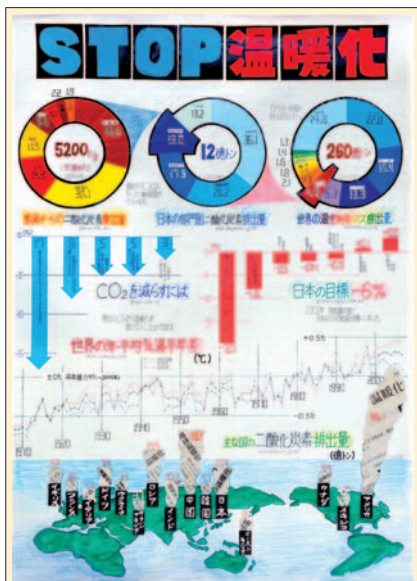
クラスの友達にアンケート用紙を配り、ほしいデータを的確に集めています。絵の具やクレヨンなど、色彩豊かな画面を作っています。

入選 平出 託海さん (甲府市)



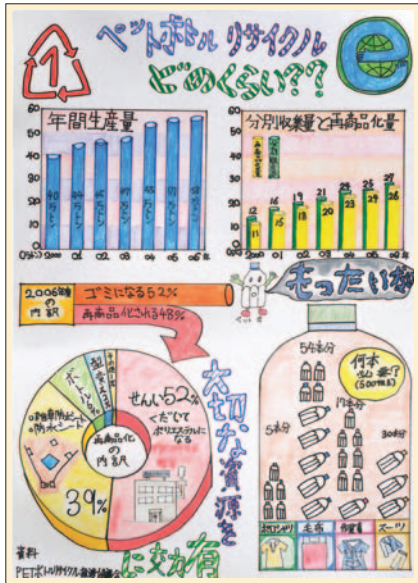
第3部 (小学校5・6年生)

知事賞 三橋 一輝さん (山中湖村)



データの主旨に応じて、グラフを上手く使い分けて表現しています。色の配列や文字の形を巧みに使い、新聞紙の温暖化関連の文字を画面に入れるようにして、二酸化炭素の排出量を表している点が目を引きます。

教育長賞 金丸 彪陽さん (南アルプス市)



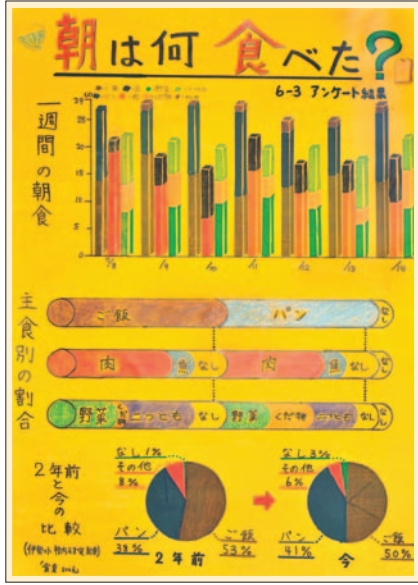
色々なグラフを適切に選択し、画面に無駄がないよう効果的に構成しています。ペットボトルリサイクルの大切さが、よく表された作品です。

教育長賞 小澤 麻衣さん (甲州市)



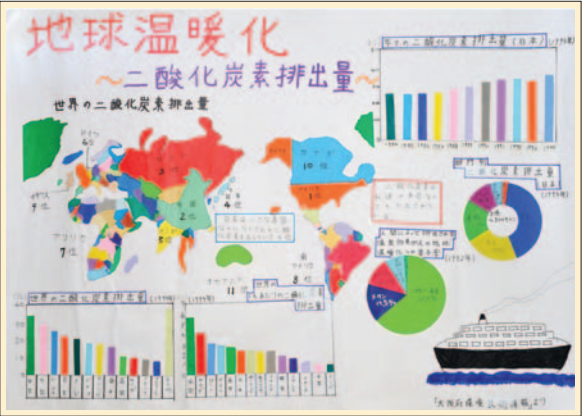
棒グラフで分かりやすくデータをまとめてあるので、数値を比較しやすくなっています。高齢者に優しい、住みやすい社会づくりの大切さを感じ取った視点に、あたたかさを感じます。

入選 五味 祥子さん (甲府市)



身近なテーマに着目し、クラスの友達からアンケートをとっています。オレンジの背景の上に色々な色をのせて、統一感のある画面づくりをしています。

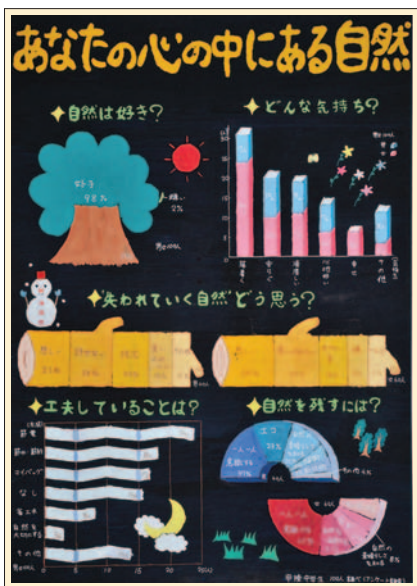
入選 根津 恵さん 萩原 さらさん (甲府市)



色紙をグラフや地図に上手く使い分け、きれいな画面を作っています。二酸化炭素の排出量を、色々な視点でまとめているところもいいですね。

第4部 (中学生)

知事賞 太田 澪さん (北杜市)



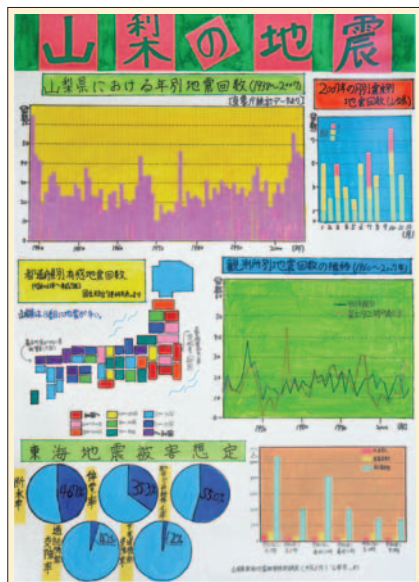
中学生の生の声を自分で集めてテーマにしたところに好感が持てます。色の使い方が素晴らしく、文字や表されているもののすべてが見やすくまとめられています。

教育長賞 福田 早希さん (甲府市)



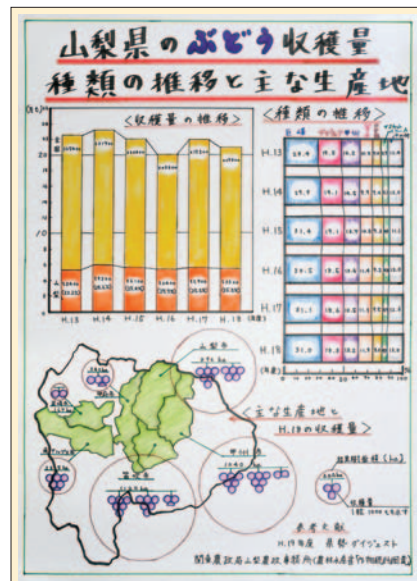
題字にさりげない工夫を入れ込むなど、楽しい画面づくりを心がけているのがわかります。一つのテーマに添ったデータを多方面から集め、わかりやすくまとめています。

教育長賞 中川 貴広さん (韮崎市)



地震に関する様々なデータを、グラフの特徴を生かして上手くまとめています。紙を切って貼るなど作業も細やかです。様々なデータでできたグラフによって、防災を呼びかける内容になっています。

入選 家富 紗妃さん (北杜市)



色彩が明るく、きれいにまとめられています。生産地と収穫量が地図とグラフでわかりやすくまとめられ、黒い縁取りの強弱が画面を引き締めています。



入選
寺田 仁美さん (甲府市)

明るい色と簡潔な文章で、見る人に強く印象を与えています。
全国と山梨県の比較が、上手くできています。

パソコン統計グラフの部 (小学生以上)

知事賞 武田 雄太郎さん (北杜市)



パソコン画面上でいくつものグラフを一つに構成してまとめている点や、主題を活かすような色調を選んだ点など、これまでにない仕上がりを意識した工夫がわかります。

教育長賞 安藤 一馬さん (笛吹市)



背景に画像を取り入れ、それにグラフを重ねて効果的にまとめています。
作品から、インコを大切に育てている様子が思い浮かびます。



入選
内藤 亮さん (甲府市)

画面にチームカラーを取り入れるなど、大好きなサッカーを応援しようという気持ちがグラフによく表れています。

第56回統計グラフ全国コンクール『佳作』受賞

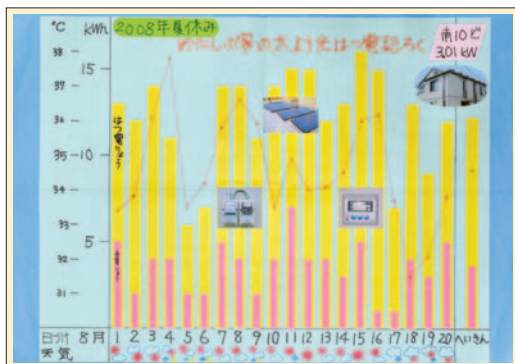
入選 梶原 彩加さん (笛吹市)



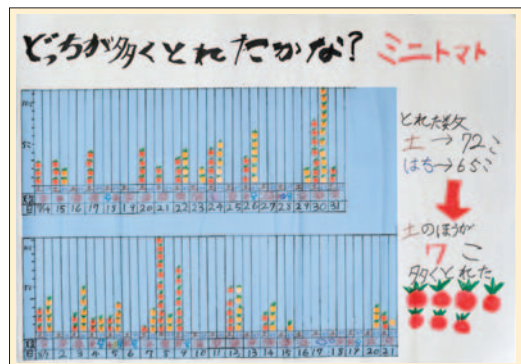
ポリ容器の画像を使って量を表したり、円グラフに画像を貼り付けるなど、工夫されています。パソコンの機能を楽しみながら活かしている作品です。

各部門佳作

第1部 田村 瑛都さん (甲府市)

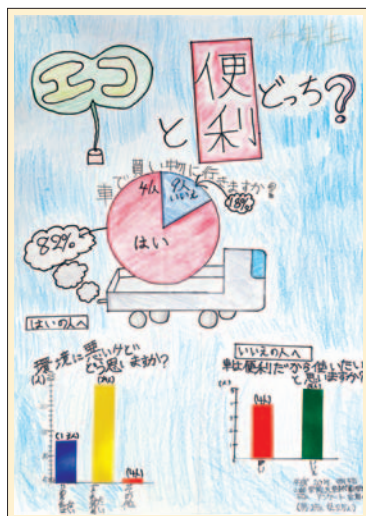


第1部 河西 菜乃葉さん (南アルプス市)



第2部

長田 もなみさん 岩間 三菜里さん
 臼井 誉高さん 菅原 真伍さん
 山本 紘輝さん (甲府市)



第3部 田村 瑠都さん (甲府市)



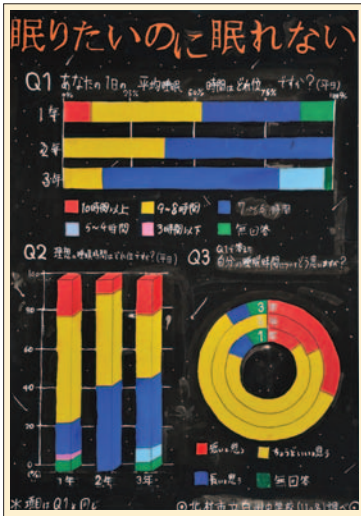
第3部

後藤 彪我さん (忍野村)



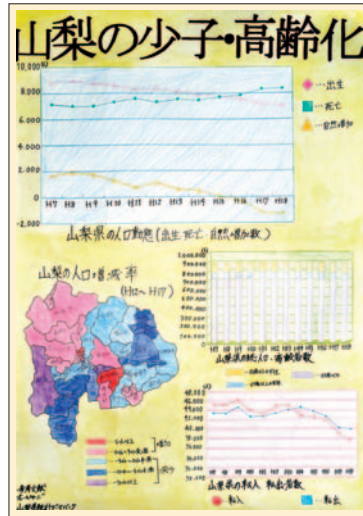
第4部

森 礼子さん (北杜市)



第4部

黒澤 摩衣子さん (甲府市)



第4部

深澤 加瑛さん (甲府市)



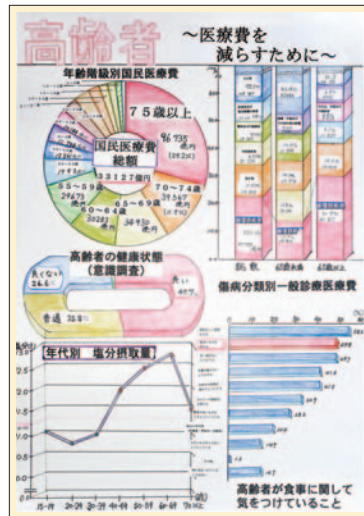
第4部

廣瀬 彩夏さん (甲府市)



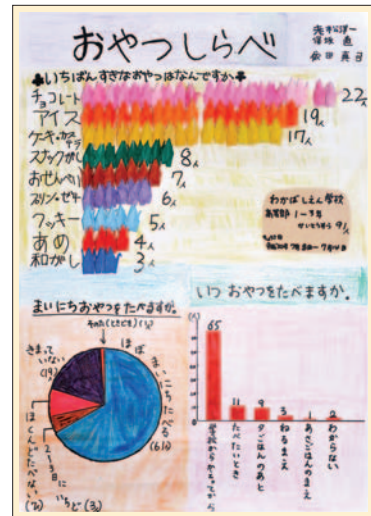
第4部

河西 直子さん (南アルプス市)



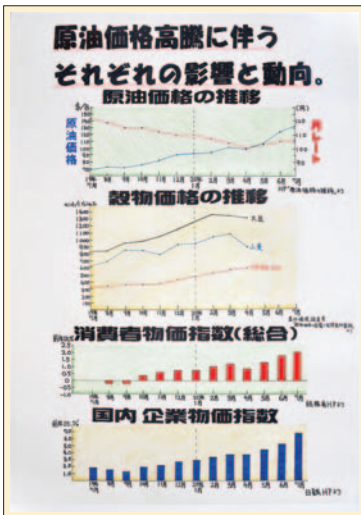
第5部

老松 洋一さん 保坂 直さん
依田 真弓さん (南アルプス市)



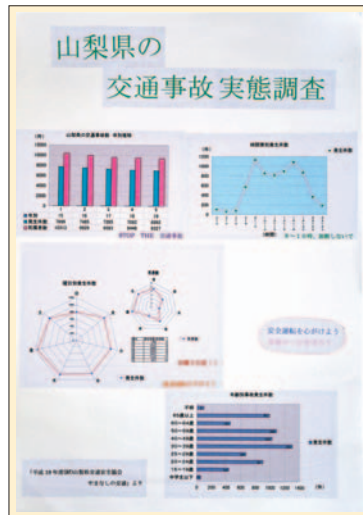
第5部

清水 勇希さん (南アルプス市)



パソコン統計グラフの部

堀内 咲希さん (北杜市)



パソコン統計グラフの部

社 ゆうさん (北杜市)



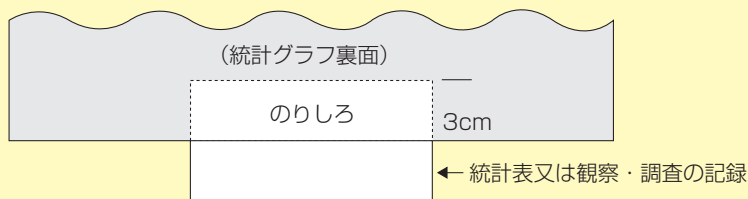
山梨県統計グラフコンクールは、統計グラフの作成をとおして、みなさんに統計を理解し、親しんでいただくことを目的として毎年開催しており、昭和28年に第1回のコンクールがスタートしてから、今年で56回目となりました。今年も、247点の応募がありましたが、この作品集には、各部門の知事賞5点、教育長賞9点、入選9点、佳作14点の計37点を掲載してあります。

第57回山梨県統計グラフコンクール作品募集

みなさんから統計をわかりやすく表したグラフを募集します。
県内在住の小学生以上の方ならどなたでも応募できます。
ふるって応募してください。

■ 各部門	第 1 部	……………	小学校 1・2 年生の児童
	第 2 部	……………	小学校 3・4 年生の児童
	第 3 部	……………	小学校 5・6 年生の児童
	第 4 部	……………	中学校の生徒
	第 5 部	……………	高等学校以上の生徒・学生及び一般
	パソコン統計グラフの部	……………	小学校の児童以上

- 課題は各部とも自由とします。ただし、小学校4年生以下の児童の応募については、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしたものとします。
- 作品の大きさは**72.8cm×51.5cm (B2判)**とします(用紙は貼り合わせでもB2判であれば可)。
- 紙質・色彩は自由です。(単色にて可)
裏面の板張り(パネル仕上げ)、表面のセロハンカバーなどは認めません。
- 1人何点でも応募できます。2枚以上にわたる「シリーズもの」は認めません。
- 5人以内なら合作でもかまいません。
- 表彰はそれぞれの部門について知事賞1点以内、教育長賞2点以内、入選2点以内、佳作若干とし、賞状と賞品を贈呈します。また、応募者全員に参加賞を贈呈します。
入賞作品のうち優秀な作品については、統計グラフ全国コンクールへ出品します。
全国コンクールでは各部門について、特選、入選、佳作、奨励賞が贈られます。
なお、各部門の特選入賞作品から、特別賞として総務大臣特別賞と文部科学大臣奨励賞が贈られます。
- 応募作品は、自分で創作したものに限り、第三者(応募者以外の者)が作成したイラストや写真を使用しないでください。
観察・調査の記録又は作品に使用した統計表(取材資料)をB5判又はA4判の用紙に記載し、応募作品の裏面に3cmの「のりしろ」で下の図のように貼り付けてください。



パソコン統計グラフについては
使用した機種、ソフト、プリンター名を作品の裏面に明記してください。

■ 締切り 平成21年 9 月 7 日 (月)

■ 作品の送付及び問い合わせ先

〒400 - 8501 甲府市丸の内一丁目6 - 1
TEL 055 - 223 - 1344 FAX 055 - 223 - 1347
山梨県企画部統計調査課あて郵送又は持参してください。
(用紙は、統計調査課に用意してありますので、お申し出ください。)



山梨県企画部統計調査課

〒400-8501 甲府市丸の内一丁目6-1

☎055(223)1344

URL <http://www.pref.yamanashi.jp/toukei-2/>